令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)

図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)	図面番号	図面名称	縮尺 (A1)
（意匠）						（構造）		
A-01	共通事項・仮設工事特記仕様書	N.S	A-46	雑詳細図（９）	1/5,1/20	S-01	建築構造特記仕様書	N.S
A-02	建築工事特記仕様書-１	N.S	A-47	内部サイン配置図	1/100	S-02	建築構造標準図1	N.S
A-03	建築工事特記仕様書-２	N.S	A-48	サイン図（１）	N.S	S-03	建築構造標準図2	N.S
A-04	建築工事特記仕様書-３	N.S	A-49	サイン図（２）	N.S	S-04	建築構造標準図3	N.S
A-05	建築工事特記仕様書-４	N.S	A-50	サイン図（３）	N.S	S-05	建築構造標準図4	N.S
A-06	建築工事特記仕様書-５	N.S	A-51	現況平面図	1/150	S-06	建築構造標準図5	N.S
A-07	建築工事特記仕様書-６	N.S	A-52	外構撤去平面図	1/150	S-07	基礎伏図、改良体配置図	1/150
A-08	建築工事特記仕様書-７	N.S	A-53	外構撤去詳細図（１）	図示	S-08	基礎詳細図	1/50
A-09	建築工事特記仕様書-８	N.S	A-54	外構撤去詳細図（２）	図示	S-09	基礎梁リスト	1/30
A-10	建築工事特記仕様書-９	N.S	A-55	撤去工平面図（１）	1/300	S-10	ボーリング柱状図	NS
A-11	配置図・付近見取図	1/150	A-56	外構詳細図（１）	図示	S-11	１階梁伏図、２階梁伏図	1/150
A-12	敷地求積図・建物平均意盤高算定図	1/200,1/150	A-57	外構詳細図（２）	図示	S-12	R階梁伏図	1/150
A-13	建物求積図	1/200	A-58	外構詳細図（３）	図示	S-13	軸組図	1/150
A-14	法規チェック図	N.S	A-59	外構詳細図（４）	図示	S-14	各リスト１	1/30
A-15	外部・内部仕上表（１）	N.S	A-60	外構詳細図（５）	図示	S-15	各リスト２	1/30
A-16	内部仕上表（２）	N.S	A-61	外構詳細図（６）	図示	S-16	各リスト３	1/30
A-17	平面図	1/100	A-62	外構詳細図（７）	図示	S-17	架構配筋図	1/30
A-18	屋根伏図	1/100	A-63	雨水排水計画平面図	1/150	S-18	分団車庫基礎伏図、改良体配置図	1/50
A-19	立面図	1/100	A-64	割付平面図	1/150	S-19	分団車庫基礎詳細図	1/15
A-20	断面図	1/100	A-65	分所　車庫全体配置図	1/500	S-20	ホースリフター基礎伏図、改良体配置図、基礎断面図	1/30
A-21	１階平面詳細図	1/50	A-66	分所　車庫敷地求積図	1/500	S-21	ホースリフター基礎詳細図	1/20
A-22	２階平面詳細図	1/50	A-67	平均地盤算定図	1/500			
A-23	矩計詳細図（１）	1/30	A-68	日影図	1/500			
A-24	矩計詳細図（２）	1/30	A-69	分団　車庫図	1/100			
A-25	屋内階段詳細図	1/50,1/10	A-70	分団　車庫外構撤去平面図	1/200			
A-26	屋外階段（１）詳細図	1/50,1/10	A-71	分団　車庫外構計画平面図	1/200			
A-27	屋外階段（２）（３）詳細図	1/50,1/10	A-72	分団　車庫外構詳細図	図示			
A-28	展開図（１）	1/50	A-73	ホースリフター詳細図	1/20,1/60			
A-29	展開図（２）	1/50	A-74	仮設計画図	1/150			
A-30	展開図（３）	1/50	A-75	山留詳細図	図示			
A-31	展開図（４）	1/50	A-76	工事区分表	N.S			
A-32	展開図（５）	1/50						
A-33	天井伏図	1/100						
A-34	建具表（１）	1/100	R-01	分団詰所改修図	1/50			
A-35	建具表（２）	1/100						
A-36	建具表（３）	1/100						
A-37	建具詳細図	1/100,1/50 1/10,1/5						
A-38	雑詳細図（１）	1/20						
A-39	雑詳細図（２）	1/20						
A-40	雑詳細図（３）	1/10,1/20						
A-41	雑詳細図（４）	1/15						
A-42	雑詳細図（５）	1/10						
A-43	雑詳細図（６）	1/10						
A-44	雑詳細図（７）	1/10,1/20						
A-45	雑詳細図（８）	1/10,1/20						

特記仕様書：　共通事項・仮設工事

1．共通仕様
（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)による。(以下「標準仕様書」という。)による。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図、
機械設備工事の工事仕様書は（　／　）図による。
（3）改修工事を本工事に含む場合は、改修工事は改修工事の工事仕様書を適用する。
改修工事の工事仕様書は（　／　）図による。
（4）受注者は建築基準法第７条の定めによる完了検査（同法第７条の３の定めによる中間検査を含む）時には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料（報告書等）を用意すること。
2．特記仕様
（1）項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。
（2）特記事項の中で選択する事項（・印の付いたもの）は、⊙ 印の付いたものを適用する。

（3）特記事項に記載の［ ．．］内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。
上記事実が発生した場合は、契約書第26条（臨機の措置）の規定による。
（5）標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する。

章	項目	特記事項
① 共通事項	① 適用基準等	建築工事標準詳細図　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（令和4年版） 各図面において、（〇－〇〇－〇）内の数字は適用する上記詳細番号を示す。 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編　建設大臣官房官庁営繕部監修 ・建築物解体工事共通仕様書同解説 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成31年版） ・　三重県建設副産物処理基準
	② 工事実績情報の登録	[1.1.4] 請負代金額が５００万円以上（消費税込み）の元請負人は、工事実績情報を（財）日本建設情報総合センターの工事実績情報システム（ＣＯＲＩＮＳ）に登録するものとする。 なお、登録内容を訂正する必要が生じた場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。 また、変更契約日と工事完了日の間が、１０日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。
	③ 概成工期	[1.2.1] 総合試運転調整を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね14日前までに支障のない状態まで完了していること。
	④ 電気保安技術者	⊙適用する　[1.3.3]
	⑤ 施工条件	[1.3.5] ⊙施工時間　⊙指定なし　・　　） ⊙施工順序　⊙指定なし　・図示　・　　） ⊙工事用車両の駐車場　⊙指定なし　・図示　・　　） ⊙資機材置場　⊙指定なし　・図示　・　　） ⊙現場事務所　⊙指定なし　・図示　・　　） ⊙建設発生土仮置場　⊙指定なし　・図示　・　　）
	⑥ 発生材の処理等	[1.3.11] ・引渡しを要するもの（・金属類　・ＰＣＢ含有物　・　　） ・特別管理産業廃棄物（・廃石綿　・　　） ・現場において再利用を図るもの（　　） ・引渡しを要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成して監督職員へ提出すること。 ⊙引き渡しに要する以外のものには、全て槙外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資材の有効な利用を促進する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し監督職員に報告する。 （ﾏﾆﾌｪｽﾄA、B2、D、E票を提示し、集計表を提出すること。） ⊙建設副産物情報交換システムの利用 請負者は受注時においてリサイクル対象工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督職員に提出すること。 また、工事完了後にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へ実施報告を行うこと。 なお、これにより難い場合は、監督職員と協議しなければならない。 本工事の施工にあたっては「建築工事における建設副産物管理マニュアル」を参考に適切な処理に努めるものとする。 ⊙特定建設資材の再資源化等 本工事が、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法第104号　以下「建設リサイクル法」という。）施行令又は、都道府県が条例で定める建設工事等であって、その規模に関する基準以上の工事（以下「対象工事」という。）である場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。 なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表１又は２．及び３の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「７解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。但し、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項については、この限りでない。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。 また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督職員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式１［再生資源利用計画書（実施書）］及び様式２［再生資源利用促進計画書(実施書)］を兼ねるものとする。 本工事が「建設リサイクル法」の対象工事外である場合においても前記に準じ適切な措置を講ずるものとする。 建設リサイクル法　・対象工事　⊙対象工事外

章	項目	特記事項
① 共通事項		・別表１　建築物に係る解体工事 工程ごとの作業内容及び解体方法 工程 / 作業内容 / 分別・解体の方法 ・建築設備、内装材等 / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・屋根ふき材 / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・外装材・上部構造部分 / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎、基礎ぐい / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・その他（　　） / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・別表２　建築物に係る新築工事等　⊙新築　⊙増築　・修繕　⊙模様替） 工程ごとの作業内容及び解体方法 工程 / 作業内容 / 分別・解体の方法 ⊙造成等 / ⊙ 有 ・無 / ⊙ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ⊙基礎、基礎ぐい / ⊙ 有 ・無 / ⊙ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ⊙外装材、上部構造部分 / ⊙ 有 ・無 / ⊙ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ⊙屋根 / ⊙ 有 ・無 / ⊙ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ⊙建築設備、内装等 / ・有 ・無 / ⊙ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ⊙その他（　　） / ・有 ⊙ 無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・別表３　建築物以外の物に係る解体工事又は新築工事等（・外構　・工作物等） 工程ごとの作業内容及び解体方法 工程 / 作業内容 / 分別・解体の方法 ⊙仮設 / ⊙ 有 ・無 / ⊙ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ⊙土工 / ⊙ 有 ・無 / ⊙ 手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎 / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・本体構造 / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・本体付属品 / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 ・その他（　　） / ・有 ・無 / ・手作業 ・手作業と機械作業の併用 手作業・機械作業を併用する理由 建築設備の取り外し　（　　） 内装材料の取り外し　（　　） 屋根ふき材の取り外し（　　）
	⑦ 環境への配慮	[1.4.1] 化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の１）から５）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDFパーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ３）接着剤はフタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 ５）１）、３）及び４）の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量 / 該当する材料 規制対象外 / ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通省大臣認定品 ③次の表示のあるＪＡＳ適合品 ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ｂ．接着剤等不使用 ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない材料使用 ｄ．ホルムアルデヒドを発散しない塗料等使用 ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料使用 ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発散しない塗料 第三種 / ①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆品 ②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通省大臣認定品 ③旧ＪＩＳのＥ０品 ④旧ＪＩＳのＦｃ０品
	⑧ 材料の品質等	[1.4.2] １）本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 ２）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾をを受ける。

章	項目	特記事項
① 共通事項		３）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 ４）本工事に使用する材料は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、この証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出し承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員に承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の監理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を所得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等のの営業体制を整えていること。 ５）製造業者等に関する資料等の提出を求める材料 ・有　・無 ・（　　） ・（　　） ・（　　） ・（　　） ６）製材等、フローリング又は再生木質ボードを仕様する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続性可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。 ７）本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「志摩市公共建築物等木材利用方針」に基づく木材を最優先し、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用につとめること。
	⑨ 建設発生土の処理	・構外搬出適切処理　[3.2.5] ・ ⊙処分地指定　処分地（　未定別途協議　） ・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離　8Km
	10 建設汚泥の処理	本工事で建設汚泥が発生する場合は「建設汚泥の再生利用に関するガイドラインの策定について」（国営計第36号　平成18年 6月12日）、「建設汚泥の再生利用に関する実施要領について」（国営計第38号　平成18年 6月12日）に基づき建設汚泥の再生利用を行う。 再生利用の種別　・埋戻し及び盛土材として利用　・ 再生処理方法　・脱水処理　・安定処理（セメント、石灰による改良処理） 要求品質 「建設汚泥処理土利用技術基準について（国営計第41号 平成18年6月12日）表－４建設汚泥処理土の適用用途標準」における下記の区分とする。 ・第３種処理土　・
	⑪ 化学物質の濃度測定	[1.5.9] 測定室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、報告すること。 測定対象化学物質（●で示したものとする。） 施設用途 / ホルムアルデヒド / トルエン / キシレン / エチルベンゼン / スチレン / パラジクロロベンゼン 学校教育施設 / ● ● ● ● ● ● 住宅 / ● ● ● ● ● その他 / ● ● ● ● ● 報告書提出部数　2　部 対象箇所（・図示　⊙ 8室　） 測定方法　・パッシブ採取による蒸気拡散式分析法　・厚生労働省の標準法
	⑫ 完成時の提出書類	[1.7.1～3][表1.7.1] ⊙完成図（施工図、施工計画書を除く） ⊙新規に作成　・既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 完成図ＣＡＤデータ（ＣＤ－Ｒ） ⊙保全に関する資料 提出　⊙2部　・ ⊙施工図（・　　・　　） 提出　⊙原図及びその複写図１部　・ ⊙施工計画書（・　　・　　） 提出　⊙1部　・ 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に委譲するものとする。 製作図等で原因として提出が出来ないものは、原因に変わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。
	⑬ 設計ＧＬ	⊙設計ＧＬ＝ＢＭ＋　429mm（現状地盤高は図示）
	⑭ 騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
	⑮ 設備工事との取り合い	本工事の施工範囲 ⊙図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ⊙図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ⊙自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ⊙設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

章	項目	特記事項
① 共通事項	⑯ 工事写真	工事写真の撮り方/建築、及び同/建築設備（建設大臣官房官庁営繕部監修）を参考に撮影する。　提出部数　１　部
	⑰ 完成写真	撮影箇所数　⊙内観１５枚、外観３枚 本完成写真の著作者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ⊙電子データ　１部 画素：長辺で2880ＰＩＸ以上 記録方式：ＲＧＢ（フルカラー）、ＪＰＥＧ最高画質 記録媒体：ＣＤ－Ｒ（ＩＳＯ） ⊙カラープリント　（　１　）部 アルバム（大きさ335mm×290mm程度）　・無し　⊙有り
	⑱ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。
	⑲ 養生その他	工事施工に際し、在来部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならい補修する。
	⑳ 消防提出書類	⊙消火器の設置届については、電気及び機械設備について設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。 ⊙防火対象物使用開始届については書類作成（建築図面の用意及び建築に関する部分の記述）を行うこと。
	㉑ 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	⊙現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの）期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 ⊙検査終了後の期間 検査完了後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日とする。
	㉒ 官公署その他への届出手続及び検査	a 関係官公署その他への関係機関への必要な届出手続等の種別、手順、時期等を一覧表にしてあらかじめ監督職員に提出する。 b 関係官公署その他の立会い検査を必要とするものは、監督職員と打合せのうえ、検査を受け、その結果を監督職員に報告する。 c bの検査の結果、不合格の個所がある場合は、すみやかに補正し、必要な手続をを行い、その結果を監督職員報告する。 d cの補正に直接要する費用は施工者の負担とする。
	㉓ 総合図の作成	⊙総合図は、施工者が、発注者の直接発注工事を含めた工事の全体概要と相互関係を把握し、工種別施工図の適正化と効率化の為に活用することを目的とする。　工種別施工図に先行して作成し、監督職員の承諾を受ける。 ⊙監督職員の指示により、建築工事施工者が元図（平面図、展開図、天井伏図等）を作成する。　設備その他の各関連工事各施工者は、協力して各工事の機器類等を元図に記載し、相互調整をおこなう。 ⊙施工に関する調整は施工者間で行い、設計図書の調整、発注者の直接発注工事、及び設計変更に関する調整は監督職員が行う。 ⊙建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ⊙風圧力 風速（Vo）　※34 地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ ・積雪荷重 建設省告示　第1455号における区域　　別表　（32　）
	㉔ 技能士	職種別に可能なものについては積極的に活用のこと
	㉕ 火災保険等	火災保険、建設工事保険又はその他保険等に加入し監督職員へ加入内容を提示する 1）保険の目的物　工事目的物及び工事材料（支給材料を含む） 2）保険の加入期間　工事着手後速やかに加入し、完成引き渡しまでの間 3）保険金額　原則として請負金額に相当する金額
② 仮設工事	① 足場	[2.2.4] 足場を設ける場合、[2.2.4](b)によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」（厚生労働省　平成21年４月「手すり先行工法に関するガイドライン」について（別紙１））における２の（２）手すり据置方式、又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと。
	② 監督職員事務所	⊙設ける　・設けない　[2.3.1] 規模(ｍ２程度)　・１０　・２０　・３５　・６５　・１００
	③ 監督職員事務所の備品等	備品等の設置 種類 / 机・いす / 書棚 / 黒板・白浜 / 掛時計 / 温度計 数量 / 1組 / 台 / 個 / 個 / 個 種類 / 長靴 / 雨合羽 / 保護帽 / 懐中電灯 / 衣類ﾛｯｶｰ 数量 / 足 / 着 / 個 / 個 / 個 種類 / 消火器 / 掃除具 / 請負者加入電話・FAX / ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ / 冷暖房機器 数量 / 個 / 個 / 台 / 1台 / 1台 ※上記表以外に10人程度が打ち合わせできる机を設ける事
	④ 仮設便所	構内既存の施設　⊙利用できない　・利用できる
	⑤ 工事用水	構内既存の施設　⊙利用できない　・利用できる（・有償　・無償）
	⑥ 工事電力	構内既存の施設　⊙利用できない　・利用できる（・有償　・無償）

特記事項	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 共通事項・仮設工事特記仕様書	三重県志摩市	
	設計者 日本工営都市空間株式会社 日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　宮田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 NS(A1) NS(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-01

章	項　目	特　記　事　項
③ 土工事	① 埋戻し及び盛土	(3.2.3) ※表3.2.1による種別 ・A種　適用場所（　　） ・B種　適用場所（　基礎　　） ・C種　適用場所（　　） 土質（　　）　受渡場所（　　） ・D種　(細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用場所（　　） ・材料及び工法　材料（　　）　工法（　　）
	② 建設発生土の処理	(3.2.5) ※「建設発生土情報交換システム」を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。なお、次の運搬に相当する経費を見込んでいる。 搬出距離（ 8ｋｍ　　）　ＤＩＤ区間　（ なし　　） 仮置場　（ なし　　） ・場外指定場所に搬出する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。 搬出場所（未定(協議により決定)　　） 受入条件（ なし　　） 仮置場　（ なし　　） ・場内指定場所に敷き均し（　　） ・場内指定場所に堆積
	③ 山留めの撤去	鋼矢板等の抜き後の処理　※直ちに砂等で充填する　・　(3.3.3) 山留めの存置　・行う（存置範囲　※図示）・
	④ 建設汚泥の処理	地盤改良による汚泥は発生しないものとし、発生した場合は、監督職員との協議により処理方法及び搬出先を決定する 処理対象　・図示 処理方法　・再生資源化施設へ搬出 「建設汚泥の再利用に関するガイドライン(平成18年6月12日国土交通省)」により建設汚泥の発生量の抑制に努めること。

④ 地業工事

① 支持地盤等

(3.2.1)(4.2.4)(4.3.4、5)(4.4.4)(4.5.5、6)

・杭基礎
支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む）
・図示による（　　）　・
・直接基礎
支持地盤の位置及び土質（基礎底盤の位置含む）
・図示による（構造図　　）　・
試験掘り（根切り底の状態の確認等）
・行わない
・行う　　位置等　・図示による（　　）　・
・地盤の載荷試験
載荷試験の方法　・地盤工学会基準　JGS 1521による
試験の位置、載荷荷重　・図示による（　　）　・

2 既製コンクリート杭地業

(4.2.2)(4.3.1、3～6、8)

種類等
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490
寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分）

		種類	コンクリート強度(N/mm2)	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
本杭	上杭									
	中杭									
	下杭									

杭先端部形状
・開放形　・半開放形　・閉そく形　・
工法
・セメントミルク工法
試験杭
試験杭の位置　・図示による（　　）　・
掘削深さ　・図示による（　　）　・
杭の支持層への根入深さ　・図示による（　　）　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜　・1/100以内　・
・特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法
α=(　　)、β=(　　)、γ=(　　)
工法
・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・
杭周固定液　・使用する　・使用しない
試験杭
試験杭の位置　・図示による（　　）　・
杭の支持層への根入深さ　・図示による（　　）　・
杭の精度　水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜　・1/100以内　・
杭の継手の工法
・アーク溶接継手
溶接材料　・標準仕様書7.2.5(1)(2)による
・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法　※認定等を受けた工法
検査　※認定等により定められた項目
施工　※認定をされた施工管理基準による
杭頭の処理等
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による（　　）　・
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

3 鋼杭地業

(4.2.2)(4.3.8)(4.4.3～6)

鋼杭の材料
・　・
寸法、継手等

		種類	杭径(mm)	板厚(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備　考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

工法
・特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα、β、γが以下の値を採用できる工法
α=(　　)、β=(　　)、γ=(　　)
工法
・中堀り拡大根固め工法
・
試験杭
試験杭の位置　・図示による（　　）　・
杭の支持層への根入深さ　・図示による（　　）　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜　・1/100以内　・

4 地業工事

3 場所打ちコンクリート杭地業

杭の継手の工法
・溶接継手
形状　・JIS A 5525による　・
溶接材料　・標準仕様書7.2.5(1)(2)による　・
・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法　※認定等を受けた工法
検査　※認定等により定められた項目
施工　※認定をされた施工管理基準による
杭頭の処理等
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による（　　）　・
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

(4.2.2)(4.5.1、4～6)

工法
・アースドリル工法(安定液　※使用する　・使用しない)
・リバース工法
・オールケーシング工法（孔内の水張り　・行う　・行わない）
併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
鋼管巻き材料　・SKK400　・SKK490
・拡底杭工法（安定液　・使用する　・使用しない）
・
寸法等

	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(mm)	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭						
本　杭						

試験杭
試験杭の位置　・図示による（　　）　・
孔壁の保持状況（孔壁測定）
測定箇所　・試験杭（　　）箇所及び本杭（　　）箇所　・
杭の支持層への根入深さ　・図示による（　　）　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜　・1/100以内　・

鉄筋の種類

種類の記号	呼び径（mm）	備　考
・SD295A		
・SD345		

帯筋　・図示による（　　）　・
鉄筋の最小かぶり厚さ　・100mm　・
鉄筋かごの補強
・
・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50～75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ、1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋との接触部を溶接する
・
組み立てた鉄筋の節ごとの継手
※重ね継手　重ね継手の長さ　・図示による（　　）　・
・
主筋の基礎底盤への定着長さ　・図示による（　　）　・
セメントの種類　※高炉セメントB種　・
コンクリートの設計基準強　・図示による（　　）　・
コンクリートの種別　・A種　・B種　・認定等の内容による
スランプ　・　※18cm
構造体強度補正
※3N/mm2　・図示による（　　）　・評定等の内容による

④ 砂利地業

(4.6.2、3)

材料　・再生クラッシャラン　・切込砂利又は切込砕石
砂利厚さ　※60mm　・
適用範囲
・基礎下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・図示による（　　）

特記事項	工事名称	図面名称			
	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	建築工事特記仕様書-1	三重県志摩市		
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 NS(A1) NS(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-02

④ 地業工事

⑤ 捨コンクリート地業 (4.6.4)

範囲 ⊙基礎梁下、土に接するスラブ下 ・図示による（ ）
厚さ ⊙50mm ・
設計基準強度 ⊙18N/mm² ・
スランプ ⊙15cm又は18cm ・

⑥ 床下防湿層 (4.6.2、5)

材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・
範囲
⊙建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下
・

⑦ 地盤改良工法

種類及び施工方法等 ・図示による（ ） ⊙監督員の指示による

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類 (5.2.1)

鉄筋の種類

種類の記号	呼び径(mm)	備考
⊙ SD295A	D10・D13・D16	JIS G3112
⊙ SD345	D19・D22・D25	JIS G3112
⊙ SBPD1275/1420	U10.7・U12.6	MSRB-9009

② 溶接金網 (5.2.2)

鉄線の形状等

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
・溶接金網	SS400	6φ-100㊀	梁貫通孔補強
・鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4)(5.5.2)(5.6.3)

鉄筋の継手の方法等

部 位	継手の方法	呼び径（mm）
柱、梁の主筋	⊙ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	D19・D22・D25
耐力壁の鉄筋	⊙重ね継手 ・	D10・D13・D16
その他の鉄筋（ 一部小梁 ）	⊙重ね継手 ・	D13・D16

継手位置 ・図示による（ ） ⊙S-03, S-04による
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ・図示による（ ） ⊙S-03, S-04による
耐力壁の重ね継手の長さ ・図示による（ ） ⊙S-04による
鉄筋の定着の長さ ・図示による（ ） ⊙S-02による

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む） (5.3.5)

最小かぶり厚さ ・図示による（ ） ⊙S-02による
軽量コンクリートを適用する場合
・あり 適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm ・
耐久性上不利な箇所がある場合（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・あり 適用箇所（ ）
・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm ・

⑤ 各部配筋 (5.3.7)

各部配筋 ・図示による（ ） ⊙S-08, S-09, S-14, S-15, S-16による

6 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10)

試験
※超音波探傷試験
・引張試験
試験方法等 ・ ※標準仕様書5.4.10(イ)(b)①～⑥による

7 機械式継手 (5.5.2)

適用箇所 ・図示による（ ） ・
H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 ・
機械式継手の種類 ・図示による（ ） ・

8 溶接継手 (5.6.3)

適用箇所 ・図示による（ ） ・
H12建告第1463号に適合する性能 ・A級
溶接継手の工法 ・図示による（ ） ・

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの種類 (6.2.1)

コンクリートの類別
⊙ Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・ Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 (6.2.1～4)(6.3.2)(6.10.1、2)

・普通コンクリート

設計基準強度(N/mm2)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m3)	適用箇所
・24		2.3程度	
⊙ 30	⊙ 18	2.3程度	基礎，躯体
・			

★印は構造体強度補正値(S)を適用しない

・軽量コンクリート

設計基準強度(N/mm2)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m3)	種類	適用箇所
・	※21 ・		・1種 ・2種	
・				

3 セメント (6.3.1)

種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種（普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする） 適用箇所（ ）
・高炉セメントB種 適用箇所（※基礎及び基礎梁 ・ ）
・フライアッシュセメントB種 適用箇所（ ）

④ 骨材 (6.3.1)

アルカリシリカ反応による区分 ⊙A ・B

5 混和材料 (6.3.1)

・混和剤
混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・
・混和材
混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ・

6 寒中コンクリート (6.11.1、2)

適用期間 ・図示による（ ） ・
構造体強度補正値
・標準仕様書6.11.2(3)(ｱ)による ・積算温度による

7 暑中コンクリート (6.12.2)

構造体強度補正値 ※6N/mm2 ・

⑧ マスコンクリート (6.13.1、2)

適用箇所 ・図示による（ ） ⊙基礎梁せい1,800以上
セメントの種類 (6.13.2)
・普通ポルトランドセメント ⊙中庸熱ポルトランドセメント
⊙低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による ・
・混和材
混和材の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による ・
スランプ ※15cm ・
構造体強度補正値 ・ ※標準仕様書表6.13.1による

9 無筋コンクリート (6.14.1)

コンクリートの種類 ・ ※普通コンクリート
セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、
シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種
設計基準強度 ※18N/mm² ・
スランプ ※15cm又は18cm ・
適用箇所 ・ ・標準仕様書6.14.1(4)(ｱ)～(ｶ)による

10 流動化コンクリート (6.15.1)

適用箇所 ・図示による（ ）

11 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)

打継ぎの位置 ・図示による（ ） ※標準仕様書6.6.4(1)による
目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ) ・図示による（ ）
ひび割れの誘発目地の位置、形状、寸法 ・図示による（ ）

12 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ

種別	適 用 箇 所
・ A種	
・ B種	
・ C種	

コンクリートの仕上りの平たんさ

種別	適 用 箇 所
・ a種	
・ b種	
・ c種	

6 コンクリート工事

⑬ 打増し厚さ（打ち放し仕上げ部） (6.8.1)

・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
⊙20mm ・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
⊙10mm ・20mm ・

⑭ 型枠 (6.8.2)

せき板の材料及び厚さ ⊙合板（⊙12mm ・ ） ・
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所 ・図示による（ ） ・
・MCR工法用シート
適用箇所 ・図示による（ ） ・
打増し厚さ ・20mm ・
打増し範囲 ・図示による（ ） ・
スリーブの材種・規格等 ・図示による（ ） ・

15 コンクリートの単位水量測定

実施要領
・図示による（ ） ・

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨の製作工場 (7.1.3)

鉄骨製作工場の加工能力
⊙建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める（ R ）グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・監督職員の承諾する工場

2 鉄骨制作工場における施工管理技術者 (7.1.4)

・配置する ※配置しない

③ 鋼材 (7.2.1)

種類等

種類の記号	適用箇所(主要に部分)	規 格 等
SS400	屋上鉄骨階段	⊙ JIS規格による ・
		・ JIS規格による ・
		・ JIS規格による ・
		・ JIS規格による ・
		・ JIS規格による ・
		・ JIS規格による ・

4 高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)

高力ボルトの種類
・トルシア形高力ボルト
・ JIS形高力ボルト
・
ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等
・図示による（ ） ・縁端距離40mm、間隔60mm、ゲージ60mm
摩擦面の処理方法
・
・自然発錆（黒皮等を除去した後に自然放置して表面に赤さびが発生した状態）
・ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
・すべり試験の実施
・すべり係数試験 ・すべり耐力試験
すべり試験において、対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況の確認をする

5 普通ボルト (7.2.3)(7.3.2、8)

ボルト及びナットの材料
・標準仕様書表 7.2.3（JIS付属書品）又は次による。
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。
ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。
ナットの規格は、JIS B 1181とする。
ナットの種類は、六角ナットCとし、材料は、鋼とする。
・
座金 ※JIS B 1256 ・
ボルトの縁端距離、ボルトの間隔、ゲージ等
・図示による（ ） ・
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0mm ・

⑥ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2)(7.4.2)(7.12.5)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（ ） ⊙縁端距離40mm、間隔60mm、ゲージ60mm
摩擦面の処理方法
・
⊙ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）
⊙りん酸塩処理
・すべり試験の実施
・すべり係数試験 ⊙すべり耐力試験（摩擦面がりん酸塩処理の場合）
すべり試験において、対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況の確認をする

⑦ アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)

・構造用アンカーボルト
種類 ・ABR400 ・ABR490 ⊙SS400
・建方用アンカーボルト
種類 ・SS400 ・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書表7.2.3による ・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による ⊙縁端距離40mm、間隔60mm、ゲージ60mm

8 溶接材料 (7.2.5)

溶接材料
※標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・

9 ターンバックル (7.2.6)

種類
建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ・
建築用ターンバックル胴 ※割枠式 ・
ねじの呼び ・図示による（ ） ・

10 床構造用のデッキプレート (7.2.7)(7.7.8)

材料、形状及び寸法

	適用場所	材質・形状・寸法	備 考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			

開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む）
・図示による（ ） ・
鉄骨部材への溶接方法 ・図示による（ ） ・
耐火認定
・あり
耐火時間 ・図示による（ ） ・
・なし

11 スタッド (7.2.8)

種類等

径(呼び名)	呼び長さ（mm）	適用箇所
・16		
・19		
・22		

12 柱底均しモルタル (7.2.9)

無収縮モルタルとする場合の材料、調合等
※標準仕様書7.2.9(2)(ｱ)から(ｴ)による ・

13 製作精度 (7.3.3)

鉄骨の製作精度は、JASS 6付則6［鉄骨精度検査基準］に加えて、次による
通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
・H12建告第1464号第二号イ(2)による ・
アンダーカットの寸法
・H12建告第1464号第二号イ(3)による ・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

14 仮組 (7.3.10)

仮組を行う範囲 ・図示による（ ） ・

15 溶接技能者の技量付加試験 (7.6.3)

試験の要領 ・図示による（ ） ・

⑯ 溶接接合 (7.6.4、7)

開先の形状 ・図示による（ ） ・
・エンドタブの切断する部分
切断する箇所 ・図示による（ ） ・
切断範囲
・図示による（ ） ・
・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する
切断面の仕上げ
・標準仕様書7.6.7(1)(ｶ)(b)②による ・
・スカラップの形状
⊙改良型（半径35mm10mmのダブルアール）又はノンスカラップ

⑰ 入熱、パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件
・図示による（ ） ⊙JIS Z3312 による
適用箇所
・図示による（ ）
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部

⑱ 溶接部の試験 (7.6.12)

平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による
・抜き取り検査① ※抜き取り検査②
JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。
ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
AOQL(%) ・4.0 ・2.5

節	・全て		・	・
検査水準	・第6水準	・	・	・

・工事現場溶接の場合
⊙全て ・

特記事項	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 建築工事特記仕様書-2	三重県志摩市	
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－4）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 富田 哲人 一級建築士番号 第381431号	縮尺 NS(A1) NS(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-03

7 鉄骨工事

19 錆止め塗装

(7.8.2、4)(18.3.2)

塗料の範囲
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による（　　）　・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
・図示による（　　）　・
塗料の種別
・鉄鋼面の錆止め塗料の種別
屋外　・A種　・
屋内　・A種　・
・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種別
⊙JIS H 8641 による
塗料種別
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め
塗料の種別
※A種　・
・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
・

20 耐火被覆

(7.9.2～8)

種別、材料、工法等

種 別	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール		
	・ 半乾式吹付けロックウール		
	・ 湿式ロックウール		
	・		
	・		
・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・ 耐火材巻付け	・ 高断熱ロックウール		
	・		
・ ラス張りモルタル塗り	―		
・ 耐火塗料			

21 アンカーボルトの設置等

(7.10.3)

構造用アンカーボルトの形状及び寸法
・図示による（　　）　・
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による（　　）　・
建方用アンカーボルトの形状及び寸法
・図示による（　　）　・
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別　・A種　・B種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別
厚さ　・
種別　※A　・

22 軽量形鋼構造

(7.11.2)

ボルトの接合方法　・普通ボルト接合　・

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

(8.2.2、3、5、7、8)

ブロックの種類等

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
				・無 ・有		
				・無 ・有		

モルタルの調合（容積比）
※表8.2.1による
・セメント（　　）：砂（　　）
各部の配筋　※図示
目地仕上げ　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ
まぐさを受ける開口部両端のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

(8.3.2～4)

ブロックの種類

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
・空洞ブロックＣ(16)				・無 ・有		
・型枠状ブロック 20				・無 ・有		
・				・無 ・有		

塀に用いるブロックの正味厚さ(mm)　2m以下　120mm　　2m超え　150mm
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　※図示
モルタルの調合（容積比）
※表8.2.1による
・セメント（　　）：砂（　　）

3 ＡＬＣパネル

(8.4.2～5)

ALCパネルの区分等

パネルの区分	単位荷重(N/m2) 正荷重	負荷重	厚さ(mm)	長さ・幅(mm)	耐火性能	表面加工	構法の種別
・外壁パネル			・100 ・	図示	・１時間 ・無	・平 ・意匠	・A種 ・B種
・間仕切壁パネル			・100 ・	図示	・１時間 ・無	・平 ・意匠	・C種 ・D種 ・E種
・屋根パネル			・100 ・	図示	・0.5時間	－	F種
・床パネル			・100 ・	図示	・1時間 ・2時間		

パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材　・
外壁、屋根パネルの工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の耐風圧性能
外壁パネル構法及び間仕切り壁パネル構法における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　・図示による
目地幅(mm)
パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅(mm)　※10～20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
・適用する　・適用しない

4 押出成形セメント板（ECP）

(8.5.2～5)

ECPの種類等

パネルの種類	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考
・外壁パネル	・F	・50 ・60 ・		・A種 ・B種	
	・D	・50 ・60	600		
	・T	60			
・間仕切壁パネル	・F	・50 ・60 ・		・B種 ・C種	
	・D	・50 ・60	600		
	・T	60			

注）F:フラットパネル　D：デザインパネル　T：タイルベースパネル
外壁パネルの工法における耐風圧性能
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の耐風圧性能
外壁パネルの工法及び間仕切り壁パネル構法における耐震性能

建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　・あり
パネル相互の目地幅(mm)　・長辺（　　）、短辺（　　）　・
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)　※15程度　・
耐火構造以外の目地及び隙間の処理　※パネル製造所の仕様　・
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

		開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	・図示　・	・図示　・
	長辺	・図示　・	・図示　・
パネルを切り欠く場合	短辺	・図示　・	・図示　・
	長辺	・図示　・	・図示　・

⑨ 防水工事

① アスファルト防水

(9.2.2～5)(表 9.2.3～9)

屋根保護防水
防水層の種別

種 別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ａ－１			※ ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・	・乾式保護材 ・コンクリート押さえ
・Ａ－２				
・Ａ－３				
・Ｂ－１				
・Ｂ－２				
・Ｂ－３				
⊙Ａ－１	屋根	種類：※JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種ｂＡ（スキン層付き） 厚さ(mm) ⊙25 ・50 ⊙75	※フラットヤーンクロス 70g/m2程度 ・	
・Ａ－２				
・Ａ－３				
・Ｂ－１				
・Ｂ－２				
・Ｂ－３				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3から9.2.4による　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5から9.2.6までによる　・
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
床タイル張り　※水下　60mm以上　・

⊙乾式保護材
・窯業系パネルⅠ類（寒冷地仕様）　厚さ（　　）mm　幅（　　）mm
⊙窯業系パネルⅡ類（一般地仕様）　厚さ（15　）mm　幅（　　）mm
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの
・金属複合板　厚さ（　　）mm　幅（　　）mm
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの
品質・性能　建築材料等品質性能表による
試験方法　建築材料等品質性能表による

屋根排水溝　※図示　・

屋根露出防水
防水層の種別

種 別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
・Ｄ－１		種類（9.2.2(9)） ・ 厚さ(mm) ・25 ・50 ・	・ｱﾙﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱﾙﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・ 適用する
・Ｄ－２					・ 適用する
・Ｄ－３					・ 適用する
・Ｄ－４					・ 適用する
・Ｄ１－１					・ 適用する
・Ｄ１－２					

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.8による　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.7から9.2.8までによる　・
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※図示　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・　個
押え金物の材質、形状、寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・

屋内防水
防水層の種別

防水層の種別	施工個所	防水層の種別	施工個所
・Ｅ－１		・Ｅ－２	

保護層　・設ける（※図示　・　　）　・設けない
防水層の下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のＢ種　・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する（施工範囲　※図示　・　　）　・適用しない

2 改質アスファルトシート防水

(9.3.2、3)(表 9.3.1～3)

防水層の種別（9.3.3）

種 別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
・AS-T1				・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・
・AS-T2						・
・AS-T3						・
・AS-T4						・
・AS-J1						・
・ASI-T1		種類（9.3.2(3)(ｳ)） ・ 厚さ(mm) ・25 ・50 ・	・設ける（改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様） ・設けない			・
・ASI-J1						・

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3までによる　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3までによる　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3までによる　・
押え金物の材質、形状、寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※改質アスファルトルシートの製造所の指定　・
設置数量　※改質アスファルトルシートの製造所の指定　・　個

9 防水工事

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2～4)(表 9.4.1～3)

防水層の種別

種 別	施工箇所	絶縁用シートの材質	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水の適用
・S-F1		※発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・		・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・
・S-F2						・
・S-M1				・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・
・S-M2						・
・SI-F1		※発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	種類（9.4.2(3)(ｴ)(b)） ・ 厚さ(mm) ・25 ・50 ・	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・
・SI-F2						・
・SI-M1			種類（9.4.2(3)(ｴ)(a)） ・ 厚さ(mm) ・25 ・50 ・	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・	・
・SI-M2		※発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・				・

SI-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
・非歩行仕様　・歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する　・設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗り 塗り方	塗 厚	立上り部の保護モルタル塗厚
・S-C1		・床塗り工法 ・下地モルタル塗り		※7mm以下 ・

平場のモルタル塗りの目地　※図示　・
目地の種類　・押し目地
ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1、表9.4.2及び表9.4.3による　・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※ルーフィングシートの製造所の仕様　・
設置数量　※ルーフィングシートの製造所の仕様　・（　）個
固定金具の材質、寸法及び形状
※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm 以上のもの
・
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示　・　　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示　・　　）
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

④ 塗膜防水

(9.5.3)(表 9.5.1、2)

防水層の種別

防水層の種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	高日射反射率防水の適用
・Ｘ－１		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様		・適用する
⊙Ｘ－２	庇、バルコニー、パラペット天端	・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様		・適用する
・Ｙ－１	※地下外壁防水 ・				
・Ｙ－２	※屋内防水 ・			・ 適用する ・ 適用しない	

ウレタンゴム系塗膜防水Ｘ－１（絶縁工法）の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※主材料の製造所の仕様　・
設置数量　※主材料の製造所の仕様　・（　）個
ゴムアスファルト系塗膜防水Ｙ－１、Ｙ－２の工程数及び各工程の使用量
※主材料の製造所の仕様　・

5 ケイ酸質系塗布防水

(9.6.4)(表9.6.1)

防水層の下地
壁　※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4　Ｂ種）　・
天井部　※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4　Ｂ種）　・

下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の撤去後水洗い清掃し、防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。
・図示
標準仕様書9.6.4(2)の(イ)、(ウ)以外の下地処理
・図示

6 シーリング

(9.7.2、3、5)(表 9.7.1)

下表以外は標準仕様書表 9.7.1による。ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

シーリング材の目地寸法　※標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による　・図示
接着性試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験

10 石工事

1 施工

(10.1.3)

石材の割付け　・図示
粗面仕上げの場合ののみ込みとなる部分の仕上げ　・図示　・
屋内の床を本磨きとする場合のワックスかけ
・行う（適用場所　・すべて　・　　）　・行わない

2 石材等

(10.2.1、3)(表 10.2.1、2)

天然石

施工箇所	岩石の種類	等級	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・床石		・２等級	※正方形に近い矩形（石材１枚の面積が0.8㎡以下）・			

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無　・あり　・なし

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上面による区分	寸法(mm)	仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・300型 ・400型		

取付け用モルタル　※専門工事業者の指定する製品　・
既調合の目地モルタル　※専門工事業者の指定する製品　・
石裏面処理材　※専門工事業者の指定する製品　・
裏打ち処理材　※専門工事業者の指定する製品　・
金物の固定に使用する充填材料等　※専門工事業者の指定する製品　・
浸透性吸水防水剤　※専門工事業者の指定する製品

3 外壁湿式工法

(10.2.2、3)(10.3.2、3)

受金物　材質　※SUS304　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ100mm
・L-75×75×6(mm)の加工　長さ150mm
・
アンカーの材質及び寸法　※SS400　M12　・
あと施工アンカーの材質及び寸法等（　　）
ドレインパイプの材質
・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き　25～35φ　・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ
※流し筋工法　・あと施工アンカー工法　・あと施工アンカー横筋流し工法
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※標準仕様書 11.1.1による　・図示
シーリング材の目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示

4 内壁空積工法

(10.2.2)(10.4.2、3)

受金物　材質　※SUS304　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　長さ100mm
・L-75×75×6(mm)の加工　長さ150mm
・
アンカーの材質及び寸法　※SS400　M12　・
あと施工アンカーの材質及び寸法等（　　）
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法
目地　一般目地　目地幅(mm)　※6以上　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※6m程度ごと　・図示
シーリング材の目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示

5 外壁乾式工法

(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)

乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
※標準仕様書 表10.2.4による
方式　・スライド方式　・ロッキング方式
・
アンカーの材質及び寸法　※ステンレス（SUS304）M10　・
あと施工アンカーの材質及び寸法　（　　）
だぼ用の穴の位置　※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による　・図示
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
外壁の工法
建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
目地　目地幅(mm)　※8以上　・
シーリング材　※充填する（※標準仕様書9.7による　・図示）
・充填しない

6 床及び階段の石張り

(10.6.2、3)

床石張りの石裏面処理　・適用する　・適用しない
階段張りの石裏面処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅(mm)　・図示　・屋外4以上、屋内3～6　・
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※標準仕様書10.6.2(5)(a)による
部材との取り合う箇所
・図示
シーリング材の目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示
浸透性吸水防水剤　※専門工事業者の指定する製品

7 アーチ、上げ裏等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、2)

取付け工法　・内壁空積工法　・乾式工法
取付け金物
引金物、だぼ、かすがい及び受金物
※標準仕様書 10.2.2(1)による　・
ファスナーの方式　・スライド方式　・ロッキング方式
吊金物及び化粧吊りボルト
・設ける　吊金物　※SUS304　径6mm　長さ80mm（加工物）
・
化粧吊りボルト　※SUS304　M10　化粧ナット付き
・
・設けない
あと施工アンカーの材質及び寸法　（　　）
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
目地　一般目地　目地幅(mm)　※ 6以上　・
伸縮調整目地
位置　※他の部位との取合い部　・図示
シーリング材の目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示

8 笠木、甲板等の石張り

(10.2.2)(10.7.1、3)

取付け工法　・外壁湿式工法　・乾式工法
取付け金物
引金物、だぼ、かすがい及び受金物
※標準仕様書 10.2.2(1)による　・
ファスナーの方式　・スライド方式　・ロッキング方式
あと施工アンカーの材質及び寸法　（　　）
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※70mm程度　・
石材の裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない

⑪ タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

(11.1.3)(表11.1.1)

位置　※標準仕様書 表11.1.1による　・図示

2 セメントモルタルによるタイル張り

(11.2.2、6)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
ポーチ	150角	⊙	・	・	⊙	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（高圧水洗処理）　・ＭＣＲ工法　・
壁タイル張りの工法
内装タイル　・改良積上げ張り　・
外装タイル　・密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
品質・性能　建築材料等品質性能表による
試験方法　建築材料等品質性能表による
・既製調合目地材
品質・性能　建築材料等品質性能表による
試験方法　建築材料等品質性能表による

3 有機系接着剤によるタイル張り

(11.3.2～4、7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・行う　・行わない
見本焼き　・行う　・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
伸縮調整目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
その他の目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（高圧水洗処理）　・ＭＣＲ工法　・
◎　内装タイル接着剤張りの接着剤はF☆☆☆☆とする

⑫ 木工事

① 施工一般

(12.2.1)(表12.1.1)

材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(ウ)(b)による

2 製材

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

・JASS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※２級 ・		※A種 ・B種 ・		・
			※２級		※A種 ・B種		・

・JASS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面			※上小節 ・		※A種 ・B種 ・		・
見え掛り面以外			※小節以上 ・		※A種 ・B種 ・		・

・JASS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※１等 ・		※10%以下 ・A種・B種・		・
			※１等 ・		※10%以下 ・A種・B種・		・

・JASS 1083(製材)以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			(　　) 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
			(　　) 造作材の場合 (※A種・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・

3 造作用集成材

(12.2.1)

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹　種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※１等 ・２等	・
				※１等 ・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹　種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※１等 ・２等	・
	化粧薄板： 芯材：				※１等 ・２等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹　種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹　種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・

4 造作用単板積層材

(12.2.1)

JASS 0701 に基づく造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（・天然木加工　・塗装加工） ・無し（　　）	・適用する ・適用しない	・
		・有り（・天然木加工　・塗装加工） ・無し（　　）	・適用する ・適用しない	・

・JASS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（・天然木加工　・塗装加工） ・無し（　　）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・
		・有り（・天然木加工　・塗装加工） ・無し（　　）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・

・JASS 3079　に基づく直交集成板

施工箇所	品名	曲げ性能(強度等級)	種別	接着性能使用環境	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・

5 合板等

(12.2.1)

・「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5 ・		※１類 ・２類	・広葉樹 ※２等以上 ・１等 ・針葉樹 ※C-D以上　・	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※2級以上 ・1級		※１類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する （　　） ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・１類　・特類		・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・１類　・２類	・適用する（　　）

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・１類　・２類			・適用する （　　）	・

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※ＰＸはＭ ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	等　級	厚さ(mm)
	・１級　・２級　・３級　・４級	

・ＭＤＦ

施工箇所	厚さ(mm)	裏表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

⑥ 接着剤

(12.2.2、3)

ホルムアルデヒドの放散量　・F☆☆☆☆

7 防腐・防蟻処理

(12.3.1、2)

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位（　　）
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製材所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　　）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位（　　）

内部間仕切軸組及び床組
・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松
・床組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松

窓、出入口その他
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はヒノキ、その他は松又は杉

床板張り
・縁甲板及び上がり框に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※ひのき

壁及び天井下地
・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松

特記事項	工事名称	図面名称		
	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	建築工事特記仕様書-5	三重県志摩市	
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 NS(A1) NS(A3)	令和5年 3月　図面番号 A-05

⑬ 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺

(13.2.2、3)(表13.2.1、2)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式
	※JIS G 3322の屋根用コイル ・	・5類(AZ150)		・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺　・

下葺材料　・アスファルトルーフィング 940
　・改質アスファルトルーフィング下葺材
　　・一般タイプ　・複層材タイプ　・粘着層付タイプ)
工法　建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）の風圧力に対応した工法
雪止め　・設置する（施工箇所　・図示　・　　）

2 折板葺

(13.2.2)(13.3.2、3)(表 13.2.1)

施工箇所	形　式	山高、山ピッチによる区分 山高	山ピッチ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形			（　）種	※鋼板製 ・アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・							

材料　板及びコイルの種類（　　）
　　塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　　）
タイトフレーム にJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理
　標準仕様書表14.2.2による　・Ｅ種　・Ｆ種
断熱材　・有り（種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　時間）
　　・無し
工法　建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）の風圧力に対応した工法
折板のけらば納め
　※けらば包みによる方法　・

3 粘土瓦葺

(13.4.2、3)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
							・適用する ・適用しない

JIS A 5208に基づく凍害試験等　・行う　・行わない
瓦桟木　材質　※杉　・
　　寸法　※幅21×高さ15(mm)以上　・
金物等　材質、形状、寸法及び留付け方法　※図示　・
棟補強用心材　材質　※杉　・
　　寸法　※幅40×高さ30(mm)　・
工法　建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）の風圧力に対応した工法
瓦桟木の留付け工法　※図示　・
棟の工法　※標準仕様書13.4.3(4)(ｱ)(ｲ)による　・

④ とい

(13.5.2、3)(表 13.5.5)

といその他の材種
　・配管用鋼管　(・)硬質ポリ塩化ビニル管　・ルーフドレン
とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔
　※標準仕様書 表13.5.2により溶融亜鉛メッキを行ったもの　・
多雪地域の軒どい取付間隔　・適用する
防露材のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・
鋼管製といの防露巻き
　・適用する（工法　※標準仕様書 表13.5.4による　・　　）
　・適用しない
ルーフドレンの材種その他

種　別	施工箇所	材　種
(・)ろく屋根用（・縦型　(・)横型）	屋根	ステンレス製
(・)バルコニー用	バルコニー	ステンレス製
(・)バルコニー中継用	バルコニー	ステンレス製

⑭ 金属工事

① ステンレスの表面仕上げ

種　類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）
(※)ＨＬ程度	訓練用フック等
・ 鏡面仕上げ程度	
・ No.２Ｂ 程度	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表 14.2.1)

種　別	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
	・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・	

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

③ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	(・)Ａ種	ホースリフター
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

④ 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類
　屋外　※ 25 形　・ 19 形
　屋内　※ 19 形　・ 25 形

・屋外の軒天井、ピロティ天井等
　工法
　　建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）の風圧力に対応した工法
　　野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示　(・)50mm
　　周辺部の端からの間隔　・図示　(・)150mm以内
　　野縁の間隔　・図示　(・) 303mm

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
　補強方法　※図示　・

・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
　補強方法　※標準仕様書14.4.4(8)による　・図示

・天井のふところが3.0mを超える場合
　補強方法　※図示　・

・天井下地材における耐震性を考慮した補強
　補強箇所　・図示　・
　補強方法　※図示　・

⑤ 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3)(表 14.5.1)

スタッド、ランナーの種類
　(※)標準仕様書 表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類　・図示
スタッドの高さが5.0mを超える場合　※図示　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
　※標準仕様書14.5.4(5)による　・図示

6 金属成形板張り

(14.6.2、3)(表 14.2.1)

種 別	製 法	形 状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理 種 別	色合い等
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ	・押出し ・ロール ・プレス ・	スパン ドレル形 パネル形			・ＢＢ－１ ・ＢＢ－２ ・	・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・

取付け用下地　※標準仕様書14.4による　・図示
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　　）　・設けない

7 アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)

種類　・250形　・300形　・350形
表面処理　種別（　）種
　　色合い等　・ステンカラー　・ブロンズ　・ブラック系　・
笠木の固定金具の工法等
　建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑧ 手すり及びタラップ

(14.8.2、3)

手すり　・SUS304（表面処理　※ＨＬ程度　(・)図示　）
　　・鋼製　（表面処理　※標準仕様書 表14.2.2の（　）種　・　）
タラップ　(・)SUS304（表面処理　※研磨なし　・　）
　　・鋼製　（表面処理　※溶融亜鉛めっきＣ種　・　）

⑮ 左官工事

1 モルタル塗り

(15.3.2、5)

モルタル　・現場調合材料
　　・既調合材料（　　）
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（※図示　・　　）
　　・設けない
床の目地
　・設ける
　　目地割り　※２m2程度（最大目地間隔３m程度　・　　）
　　種類　※押し目地　・　　）
　・設けない
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
　・適用する　・適用しない
・防水剤
　　品質・性能　建築材料等品質性能表による
　　試験方法　建築材料等品質性能表による

2 ラス系下地

(15.2.4)

ラス系下地
　・二層下地通気工法
　・単層下地通気工法
　　換気口部の措置（公共木造建築工事標準仕様書11.4.3(2)(ｸ)　・
　・直張りラスモルタル下地
　・直張りラスシートモルタル下地

ラスの材料
　素材による区分、種類及び単位面積当たりの質量
　　・２種波形ラス700　・２種防水紙付きリブラス800

3 セルフレベリング材塗り

(15.5.2)(表15.5.1)

・せっこう系　・セメント系

④ 仕上塗材仕上げ

(15.6.2)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
仕上塗材の種類

種　類	呼び名	防火材料	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｓｉ	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・	(・)ゆず肌状　(・)吹付け　・ローラー塗り）
	・外装薄塗材Ｅ	・	・さざ波状
	(・)可とう形外装薄塗材Ｅ	(・)	・平たん状
	・防水形外装薄塗材Ｅ	・	・凹凸状（・吹付け　・こて塗り）
	・外装薄塗材Ｓ	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り）
	・内装薄塗材Ｃ	・	・砂壁状じゅらく
	・内装薄塗材Ｌ	・	
	・内装薄塗材Ｓｉ	・	吸放湿性　・適用する　(・)適用しない
	・内装薄塗材Ｅ	・	
	・内装薄塗材Ｗ	・	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材Ｃ	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Ｓｉ	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材Ｅ	・	
	・内装厚塗材Ｃ	・	吸放湿性　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材Ｌ	・	上塗材　・適用する　・適用しない
	・内装厚塗材Ｇ	・	
	・内装厚塗材Ｓｉ	・	
	・内装厚塗材Ｅ	・	
・複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・可とう形複層塗材ＣＥ	・	耐候性　※耐侵形３種　・
	・複層塗材Ｓｉ	・	上塗材
	・複層塗材Ｅ	・	溶媒　※水系　・溶剤系　・弱溶媒系
	・複層塗材ＲＥ	・	樹脂　※アクリル系　・
	・防水形複層塗材ＣＥ	・	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材Ｅ	・	・メタリック
	・防水形複層塗材ＲＥ	・	
	・防水形複層塗材ＲＳ	・	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	・	
	・こて塗用軽量塗材	・	

5 ＡＬＣパネルの場合の下地処理

(15.6.4)

内壁目地部の形状　※Ｖ形目地付き　・

6 マスチック塗料塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種

7 せっこうプラスター塗り

(15.8.3)

下塗り
　・既調合プラスター（下塗り用）　・現場調合プラスター（下塗り用）
上塗り
　・既調合プラスター(上塗り用)　・しっくい塗り

8 しっくい塗り

(15.10.2、3)

しっくい塗り
　・現場調合材料　※標準仕様書15.10.2(1)(ｱ)による
　・既調合材料
　　製造所（　　）　種類（　　）
下地
　※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード
　・
調合及び塗厚
　・木ずり下地の場合　※標準仕様書表15.10.1
　・こまい土壁下地の場合　※標準仕様書表15.10.2

9 こまい壁塗り

(15.2.6)

のり
　土壁用ののり　※つのまた　・ふのり　・ぎんなんそう　・粉末海藻　・
　砂壁用ののり　※ふのり　・つのまた　・こんにゃくのり　・にかわ
　　・合成樹脂系混和剤

色土
　・土物仕上げに用いる色土の種類　（　　）
　・大津仕上げに用いる色土の種類　（　　）
色砂の種類
　・天然砂と岩石の砕砂
　・大津仕上げに用いる色土の種類　（　　）
下塗りの調合
　※標準仕様書 表15.11.2　・
塗厚
　※標準仕様書 表15.11.3による
　・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（　　）
工程
　※Ａ種　・Ｂ種

・土物仕上げ
　　種類　・土物仕上げ工法
　　・水ごね土物１工法　・水ごね土物２工法
　　・のりさし土物工法　・のりごね土物工法
　　・砂壁仕上げ工法
　　・切返し仕上げ工法
・大津仕上げ
　　種類　・普通大津仕上げ工法
　　・大津みがき仕上げ工法

10 ロックウール ロックウール吹付け

(15.12.2、3)

ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・
仕上吹付け厚さ(mm)　・図示　・25　・

特記事項	工事名称	図面名称			
	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	建築工事特記仕様書-6	三重県志摩市		
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	縮尺 NS(A1) NS(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-06

16 建具工事

① 防火戸 (16.1.3)
※建具表による ・

② 見本の製作等 (16.1.4)
建具見本の製作 ・行う（建具符号： ）
(・)行わない
建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
(・)納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
(・)行わない

③ 防犯建物部品 (16.1.6)
・適用する（・建具表による ・ ）
(・)適用しない

④ アルミニウム製建具 (16.2.2、4、5)（表14.2.1）（表16.2.1）
性能値等
性能 外部に面する建具の種別
・Ａ種（建具符号：・建具表による ・ ）
(・)Ｂ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｃ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｄ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｅ種（建具符号：・建具表による ・ ）

・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）

ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L 又はSUS443J1 ・
枠の見込み寸法 ・建具表による ・
表面処理 （標準仕様書表14.2.1）
外部に面する建具 種別 ・ＢＢ－１種 (・)ＢＢ－２種 ・
着色 (・)ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・
屋内の建具 種別 ・ＢＣ－１種 ・ＢＣ－２種 ・
着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・
結露水の処理方法 ※図示 ・
水切り板、ぜん板 ※図示 ・

⑤ 網戸等 (16.2.3)

種 類	材 質	線 径	網 目
(・)防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

6 樹脂製建具 (16.2.5)（16.3.2～5）（表16.3.1）
性能値等
性能 外部に面する建具の種別
・Ａ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｂ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｃ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｄ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｅ種（建具符号：・建具表による ・ ）

・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（・T-1 ・T-2 ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ）
（建具符号：・建具表による ・ ）

枠の見込み寸法 ・建具表による ・
表面色 ・標準色 ・特注色
水切り板、ぜん板 ※図示 ・
ガラス ※複層ガラス ・

⑦ 鋼製建具 (16.2.2)（16.4.2～4）（表16.4.2）
性能値等
簡易気密型ドアセット (・)適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 (・)S-4（建具符号：(・)建具表による ・ ）
・S-5（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-6（建具符号：・建具表による ・ ）
・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）

ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L 又はSUS443J1 ・
鋼板類の厚さ ※標準仕様書 表16.4.2による

⑧ 鋼製軽量建具 (16.2.2)（16.5.2～4）
性能値等
(・)簡易気密型ドアセット (・)適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）

材料 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L 又はSUS443J1 ・
鋼板類の厚さ ※標準仕様書表16.5.1による
召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・

9 ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)
性能値等
簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-5（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-6（建具符号：・建具表による ・ ）
・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
・耐震ドア 面内変形追随性の等級（ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）

ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L 又はSUS443J1 ・
表面仕上げ ※ＨＬ ・鏡面仕上げ ・
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

⑩ 木製建具 (16.7.2～4)
建具材の加工、組立時の含水率 ※Ｂ種 ・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

(・)フラッシュ戸
・表面材の合板の種類 (・)建具表による

合板の種類	規 格 等	備 考
・普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ラワン合板程度 ・ ） 不透明塗料塗り （※しな合板程度 ・ ） 板面の品質（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・天然木化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 （・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・1類 ・2類 ）	

表面板の厚さ ※表16.7.6による ・

・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・
・ふすま
張りの種別（・Ｉ型 ・Ⅱ型 ）
上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・
・戸ぶすま
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

枠、くつずりの材料 ・建具表による ・

⑪ 建具用金物 (16.8.2、3)（表16.8.1）
金物の種類・見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による ・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書 表16.8.2による ・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書 表16.8.3による ・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書 表16.8.4による ・
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書 表16.8.5による ・

握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
(・)建具表による ・

・錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠】
品質 建築材料等品質性能表による
性能 建築材料等品質性能表による
・錠前類 【レバーハンドル】
性能 建築材料等品質性能表による
・クローザ類
品質・性能 建築材料等品質性能表による
試験方法 建築材料等品質性能表による

⑫ 鍵 (16.8.4)
マスターキー (・)製作する ・製作しない
鍵の製作本数 ※各室３本１組（室名札付き） ・
鍵箱 (・)有り ・無し
鋼製 ・10 ・20 (・)30 ・60 ・120 ・200本用

13 自動ドア開閉装置 (16.9.2、3)
引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書 表16.9.1による 種類（ ）
車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書 表16.9.2による
引き戸用検出装置
性能値 ※標準仕様書 表16.9.3による
戸の開閉方式
・建具表による ・
引き戸用検出装置の種類
※標準仕様書 表16.9.4による 種類（ ） ・建具表による
凍結防止措置
・適用する ・適用しない

14 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)
性能値等 ※標準仕様書 表16.10.1による
試験方法 建築材料等品質性能表による

16 建具工事

⑮ 重量シャッター (16.11.2、3)
シャッターの種類
・管理用シャッター耐風圧強度（ ）N/m2
・外壁用防火シャッター耐風圧強度（ ）N/m2
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター

開閉方式の種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式
二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示 ・
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示 ・
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
・設ける （設置箇所 ・図示 ・ ）
「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
※障害物感知装置（自動閉鎖型） ・

管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・

16 軽量シャッター (16.12.2～4)
開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）N/m2
スラットの材質 の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

⑰ オーバーヘッドドア (16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧性能区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125(1250) ・100(1000) (・)75(750) ・50(500)	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 (・)ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 （ ）

障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ・図示 ・

⑱ ガラス (9.7)（16.14.2～4）（表16.14.1）
フロート板ガラス
品種及び厚さの呼びによる種類
※建具表による ・

型板ガラス
厚さによる種類
※建具表による ・

網入板ガラス及び線入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による ・

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による ・
形状による種類
・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ｉ類 ・Ⅱ－１類 ・Ⅱ－２類 ・Ⅲ類

強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
※建具表による ・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ｉ類 ・Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
※建具表による ・
性能による種類
・１種 ・２種

複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
※建具表による ・
断熱性による区分
(・)Ｔ１ ・Ｔ２ ・Ｔ３ ・Ｔ４ ・Ｔ５ ・Ｔ６
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・Ｇ (・)Ｓ
乾燥気体の種類
・空気 (・)アルゴン ・

熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による ・
日射熱遮へい性による区分
・１種 ・２種 ・３種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が２種の場合）
・Ａ類 ・Ｂ類
映像調整
・行わない ・行う

倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による ・

16 建具工事

19 ガラスブロック
ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示
樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整 目地位置(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	・	※ 8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに幅10～25 ・図示 ・	※無し ・有り
	・160×160	・95 ・125	・	・				
	・200×200	・95 ・125	・	・				
	・320×320	95	・	・				
・長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。

壁用金属枠及び補強材 ※図示
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・
寸法 ※径5.5mm ・
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色（ ）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法 ※図示 ・
形状 ※図示 ・
工法
建築基準法に基づき法定まる（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示

⑳ ガラス用フィルム

種 類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	性 能 等
・日射調整フィルム	・ＳＣ－１	・ＳＣ－２	日射遮蔽性能による区分 ・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ ・Ｅ
・低放射フィルム	・ＬＥ		熱貫流率による区分 ・Ａ ・Ｂ ・Ｃ ・Ｄ
(・)衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	(・)ＧＩ－１	・ＧＩ－２	
・			

品質 JIS A 5759による。

特記事項	工事名称	図面名称			
	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	建築工事特記仕様書-7	三重県志摩市		
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	縮尺 NS(A1) NS(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-07

17 カーテンウォール工事

1 取付方法、性能等

(17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

取付方法　・層間方式　・柱・梁方式　・方立方式　・スパンドレル方式　・

性能

耐震性 水平方向(KH)	耐震性 垂直方向(KV)	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性 (℃)
・1.0	・0.5					・30分	・80
・	・					・1時間	・70
							・60

耐風圧性

建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離(h)	耐風圧性能
４ｍ以下	・たわみ量が±(1/150)×h　かつ絶対量20mm以下であること ・
４ｍを超える	・

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量
鉄骨造	
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	

構造用ガスケット

・適用する　（施工箇所　・図示　・　　）

材質　・クロロプレン系　・ＥＰＤＭ系　・シリコーン系

形状　・Ｈ型　・Ｙ型　・Ｃ型

寸法(mm)　ｶﾞﾗｽ板厚（　）、支持枠の厚さ（　）、ｳｪｰﾌﾞの寸法（　）

・適用しない

断熱材

種類（　　）

厚さ(mm)（　　）

施工箇所　・図示　・

耐火材料

施工部位	種別	規格帯
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

2 メタルカーテンウォール

(17.2.2、3、5)

金属系材料の種類

・アルミニウム材　・鋼材　・ステンレス鋼材

（アルミニウム材の場合）

規格等　標準仕様書16.2.3による

種別　・　　（標準仕様書 表14.2.1）

着色　・ステンカラー　・ブロンズ　・ブラック系　・

映像調整　・行う　・行わない

形状及び仕上げ

製品の寸法許容差　※標準仕様書 表17.2.1による　・

見え掛かり部の仕上げ　・

ガラス溝の寸法、形状等　※カーテンウォールの製造所の仕様　・

取付け

躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差

鉛直方向　※±10mm　・

水平方向　※±25mm　・

カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差

目地の幅　※±3　・

目地の心の通り　※＋2　・

目地両側の段差　※＋2　・

各階の基準墨から各部材までの距離　※±3　・

シーリング材の種類　・

ガラスの取付け材料

・シーリング　種類　・

・構造ガスケット　形状・寸法等　・図示

断熱材　種類　・

3 ＰＣカーテンウォール

(17.3.2～5)(表17.3.1、2)

材料

コンクリート　種類（　　）

品質　設計基準強度(Fc)　※30N/mm2　・

スランプ　※12cm　・

気乾単位容積質量

・普通コンクリートの場合　2.1t/m3を超え2.5t/m3以下

・

単位水量の最大値　※185kg/m2　・

鉄筋　種類の記号　※SD295A　・

補強鉄線　径(mm)　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0

網目寸法　・

シーリング材の種類　・

耐火目地材　・

断熱材　種類　・

ガラスの取付け材料

・シーリング　種類　・

・構造ガスケット　形状・寸法等　・図示

先付けの材料

・表面仕上材

・磁器質タイル　・石材（・花こう岩　・大理石　・　　）

・建具枠

・ゴンドラ用ガイドレール

形状及び仕上げ

製品の見え掛り部の寸法許容差

・辺長　mm、対角線長の差　mm、版厚　mm

開口部内法寸法　mm、ねじれ・そり　mm

曲がり　mm、面の凹凸　mm、先付け金物の位置　mm

カーテンウォールの仕上げ　・

構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)　・

躯体取付金物の取付け位置の寸法許容差　※標準仕様書表17.3.2による

18 塗装工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(18.1.3)

※規制対象外　・

(・)防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする

・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：　　）

② 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※Ａ種　・Ｂ種
	透明塗料の場合	※Ｂ種　・Ａ種
鉄鋼面		※Ｃ種　・Ａ種　・Ｂ種
亜鉛めっき鋼面		・Ａ種　(・)Ｂ種
モルタル面及びプラスター面		※Ｂ種　・Ａ種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		※Ｂ種　・Ａ種
押出成形セメント板面		・Ａ種　・Ｂ種
せっこうボード面及び その他ボード面	目地：継目処理工法	※Ａ種　・Ｂ種
	目地：継目処理工法以外	※Ｂ種　・Ａ種

③ 錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面等		工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	※Ａ種　・Ｂ種	(EP-Gの場合 ※Ｂ種　・Ａ種)
	見え隠れ部分	※Ｂ種　・Ａ種	
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※Ａ種　・Ｂ種	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 (EP-Gの場合　Ｃ種)
	鋼製建具等以外	※Ｂ種　・Ａ種	

④ 塗装

(18.4.1～18.14.2)

塗装		種別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※Ａ種　・Ｂ種	※１種　・２種	
	木部屋内	※Ｂ種　・Ａ種	※１種　・２種	
	鉄鋼面	※Ｂ種　・Ａ種	※１種　・２種	・
	亜鉛めっき鋼面	―	※１種　・２種	・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※Ｂ種　・Ａ種	―	
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※Ｂ種　・Ａ種	―	
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	―	上塗り塗料の等級（１）級	・
	亜鉛めっき鋼面	―	上塗り塗料の等級（１）級	・
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・Ａ種　・Ｂ種 ・Ｃ種	―	
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等	※Ｂ種　・Ａ種	―	
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種　・Ａ種	―	
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※Ｂ種　・Ａ種	―	
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※Ｂ種　・Ａ種	―	
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※Ｂ種　・Ａ種	―	
・オイルステイン塗り(OS)		(・)水性　・油性	―	
・木材保護塗料塗り(WP)		※Ｂ種　・Ａ種	―	

高日射反射率塗装を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。

19 内装工事

① 接着剤

(19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外　(・)☆☆☆☆

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別

・図示　・

② ビニル床シート

(19.2.2、3)

種類の記号	色　柄	厚さ(mm)
※ＦＳ	(・)無地	※ 2.0
・	・マーブル柄	・
・	・柄物	

目地処理する場合の工法　※熱溶接工法　・

3 ビニル床タイル

(19.2.2)

種類の記号	色　柄	寸　法	厚さ(mm)
※ＫＴ	・無地	・300×300	※ 2.0
・ＴＴ	・柄物	・450×450	・ 2.5
・ＦＴ		・	
・ＦＯＡ			・ 3.0
・ＦＯＢ			

4 特殊機能床

(19.2.2)

・帯電防止床シート

種類　（　　）

性能　（　　）

厚さ　（　　）mm

・帯電防止床タイル

種類　（　　）

性能　（　　）

寸法　（　　×　　）mm　厚さ（　　）mm

・視覚障害者用床タイル

視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による

種類　（　　）

形状　（　　）

・耐動荷重性床シート

種類　（　　）

厚さ　（　　）mm

・防滑性床シート

種類　（　　）

厚さ　（　　）mm

・防滑性床タイル

種類　（　　）

寸法　（　　×　　）mm　厚さ（　　）mm

19 内装工事

⑤ ビニル幅木

(19.2.2)

材質の種類　(・)軟質　・硬質

高さ(mm)　※60　・75　・100

厚さ(mm)　※1.5以上　・

6 ゴム床タイル

(19.2.2)

種類　・単層品　・複層品

色柄　（　　）

厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0

寸法(mm)（　　）

6 カーペット敷き

(19.3.3、4)(表 19.3.1)

・織じゅうたん

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル

色柄（・　　※模様のない無地）

パイル糸の種類等

※無地の織りじゅうたんの種別（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種）

・

帯電性　・適用する　・適用しない

織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第２種２号　呼び厚さ8mm

・

・ タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ（mm）	工　法	帯電性
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法	・適用する
・ループパイル	・4～6　・	・グリッパー工法	・適用しない
・カット、ループ併用	・		

下敷き材(グリッパー工法の場合)

※反毛フェルト（JIS L 3204）の第２種２号　呼び厚さ 8mm　・

・ニードルパンチカーペット

厚さ（mm）（　　）

帯電性　・適用する　・適用しない

・タイルカーペット

パイルの形状	種　類	施工箇所	寸　法	総厚さ（mm）
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6.5 ・
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6.5 ・
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6.5 ・

タイルカーペットの敷き方

平場　※市松敷き　・模様流し　・

階段部分　※模様流し　・市松敷き　・

見切り、押え金物

材質（　　）

種類（　　）

形状等　※図示　・

⑦ 合成樹脂塗床

(19.4.2)(19.4.3)(表 19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
(・)薄膜型塗床材	図示		※平滑仕上げ

塗料のホルムルデヒド放散量　(19.4.2)　※規制対象外

⑧ フローリング張り

(19.5.2～6)(表 19.5.1～5)

・単層フローリング　（フローリングボード１等）

工法　・釘留め工法（　・根太張り　・直張り）

・接着工法

樹種　※なら　・

間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

・単層フローリング（フローリングブロック１等）

樹種　・

厚さ　・

大きさ　・

間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

(・)複合フローリング

工法　(・)釘留め工法（(・)根太張り　・直張り）

・接着工法

樹種　※なら　・

種別　(・)Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

間伐材等の適用　(・)適用する　・適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

接着工法の場合の裏面緩衝材　※合成樹脂発泡シート

・現場塗装仕上げ

※ウレタン樹脂ワニス塗り

・オイルステインの上、ワックス塗り

・生地のままワックス塗り

⑨ 畳敷き

(19.6.2)(表 19.6.1)

種別　・Ａ種　・Ｂ種(・)Ｃ種　・Ｄ種（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）

下地の種類　(・)標準仕様書　表12.6.1による床組

・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン　）

・

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

19 内装工事

⑩ せっこうボードその他のボード及び合板張り

(19.7.2、3)(表 19.7.1)

合板類 、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外　・

・木質系セメント板　種類・厚さ（ ※図示　・　　）

・繊維板　種類・厚さ（ ※図示　・　　）

・パーティクルボード　種類・厚さ（ ※図示　・　　）

(・)吸音材料　種類・厚さ（ ※図示　・　　）

(・)せっこうボード　種類・厚さ（ ※図示　・　　）

・普通合板

表板の樹種名　・

板面の品質　・

厚さ　※図示　・

接着の程度　・１類　・２類

防虫処理　・行う　・行わない

・天然木化粧合板

化粧板の樹種名　・

厚さ　※図示　・

接着の程度　・１類　・２類

防虫処理　・行う　・行わない

・特殊加工化粧合板

化粧加工の方法（ ・オーバーレイ　・プリント　・塗装　・　　）

表面性能　・

厚さ　※図示

接着の程度　・１類　・２類

防虫処理　・行う　・行わない

せっこうボード等の下地　※図示

遮音シール材　・適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）

・適用しない

合板類の張付け　※Ｂ種　・Ａ種

せっこうボードの目地工法　・仕上表による　・

⑪ 壁紙張り

(19.8.2、3)

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	プラスチック	無機質	その他	防火性能	備　考
図示	・	・	・	・	(・)	・不燃　(・)準不燃	塩化ビニル樹脂系
	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ　※Ｂ種　・Ａ種

コンクリート面の素地ごしらえ　※Ｂ種　・Ａ種

せっこうボード面の素地ごしらえ　※Ｂ種　・Ａ種

⑫ 断熱材

(19.9.2、3)

フェノールフォームを使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

・ 断熱材打込み工法

種　類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		
(・)押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	100,75,25	図示
・硬質ウレタンフォーム断熱材		
・フェノールフォーム断熱材		

(・)断熱材現場発泡工法

断熱材の種類　※Ａ種１　・Ｂ種１

厚さ（mm）　・25　・30　(・)50

施工箇所　(・)図示　・

・現場発泡断熱材

試験方法　建築材料等品質性能表による

品質・性能　建築材料等品質性能表による

特記事項	工事名称	図面名称			
	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	建築工事特記仕様書-8	三重県志摩市		
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（いー４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 NS(A1) NS(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-08

⑳ ユニット及びその他の工事

① フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
事務室	(・)置敷式 ・支柱調整式	(・)500×500 ・		・1.0G (・)0.6G	(・)3000N ・5000N	(・)帯電防止床タイル ・タイルカーペット ・

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)(a)～(c)による
・
パネルの長さ
※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
500mm以下の場合　±0.5mm以内
・
パネルの平面形状（角度）
※各辺の長さが500mmを超える場合　±0.1%以内
500mm以下の場合　±0.5mm以内
・
フリーアクセスフロアの高さ
※±0.5mm以内　・

性能　建築材料等品質性能表による
試験方法　建築材料等品質性能表による

② 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 スタッド	構成基材の種類 パネル	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示　・　）　・なし
ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。

表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放散量　JIS A 6512によるF☆☆☆☆以上

3 移動間仕切

(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	パネル表面材 仕上げ	遮音性(db/500HZ)
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
ランナー
※パネル重量の５倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。
・
品質・性能　建築材料等品質性能表による
試験方法　建築材料等品質性能表による

④ トイレブース

(20.2.5)

表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
(・)メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・標準 (・)R	(・)アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・
品質・性能　建築材料等品質性能表による
試験方法　建築材料等品質性能表による

⑥ 階段滑り止め

(20.2.6)

材種　(・)ステンレス製　・黄銅製押出型材　・アルミニウム製押出型材
滑り止め材　形状　・ひも型　(・)タイヤ型
材質　・ゴム又は合成樹脂　・
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法
幅(　　)mm　端部フラットエンド（・あり　・なし）

⑦ 手すり

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所
・集成材	・クリアラッカー　・	・35　・45　・	
・ステンレスパイプ	・ＨＬ　・		
(・)鋼製パイプ	・ＳＯＰ　・ＤＰ		図示
(・)ビニル製ハンドレール	・		図示

8 黒板及び ホワイトボード

(20.2.8)

・黒板
区分　※焼き付け　・
種類　・鋼製黒板　・ほうろう黒板　・
色　※緑　・
・ホワイトボード

⑨ 鏡

(20.2.9)

取付箇所　（図示　　）
寸法（mm）　※図示　・
厚さ（mm）　※５　・

10 表示

(20.2.10)

・衝突防止表示
形状・寸法（　・３０φ　・　　）
材質（　・ステンレス製　・　　）

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示
・適用する（※消防法に適合する市販品　・　　）
・適用しない
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等　※図示
その他の表示　※図示

11 煙突ライニング

(20.2.11)

煙突用成形ライニング材
種類　・ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材　・
適用安全使用温度（上限温度）　・400℃　・650℃　・
適用安全使用温度（下限温度）　・
（適用安全使用温度（上限温度）が400℃又は650℃の場合）
品質・性能　建築材料等品質性能表による
試験方法　建築材料等品質性能表による
（適用安全使用温度（上限温度）が400℃又は650℃以外の場合）
品質・性能等　・

⑫ ブラインド

(20.2.12)

形式	操作方法	種類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・レールの材種	幅・高さ
(・)横形	(・)手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	―				
・縦形	・手動	※２本操作コード式 ・１本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示 ・
	・電動	―	・			

スラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

13 ロールスクリーン

(20.2.13)

操作 方式　・スプリング式　・コード式　・電動式
幅・高さ　・図示　・
材種　・ガラス繊維製　・合成・天然繊維製　・木製
品 質 等
その他の材料　※ロールスクリーンの製造所の仕様による

14 カーテン

(20.2.14)

形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ	・図示 ・	
					(暗幕)

暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

15 カーテンレール

(20.2.14)

材料による区分　※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
・
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形　・

16 ブラインドボックス及び カーテンボックス

溝型×深さ（mm）　・150×80　・120×80　・120×150　・180×150　・図示
材質　・集成材（仕上げ：　　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
表面処理　種別（標準仕様書表14.2.1）　・BC-1種　・
色合い　・
・鋼製（仕上げ：　　）

⑰ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
(・)アルミニウム製 ・	・450×450 (・)600×600 ・	(・)一般形 ・気密形	・屋内外用 (・)屋内用	(・)額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ (・)目地タイプ

品質・性能　建築材料等品質性能表による
試験方法　建築材料等品質性能表による

⑱ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 (・)ステンレス製 ・鋼製	(・)450×450 ・600×600 ・	・一般形 (・)密閉形	・屋内外用 (・)屋内用	・鍵付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする
品質・性能　建築材料等品質性能表による
試験方法　建築材料等品質性能表による

⑲ 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能
(・)垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）	(・)耐火型 ・非耐火型	(・)有り ・無し

目地

目地	内壁	外壁
目地材	(・)シーリング材（見え掛かりのみ） ・	(・)シーリング材(見え掛かりのみ) ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	(・)幅20×深さ10 ・	(・)幅20×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書 表9.7.1による

⑳ ユニット及びその他の工事

⑳ 止水板

形状　・差込式　(・)嵌置式　・壁張り式
施工箇所　(・)図示　・

21 エキスパンション ジョイント金物

材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50　・100 ・150	・有り（　　） ・無し	

外部は防水型とする

22 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

㉓ 流し台ユニット

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
(・)流し台	・1200 ・1500 (・)1800	・550 ・600 (・)650	・800 (・)850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
(・)つり戸棚	・1200 (・)900	・450 (・)図示	・500 (・)700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・

品質・性能
（１）外観は、　JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
（２）構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状　※図示　・

24 旗竿

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

25 旗竿受金物

材種　・ステンレス製（SUS 304）　・

26 車止めさく

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・
・			

27 フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ　※図示　・

28 プレキャスト コンクリート

(20.3.3、4)

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
・図示
取付け方法　※図示

29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

(20.4.2、3)

材種	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	―	―	
・コンクリート間知ブロック	―		・Ａ　・Ｂ	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示　・伸縮目地
伸縮調整目地　材種　・図示　・
厚さ　・図示　・

㉚ 天井見切り縁

材種　(・)塩化ビニル製　・アルミニウム製

㉑ 排水工事

① 屋外雨水排水

材料

(21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径
(・)遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（１種）	(・)B形管 ・	(・)図示 ・
(・)硬質ポリ塩化ビニル管	(・)VP (・)VU (・)RS-VU		(・)図示 (・)図示 (・)図示

基床の厚さ及び種類　(・)図示　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・
側塊の形状及び寸法　(・)図示　・
排水桝の種類　(・)図示　・
砂地業に用いる材料　・シルト　(・)山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　(・)再生クラッシャラン　・切込砂利又は切込砕石
(・)現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm2　・
(・)現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295A　・
(・)現場打ちの場合の足掛け金物　※標準仕様書21.2.2(6)(ｵ)
材質　(・)ステンレス製　・鋼製　・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う　・行わない

② 鋳鉄製ふた

(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 (・)簡易密閉形（パッキン式） (・)密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式）	(・)Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 (・)Ｔ－２０用 ・	・有り (・)無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による

③ グレーチング

(21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
(・)鋼製	(・)受枠付き、ボルト固定 ・	(・)溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） (・)桝ふた用 (・)Ｕ字溝用	・歩行用 (・)T－2用 (・)T－6用 (・)T-14用 ・T-20用 (・)T-25用	・細目 ・ ・普通目 (・)細目	・ ・	(・)凹凸形 ・ ・平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・T－2用 ・T－6用 ・T-14用 ・T-20用	―	―	・凹凸形 ・ ・平形 ・

品質・性能　工事建築材料等品質性能表による
荷重試験方法　工事建築材料等品質性能表による

④ 街きょ、縁石、及び側溝

(21.3.1、2)(表21.3.1)

街きょ、縁石、側溝

種類	形状、寸法
(・)縁石	(・)図示　・
・Ｌ形側溝	・図示　・
(・)Ｕ形側溝	(・)図示　・
・Ｕ形側溝ふた	・図示　・
・	・図示　・

砂利地業に用いる材料　・再生クラッシャラン　・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ　※100（mm）　・図示
・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm2　・
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う　・行わない

⑤ 埋戻し土

(21.2.1)

※ Ｂ種　・

特記事項	工事名称	図面名称			
	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	建築工事特記仕様書-9	三重県志摩市		
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 NS(A1) NS(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-09

22 舗装工事

① 路床

(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

路床の材料

種　別	材　料	厚さ(mm)
・盛土	(・)A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	(・)図示 ・
・凍上抑制層	(・)再生クラッシャラン　・クラッシャラン ・切込み砂利　・砂	(・)図示 ・
・フィルター層	・標準仕様書22.2.3(3)による ・	(・)図示 ・

・路床安定処理
　安定処理の方法　・置換え工法　・安定処理工法
　　路床安定化処理用添加材料
　　種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種
　　・フライアッシュセメントB種
　　・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
　　添加量　・　　kg/m3（目標CBR　・3以上　・　　）
・ジオテキスタイル
　単位面積質量　・60g/㎡以上　・
　厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
　引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
　透水係数　・1.5×10⁻⁷cm/sec以上　・

試験
　砂の粒度試験　・行う　・行わない
　路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　・行わない
　路床締固め度の試験　・行う　・行わない
　現場CBR試験　・行う　・行わない

② 路盤

(22.2.2、3、5)(表 22.3.1)

路盤の厚さ　(・)図示　・
路盤材料

	種類
砕石	・クラッシャラン
	・粒度調整砕石
再生材	(・)クラッシャラン
	・粒度調整砕石
・クラッシャラン鉄鋼スラグ	
・粒度調整鉄鋼スラグ	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	

3 アスファルト舗装

(22.4.2～6)(表 22.4.4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料及び種類
　アスファルト　・再生アスファルト　（・60～80　・80～100　）
　　・ストレートアスファルト
　骨材　・道路用砕石
　　・アスファルトコンクリート再生骨材

加熱アスファルト混合物等の種類
　・密粒度アスファルト混合物(13)
　・細粒度アスファルト混合物(13)
　・密粒度アスファルト混合物(13F)
シールコートの乳剤の種別　・PK－1　・PK－2
試験　アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
　・

④ コンクリート舗装

(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部　位	構　成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	(・)図示	(・)図示　・
	歩行者用通路	・図示	※70　・

寒冷地の縁部立下り寸法等　・図示
材料
　コンクリート
　　種類　※普通コンクリート　・
　　設計基準強度、スランプ及び粗骨材の最大寸法　※標準仕様書 表22.5.1による
　早強セメント　・使用する　・使用しない
　注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地の種類、間隔、構造
　※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による　(・)図示

5 カラー舗装

(22.6.2～4)

・加熱系カラー舗装
　構成　・厚さ　・図示
　加熱系混合物の結合材
　　・アスファルト混合物
　　・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　%）
　着色骨材（　　）
　自然石　（　　）

・常温系カラー舗装
　工法　・ニート工法　・塗布工法
　着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装　・

⑥ 透水性アスファルト舗装

(22.7.2、3、6)

構成　(・)図示　・
材料
　骨材　・道路用砕石
　　・アスファルトコンクリート再生骨材
試験　アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
　　砂の粒度試験試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・

22 舗装工事

⑦ ブロック系舗装

(22.8.2、3)

・コンクリート平板舗装

種　類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備　考
・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M) (・)誘導ブロック平板	(・)300角 ・	※60 ・	※砂 (・)モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し ・点字加工

クッション材　※砂　・空練りモルタル

仕上り面の平たん性
　※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。
　・

・インターロッキングブロック舗装

種　類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	表面加工
・普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	車路	・図示 ・	※80 ・	※5.0 ・	
・普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	歩行者用通路	・図示 ・	※60 ・	※3.0 ・	

クッション材　※砂　・空練りモルタル

仕上り面の平たん性
　※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。
　・

・舗石舗装

種　類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基　層	基層の厚さ(mm)
※小舗石（花こう岩） ・	・図示 ・	・ ・	・うろこ張り ・	・コンクリート版	※70 ・
				・アスファルト混合物	※50 ・

仕上り面の平たん性
　※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする
　・
・ジオテキスタイル
　単位面積質量　・60g/㎡以上　・
　厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
　引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
　透水係数　・1.5×10⁻⁷cm/sec以上　・

⑧ 砂利敷き

(22.9.2)

種別
　・A種（施工範囲：　・図示　・通路　・　　）
　・B種（施工範囲：　・図示　・建物周囲その他　・　　）

⑨ 路面標示用塗料

路面標示用塗料はJIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
(※)3種1号	溶融	粉体状	(・)白	(・)50	・1.0
・1種	常温	液状	・	・100	・1.5
・2種	加熱			(・)300　(・)450	

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等

(23.1.3)

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　・行わない
電気伝導度（EC）の試験　・行う　・行わない

植栽基盤の整備

(23.2.2.4)

樹木の植栽基盤の整備　・適用する　・適用しない

植　栽	工　法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・荒張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　　）　・設けない

③ 植込み用土

(23.2.3)

(・)現場発生土の良質土　・客土

4 土壌改良材

(23.2.3)

土壌改良材の適用　・適用する　・適用しない
種別及び指定量等
・バーク堆肥
　施工箇所　※植栽範囲　・図示
　使用量　植栽基盤面積1m2あたり（・50L　・　　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
　施工箇所　※植栽範囲　・図示
　使用量　植栽基盤面積1m2あたり（・10L　・　　）
　材料
　「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

5 樹木

(23.3.2)

樹種、寸法、株立数等　※図示　・

6 支柱

(23.3.2、3)

支柱材　※丸太（間伐材）　・真竹
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　・図示　・

7 幹巻き用材料

(23.3.2)

材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも

⑧ 芝

(23.4.2、3)

種類　※コウライシバ　(・)ノシバ
芝張りの工法
　平地　※目地張り　(・)べた張り
　法面　・目地張り　※べた張り

9 吹付けけ種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/m2）
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上	
・		

10 地被類

(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

11 新植、芝等の枯保証、移設樹木の枯損処置

(23.3.4、6)(23.4.7)

新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
　※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
　※引渡しの日から1年　・無し　・

12 屋上緑化

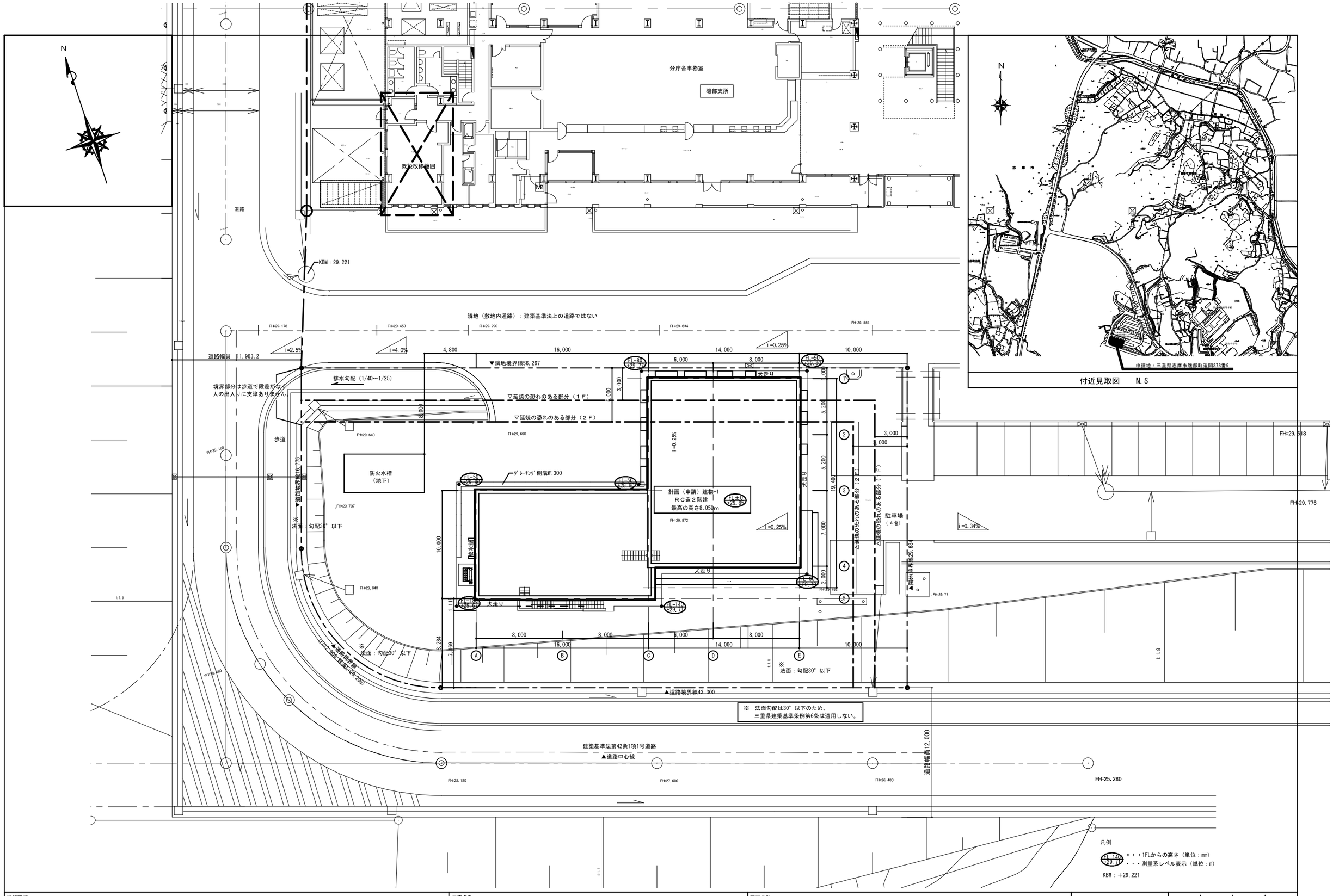
植栽基盤及び材料

(23.5.2～4)

・屋上緑化システム
　土壌層の厚さ　・図示　・
　排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　　）　・板状成形品
　植込み用土　※改良土　・人工軽量土
　樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等　※図示
　見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示
　品質・性能　建築材料等品質性能表による
　試験方法　建築材料等品質性能表による

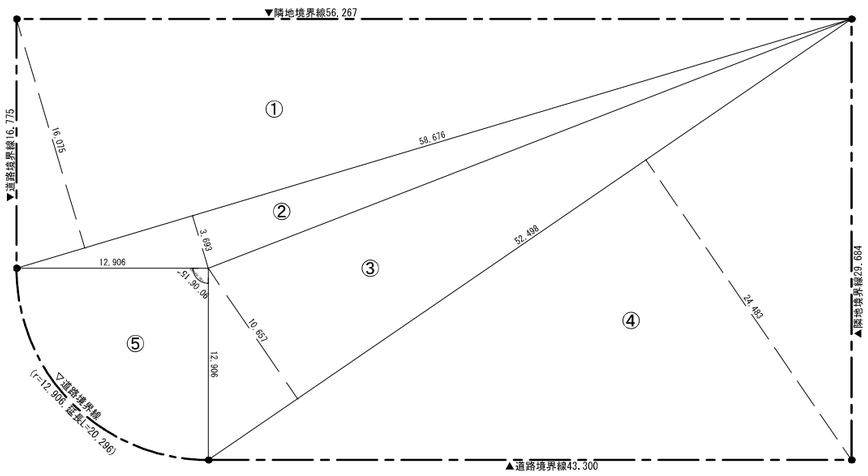
・屋上緑化軽量システム
　樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等　※図示
　見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示
　品質・性能　建築材料等品質性能表による
　試験方法　建築材料等品質性能表による

工法
　建築基準法に基づき定まる（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
支柱　・設置する（形式　・図示　・　　）
かん水装置　・設置する　（種類　・　　）



特記事項 23.01.16 建物廻りのレベル記入	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 配置図・付近見取図	三重県志摩市	
	設計者 日本工営都市空間株式会社 日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	縮尺 1:150(A1) 1:300(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-11

①	58.676	×	16.075	×	1/2	=	471.60835		
②	58.676	×	3.693	×	1/2	=	108.345234		
③	52.498	×	10.657	×	1/2	=	279.735593		
④	52.498	×	24.483	×	1/2	=	642.654267		
⑤	12.906 × 12.906	×	π	×	90.1041666	/ 360	=	130.9711279	
								1,633.314572	1,633.31 ㎡



敷地求積図　S＝1/200(A1)

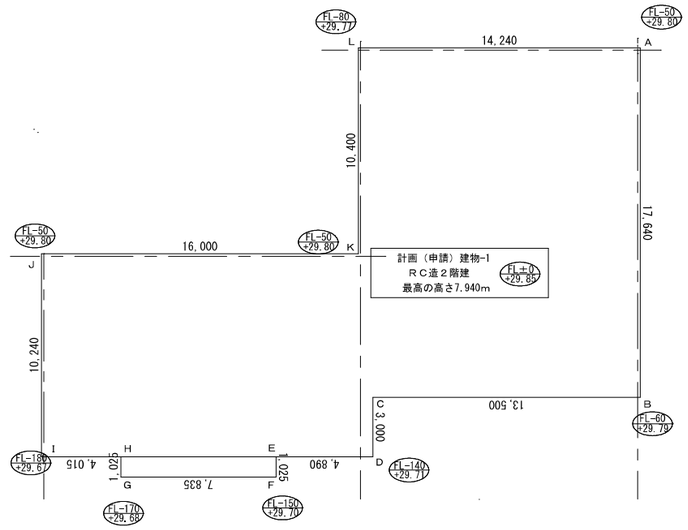
平均地盤算定表

位置	辺長	レベル	平均高		辺長x平均高
A－B	17.640 ×	-50 / -60	(-55)	＝	-970.200
B－C	13.500 ×	-60 / -140	(-100)	＝	-1,350.000
C－D	3.000 ×	-140 / -140	(-140)	＝	-420.000
D－E	4.890 ×	-140 / -150	(-145)	＝	-709.050
E－F	1.025 ×	-150 / -150	(-150)	＝	-153.750
F－G	7.835 ×	-150 / -170	(-160)	＝	-1,253.600
G－H	1.025 ×	-170 / -170	(-170)	＝	-174.250
H－I	4.015 ×	-170 / -180	(-175)	＝	-702.625
I－J	10.240 ×	-180 / -50	(-115)	＝	-1,177.600
J－K	16.000 ×	-50 / -50	(-50)	＝	-800.000
K－L	10.400 ×	-50 / -80	(-65)	＝	-676.000
L－A	14.240 ×	-80 / -50	(-65)	＝	-925.600
	103.810				-9,312.675

平均地盤高の算定

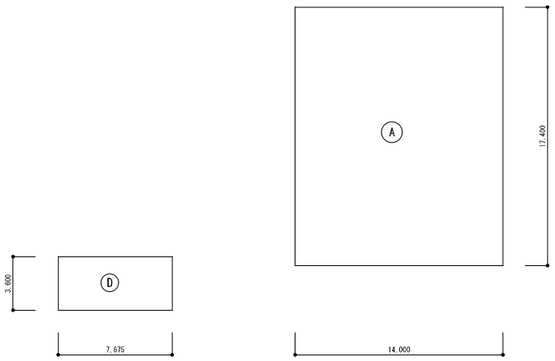
-9,312.675 ／ 103.810 ＝ -89.708

∴ＧＬ ＝ １ＦＬ－90mm



平均地盤算定図　S＝1/150 (A1)

特記事項	工事名称	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称	敷地の求積図・平均地盤高算定図	三重県志摩市		
	設計者	日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　富田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 1:200,150(A1) 1:400,300(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-12	



■ 床面積 算定用 計算式

符号	計 算 式	(㎡)
A	14.000 × 17.400 =	243.600
B	15.950 × 10.000 =	159.500
C	0.450 × 3.000 =	1.350
D	7.675 × 3.600 =	27.630
α	△ 0.050 × 4.875 =	△ 0.24375
a	2.800 × 8.100 =	22.680

■ 棟別 床面積 求積表 (㎡)

	計 算 式	計	面積
消防署分署 2階	A + D =	271.230	271.23 ㎡
消防署分署 1階	A + B + C − α =	404.20625	404.20 ㎡
床面積合計			675.43㎡

分団車庫	a =	22.680	22.68 ㎡
床面積合計			22.68 ㎡

2階床面積求積図　S=1/200 (A3:1/400)

■ 建築面積 算定用 計算式

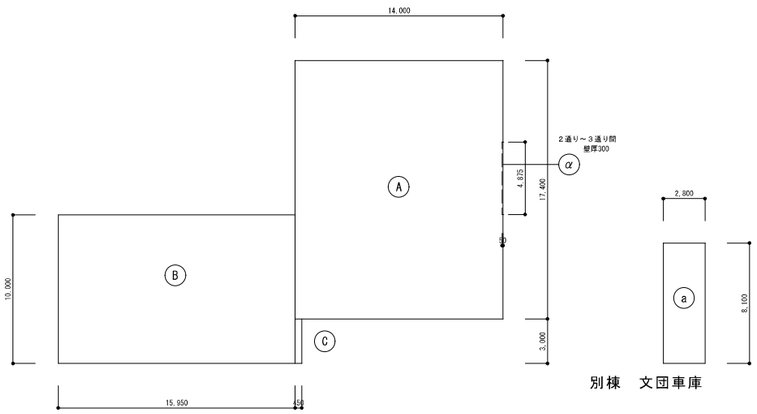
符号	計 算 式	(㎡)
A	14.000 × 17.400 =	243.600
B	15.950 × 10.000 =	159.500
C	0.450 × 3.000 =	1.350
1	0.700 × 5.000 =	3.500
2	14.250 × 0.700 =	9.975
3	7.835 × 1.025 =	8.0309

a	2.800 × 8.100 =	22.680

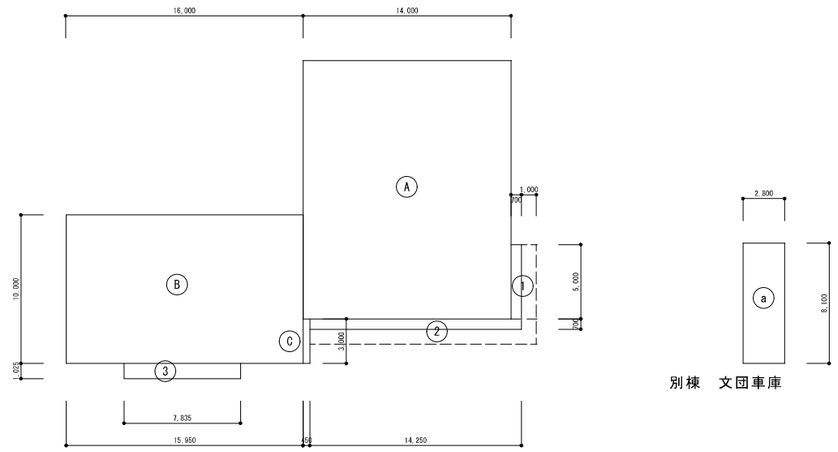
■ 建築面積 求積表 (㎡)

	計 算 式	計	面積
消防署 分署	A + B + C + 1 + 2 + 3 =	425.9559	425.95 ㎡
合 計			425.95 ㎡

分団 車庫	a	22.680	22.68 ㎡

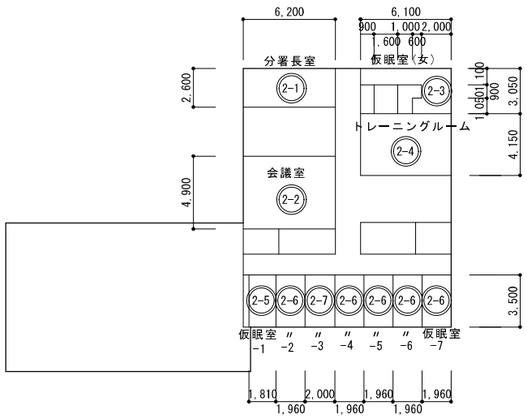


1階床面積求積図　S=1/200 (A3:1/400)



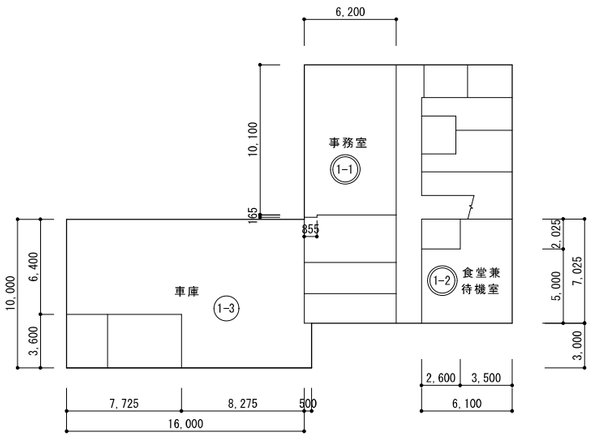
建築面積求積図　S=1/200 (A3:1/400)

特記事項	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 建物求積図	三重県志摩市
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い－4) 第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	縮尺 1:200(A1) 1:400(A3) / 令和5年 3月 / 図面番号 A-13



◆ ２階【居室】採光・換気・排煙 チェック

	室 名	室面積計算式	室面積(㎡)	採光 必要面積 1/20	採光 有効開口面積 建具符号	採光 有効開口面積 計算式	採光 有効開口面積 有効面積	採光 判定	換気 必要面積 1/20	換気 有効開口面積 建具符号	換気 有効開口面積 計算式	換気 有効開口面積 有効面積	換気 判定	排煙 必要面積 1/50	排煙 有効開口面積 建具符号	排煙 有効開口面積 計算式	排煙 有効開口面積 有効面積	排煙 判定
2-1	分署長室	6.200 × 2.600 =	16.120	0.806	AW- 1	1.800× 1.300 ×2= 4.680	5.980	OK	0.806	AW- 1	1.800× 1.300×1/2×2= 2.340	3.640	OK	0.323	AW- 1	1.800× 0.600×1/2×2= 1.080	1.680	OK
					AW- 7	1.000× 1.300 = 1.300				AW- 7	1.000× 1.300 = 1.300				AW- 7	1.000× 0.600 = 0.600		
2-2	会議室	6.200 × 4.900 =	30.380	1.519	AW- 3	1.500× 1.300 = 1.950	3.250	OK	1.519	AW- 3	1.500× 1.300× 1/2 = 0.975	2.275	OK	0.608	AW- 3	1.500× 0.600× 1/2 = 0.450	1.050	OK
					AW- 6	1.000× 1.300 = 1.300				AW- 6	1.000× 1.300 = 1.300				AW- 6	1.000× 0.600 = 0.600		
2-3	仮眠室(女)	6.100 × 1.100 + 2.000 × 0.900 + 2.600 × 1.050 =	11.240	0.562	AW- 2	0.750× 1.300 ×2 = 1.950	1.950	OK	0.562	AW- 2	0.750× 1.300× 2 = 1.950	1.950	OK	0.225	AW- 2	0.750× 0.600× 2 = 0.900	0.900	OK
2-4	トレーニング ルーム	6.100 × 4.150 =	25.315	1.266	AW- 2	0.750× 1.300 = 0.975	2.275	OK	1.266	AW- 2	0.750× 1.300 = 0.975	2.275	OK	0.507	AW- 2	0.750× 0.600 = 0.450	1.050	OK
					AW- 7	1.000× 1.300 = 1.300				AW- 7	1.000× 1.300 = 1.300				AW- 7	1.000× 0.600 = 0.600		
2-5	仮眠室-1	1.810 × 3.500 =	6.335	0.317	AW- 2	0.750× 1.300 = 0.975	0.975	OK	0.317	AW- 2	0.750× 1.300 = 0.975	0.975	OK	0.127	AW- 2	0.750× 0.600 = 0.450	0.450	OK
2-6	仮眠室-2 仮眠室-4～7	1.960 × 3.500 =	6.860	0.343	AW- 2	0.750× 1.300 = 0.975	0.975	OK	0.343	AW- 2	0.750× 1.300 = 0.975	0.975	OK	0.138	AW- 2	0.750× 0.600 = 0.450	0.450	OK
2-7	仮眠室-3	2.000 × 3.500 =	7.000	0.350	AW- 2	0.750× 1.300 = 0.975	0.975	OK	0.350	AW- 2	0.750× 1.300 = 0.975	0.975	OK	0.140	AW- 2	0.750× 0.600 = 0.450	0.450	OK



◆ １階【居室】採光・換気・排煙 チェック

	室 名	室面積計算式	室面積(㎡)	採光 必要面積 1/20	採光 有効開口面積 建具符号	採光 有効開口面積 計算式	採光 有効開口面積 有効面積	採光 判定	換気 必要面積 1/20	換気 有効開口面積 建具符号	換気 有効開口面積 計算式	換気 有効開口面積 有効面積	換気 判定	排煙 必要面積 1/50	排煙 有効開口面積 建具符号	排煙 有効開口面積 計算式	排煙 有効開口面積 有効面積	排煙 判定
1-1	事務室	6.200 × 10.100 + 0.855 × 0.165 =	62.761	3.138	AW- 1	1.800× 1.300× 2 = 4.680	10.280	OK	3.138	AW- 1	1.800× 1.300×1/2×2= 2.340	6.440	OK	1.255	AW- 1	1.800× 0.600×1/2×2= 1.080	2.505	OK
					AW- 7	1.000× 1.300× 2 = 2.600				AW- 7	1.000× 1.300× 2 = 2.600				AW- 7	1.000× 0.600× 2 = 1.200		
					AW- 10	1.500× 2.000 = 3.000				AW- 10	1.500× 2.000×1/2 = 1.500				AW- 10	1.500× 0.300×1/2 = 0.225		
1-2	食堂兼待機室	6.100 × 5.000 + 3.500 × 2.025 =	37.5875	1.879	AW- 1	1.800× 1.300 = 2.340	5.265	OK	1.879	AW- 1	1.800× 1.300×1/2 = 1.170	3.120	OK	0.752	AW- 1	1.800× 0.600×1/2 = 0.540	1.440	OK
					AW- 2	0.750× 1.300 = 0.975				AW- 2	0.750× 1.300 = 0.975				AW- 2	0.750× 0.600 = 0.450		
					AW- 3	1.500× 1.300 = 1.950				AW- 3	1.500× 1.300×1/2 = 0.975				AW- 3	1.500× 0.600×1/2 = 0.450		
1-3	車庫	7.725 × 6.400 + 8.275 × 10.000 + 0.500 × 3.000 =	133.690											2.674	AW-5	0.500× 0.500 ×6= 1.500	16.836	OK
															OS-1	6.390× 1.200×2 = 15.336		

◇ 消防法 無窓階チェック

階		床面積(㎡)	必要面積 1/30	有効開口面積 建具符号	有効開口面積 計算式	有効開口面積 有効面積	判定
2F	床面積求積表より	271.23	9.041	AD- 3	0.900× 2.000 = 1.800	11.940	OK
				AW- 1A	1.800× 1.300×1/2×2= 2.340		
				AW- 2	0.750× 1.300 ×7= 6.825		
				AW- 3	1.500× 1.300×1/2 = 0.975		
1F	床面積求積表より	404.20	13.473	SD- 4	1.500× 2.000 = 3.000	16.710	OK
				AW-1･1A	1.800× 1.300×1/2×3= 3.510		
				AW-10	1.500× 2.000×1/2 = 1.500		
				AD- 2	1.500× 2.000 = 3.000		
				AD- 3	0.900× 2.000 = 1.800		
				AW-7･7A	1.000× 1.300 ×3= 3.900		

特記事項	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 法規チェック図	三重県志摩市		
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	縮尺 N.S	令和5年 3月	図面番号 A-14

特記及び共通事項

1．特記無き限り、屋内塗装は木部･鉄部はSOP塗りとし、屋外鉄部塗装はDPする。
2．特記無き限り、水回り床貼り用接着剤はエポキシ樹脂系とする。
3．特記無き限り、屋根スラブ下面は、現場発泡硬質ウレタンフォーム t=25 吹付とする。　断熱材：吹付硬質ウレタンフォームＡ種１（以下共通）
4．特記無き限り、屋外に面するコンクリート（外壁・柱・梁）の室内側は、現場発泡硬質ウレタンフォーム t=50 吹付とする。
5．特記なき限り、1Fスラブ下 押出法ポリスチレンフォーム（３種） t=100 土間部:敷込み、ピット部打込みとする。
6．特記なき限り、石膏ボード（ＧＢ-Ｄは除く）は継目処理工法とする。
7．特記なき限り、ＬＧＳスタッドは W=65 とする。
8．特記なき限り、土間スラブ下 防湿ポリスチレンフィルム t=0.15敷込とする。(車庫を除く)
9．特記なき限り、ＲＣ面ボード貼り(断熱材あり)はＧＬ工法とする。

耐火リスト
(H12告示第1399号を準用する。)

部位	令第107条要件	構造	仕様
壁	１ｈ	鉄筋コンクリート	（かぶり厚30以上）
柱	１ｈ	鉄筋コンクリート	（かぶり厚30以上）
床	１ｈ	鉄筋コンクリート	厚70以上　（かぶり厚30以上）
梁	１ｈ	鉄筋コンクリート	（かぶり厚30以上）
屋根	0.5ｈ	鉄筋コンクリート	（かぶり厚30以上）
階段	0.5ｈ	鉄筋コンクリート	（かぶり厚30以上）

外部仕上表

屋　根			
（屋上）	コンクリート金コテ押えアスファルト防水の上、断熱材(t=35+40)＋押えコンクリートt=80（溶接金網6Φ@100）	軒　裏	コンクリート打放し補修の上、ＥＰ塗
	伸縮目地@3000内外　　断熱材：押出法ポリスチレンフォーム保温板3種		
	パラペット天端：コンクリート金コテ押えの上、塗膜防水　防水立上り保護カバー：押出し成型セメント板t=15	樋	ルーフドレン・中間ドレン：ステンレス製　Φ100（タテ型、コーナー型）
			竪樋：カラーＶＰ管Φ100　樋受金物：ステンレス製
（車庫屋上）	コンクリート金コテ押えアスファルト防水の上、断熱材(t=25)＋押えコンクリートt=80（溶接金網6Φ@100）		
	伸縮目地@3000内外	屋外階段	図示
	パラペット天端：コンクリート金コテ押えの上、塗膜防水　防水立上り保護カバー：押出し成型セメント板t=15		
		外構工事	図示
（庇）	Ｍ金コテ 塗膜防水（立上り共）		
バルコニー		ゴミ置き場	外壁：コンクリート打放し補修
外　壁	コンクリート打放し補修　弾性型外装薄塗材E		床：コンクリート金コテ押え
ポーチ	床：モルタル(t30)下地　磁器質150□防滑タイル貼	額縁	外部：木製額縁　35ｘ25
	天井：天井裏現場ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ（t=50）吹付、FK t=6.0 + EP、一部　FKt=12 + EP		内部：木製額縁　120ｘ25
犬走り	コンクリート金コテ押エ		

内部仕上表

＊下地区分　　Ｃ：コンクリート，ＣＢ，ＡＬＣ下地　　Ｓ：鋼製下地　　Ｗ：木製下地

位置	室名	下地	床 基材	床 仕上	巾木	壁 基材	壁 仕上	天井 基材	天井 仕上	天井高	備考	ﾌﾟﾗｲﾏｰﾛｰﾗｰ	ｶｰﾍﾟﾝﾃｯﾄ	ｶｰﾃﾝ
1階	風除室	C	Ｍ金コテ	磁器質150□防滑タイル貼	タイル　H=60								○	
		S			△	ＧＢ-Ｒ t=12.5+9.5	ビニルクロス張り	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	廊　下・ホール	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木　H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5+9.5	ＥＰ塗							
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	車　庫	C	Ｃ金コテ	耐摩耗性塗床(浸透型表面強化材)	塗床仕上げ材立ち上げH=100	Ｃ補修	ＥＰ塗	Ｃ補修	ＥＰ塗	直天				
		S					（一部ケイカル板の上にEP塗装）							
		W												
	電気室	C	Ｃ金コテ	薄膜型ウレタン樹脂系 防塵塗床	塗床仕上げ材立ち上げH=100		コンクリート打放シ　補修		コンクリート打放シ　補修	3,000				
		S								（直天）				
		W												
	倉庫1	C	Ｃ金コテ	薄膜型ウレタン樹脂系 防塵塗床	塗床仕上げ材立ち上げH=100		コンクリート打放シ　補修		コンクリート打放シ　補修	2,630				
		S								（直天）				
		W												
	倉庫上部	C	Ｃ金コテ	—	巾木無し		コンクリート打放シ　補修		コンクリート打放シ　補修	直天				
		S												
		W												
	出勤準備室	C	Ｃ金コテ	薄膜型ウレタン樹脂系 防塵塗床	ビニル巾木　H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5+9.5	ビニルクロス張り				防火衣ロッカー（８台）			
		S			△	△		ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	消毒室兼救急資器材室	C	Ｃ金コテ	薄膜型ウレタン樹脂系 防塵塗床	ビニル巾木　H=60	ＧＢ-Ｓ t=12.5+9.5	ＦＫ t=6.0 + EP							
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｓ t=9.5	化粧ＦＫ t=6.0	2,500				
		W												
	消毒専用室（シャワー室）	C	Ｃ金コテ	薄膜型ウレタン樹脂系 防塵塗床	ビニル巾木　H=60	ＧＢ-Ｓ t=12.5+9.5	ＦＫ t=6.0 + EP				シャワーユニット			
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｓ t=9.5	化粧ＦＫ t=6.0	2,500	防炎シャワーカーテン(FL+2,300)			
		W									アルミ製Ｈ型リブレール(ストレート吊)			
	食堂兼待機室	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木　H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5	ビニルクロス張り							
		S			△	△	ビニルクロス張り(キッチン廻り:化粧ＦＫ t=6.0)	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500	キッチンL=1,800			
		W												
	小上がり	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	巾木無し	△	△	△		2,200	置畳小上り収納ユニット（既製品）			
		S									天板収納ﾕﾆｯﾄ(置き畳 t=18)			
		W									800×800×300(6個)　300×800×300(2個)			
	防火衣乾燥室	C	Ｃ金コテ	薄膜型ウレタン樹脂系 防塵塗床	ビニル巾木　H=60	ＧＢ-Ｓ t=12.5+9.5	化粧ＦＫ t=6.0							
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	事務室	C	乾式2重床システム	ビニル床タイル(置敷) t=5.0	ビニル巾木　H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5	ビニルクロス張り				受付窓カウンター			
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｒ t=9.5	ＲＢ t=12	2,500				
		W												
	階段下倉庫	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木　H=60	Ｃ打放シ 補修	ＥＰ塗							
		S			△	ＧＢ-Ｒ t=12.5	△	—	コンクリート打放シ 補修	直天				
		W												

凡　例

ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗り	Ｍ	モルタル塗り	ＧＢ-Ｄ(W)	化粧石膏ボード（木目模様）　t=9.5：準不燃 ＱＭ-9824	内装材種別使用材料（法第28条の２　関連）			
Ｃ　Ｌ	クリヤラッカー塗り	ＳＬＭ	セルフレベリング材塗り	ＧＢ-Ｆ	強化石こうボード t=15：不燃ＮＭ8615	床：接着剤	Ｆ☆☆☆☆	各部ボード類	Ｆ☆☆☆☆
Ｅ　Ｐ	合成樹脂エマルションペイント塗り	ＧＢ-Ｒ	石こうボード t=12.5：不燃ＮＭ-8619 t=9.5：準不燃ＱＭ-9828	Ｒ　Ｂ	ロックウール吸音板　不燃ＮＭ-8599	床：長尺シート	Ｆ☆☆☆☆		
ＥＰ-Ｇ	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	ＧＢ-Ｓ	シージング石こうボード　t=12.5、9.5：準不燃 ＱＭ-9826	Ｆ　Ｋ	繊維混入けい酸カルシウム板　不燃ＮＭ-8578	壁：ビニルクロス	Ｆ☆☆☆☆		
Ｄ　Ｐ	耐候性塗料塗り		t=12.5　：不燃 ＮＭ-9346	ＰＦ板	ポリスチレンフォーム保温板	壁：EP	Ｆ☆☆☆☆		
Ｗ　Ｐ	木材保護塗料塗り	ＧＢ-Ｄ	化粧石こうボード　t=9.5：準不燃 ＱＭ-9824　不燃 ＮＭ-8613			天井：EP	Ｆ☆☆☆☆		

特記事項

工事名称	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称	仕上表１
設計者	日本工営都市空間株式会社　日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	三重県志摩市	
縮尺	Ｎ．Ｓ	令和5年 3月	図面番号 A-15

内部仕上表

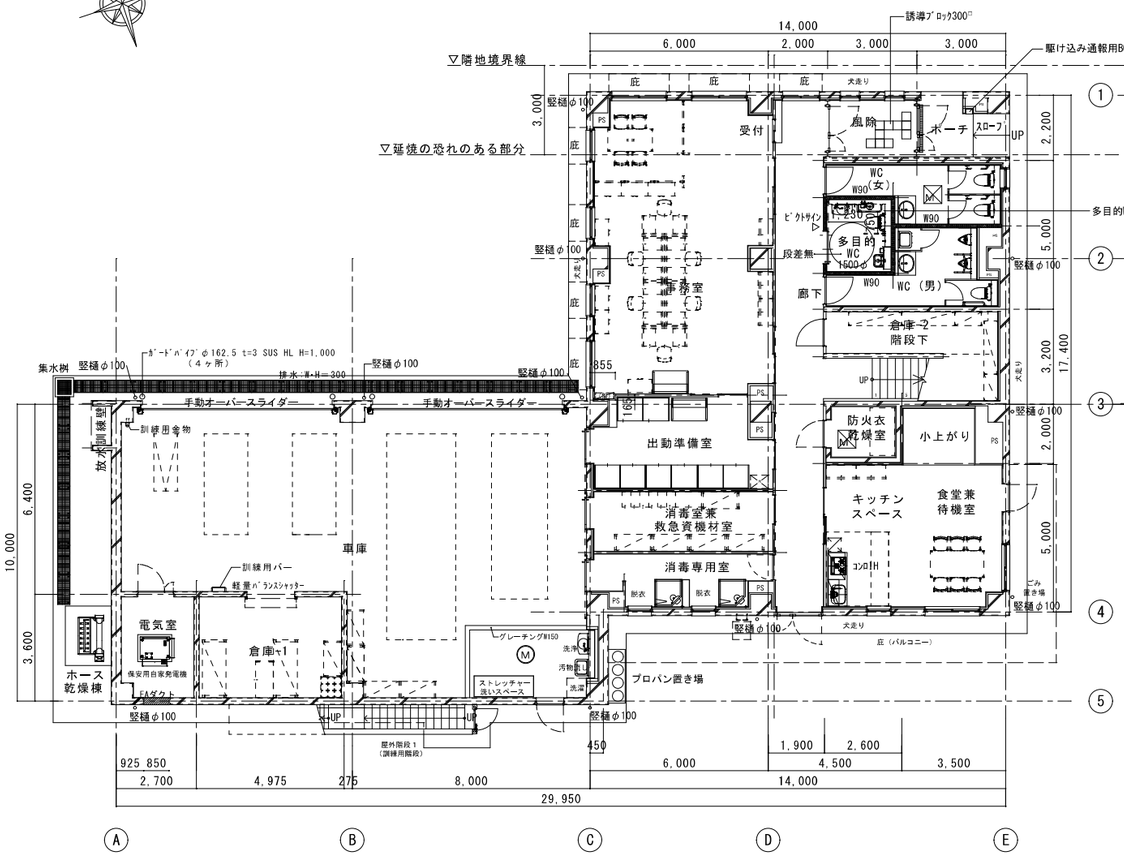
＊下地区分　　Ｃ：コンクリート，ＣＢ，ＡＬＣ下地　　Ｓ：鋼製下地　　Ｗ：木製下地

位置	室名	下地	床 基材	床	巾木	壁 基材	壁 仕上	天井 基材	天井 仕上	天井高	備考	ターナプロック	カーテンレール	ブラインド
1階	WC（男）1F	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0　抗菌仕様	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｓ t=12.5+9.5	化粧ＦＫ t=6.0				トイレブース、鏡、面台			
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	WC（女）1F	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0　抗菌仕様	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｓ t=12.5+9.5	化粧ＦＫ t=6.0				トイレブース、鏡、面台			
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	多目的WC	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0　抗菌仕様	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｓ t=12.5+9.5	化粧ＦＫ t=6.0				面台			
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
2階	浴室・洗面室（男性用）	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｓ t=12.5	化粧ＦＫ t=6.0				洗面バスケットロッカー			
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500	ユニットバス（1618）			
		W												
	分署長室	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5	ビニルクロス張り							
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	WC（男）2F	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0　抗菌仕様	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｓ t=12.5	化粧ＦＫ t=6.0				トイレブース、鏡、面台			
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	トレーニングルーム	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5+9.5	ビニルクロス張り							
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	書庫・倉庫	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5	ＥＰ塗							
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	会議室	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5	ビニルクロス張り							
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｒ t=9.5	ＲＢ t=12	2,500				
		W												
	仮眠室（男性用）	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5	ビニルクロス張り				ベッド			
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	仮眠室（女性用）	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5+9.5	ビニルクロス張り				ベッド			
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	洗濯室・WC	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0　抗菌仕様	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｓ t=12.5+9.5	化粧ＦＫ t=6.0				ユニットバス（1416）			
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	収　納	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5	ＥＰ塗							
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
	廊　下	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ビニル巾木 H=60	ＧＢ-Ｒ t=12.5+9.5	ＥＰ塗							
		S			△	△	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5	—	2,500				
		W												
		C												
		S												
		W												
共通	階　段	C	Ｃ金コテ	ビニル床シート貼り t=2.0	ＥＰ塗	Ｃ打放シ 補修	ＥＰ塗							
		S				ＧＢ-Ｒ t=12.5	△	ＧＢ-Ｄ t=9.5(2F)	—	2,500(2F)				
		W												
		C												
		S												
		W												
		C												
		S												
		W												
		C												
		S												
		W												
		C												
		S												
		W												

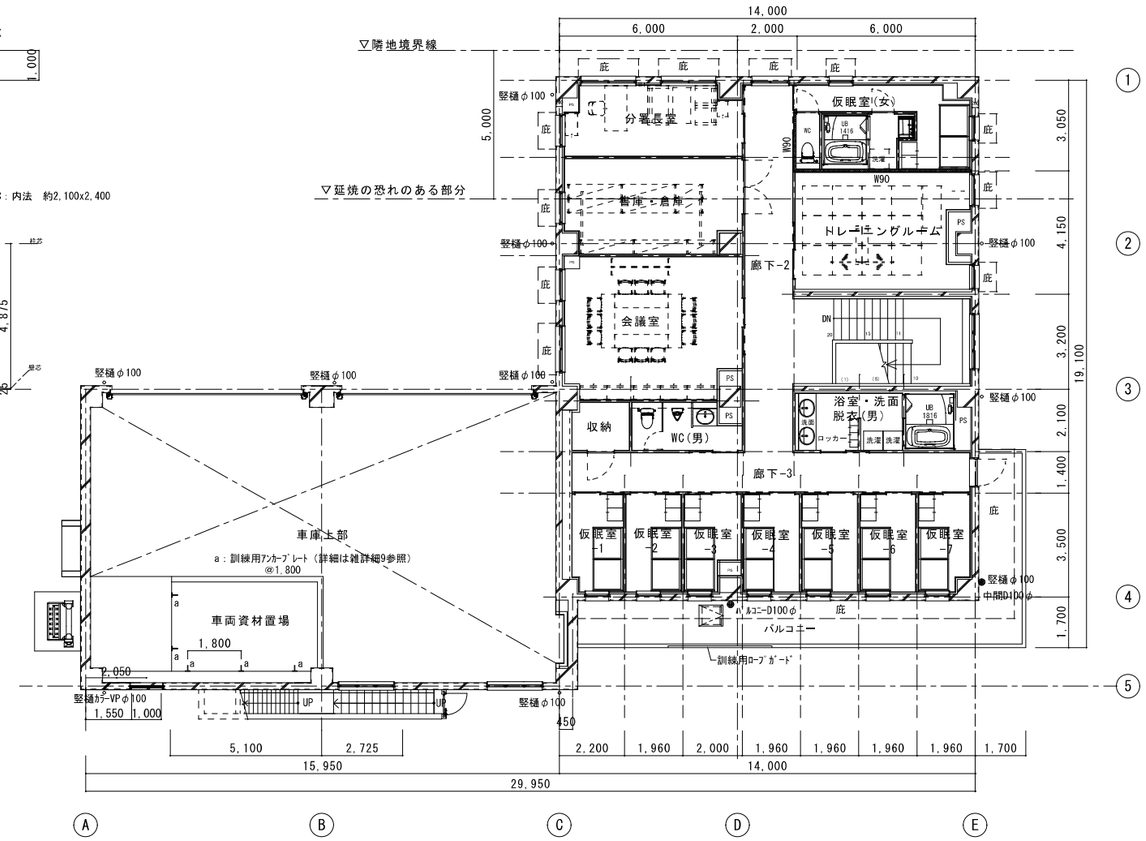
凡　例

ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗り	Ｍ	モルタル塗り	ＧＢ-Ｄ(W)	化粧石膏ボード（木目模様）　t=9.5：準不燃 ＱＭ-9824		
Ｃ　Ｌ	クリヤラッカー塗り	ＳＬＭ	セルフレベリング材塗り	ＧＢ-Ｆ	強化石こうボード t=15：不燃ＮＭ8615		
Ｅ　Ｐ	合成樹脂エマルションペイント塗り	ＧＢ-Ｒ	石こうボード t=12.5：不燃ＮＭ-8619 t=9.5：準不燃ＱＭ-9828	Ｒ　Ｂ	ロックウール吸音板　不燃ＮＭ-8599		
ＥＰ-Ｇ	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	ＧＢ-Ｓ	シージング石こうボード　t=12.5、9.5：準不燃 ＱＭ-9826	Ｆ　Ｋ	繊維混入けい酸カルシウム板　　不燃ＮＭ-8578		
Ｄ　Ｐ	耐候性塗料塗り		t=12.5　　：不燃 ＮＭ-9346	ＰＦ板	ポリスチレンフォーム保温板		
Ｗ　Ｐ	木材保護塗料塗り	ＧＢ-Ｄ	化粧石こうボード　　t=9.5：準不燃 ＱＭ-9824　不燃 ＮＭ-8613				

特記事項	工事名称　令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称　仕上表２	三重県志摩市	
	設計者　日本工営都市空間株式会社　日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号　管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号　設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺　Ｎ．Ｓ	令和5年 3月	図面番号　A-16

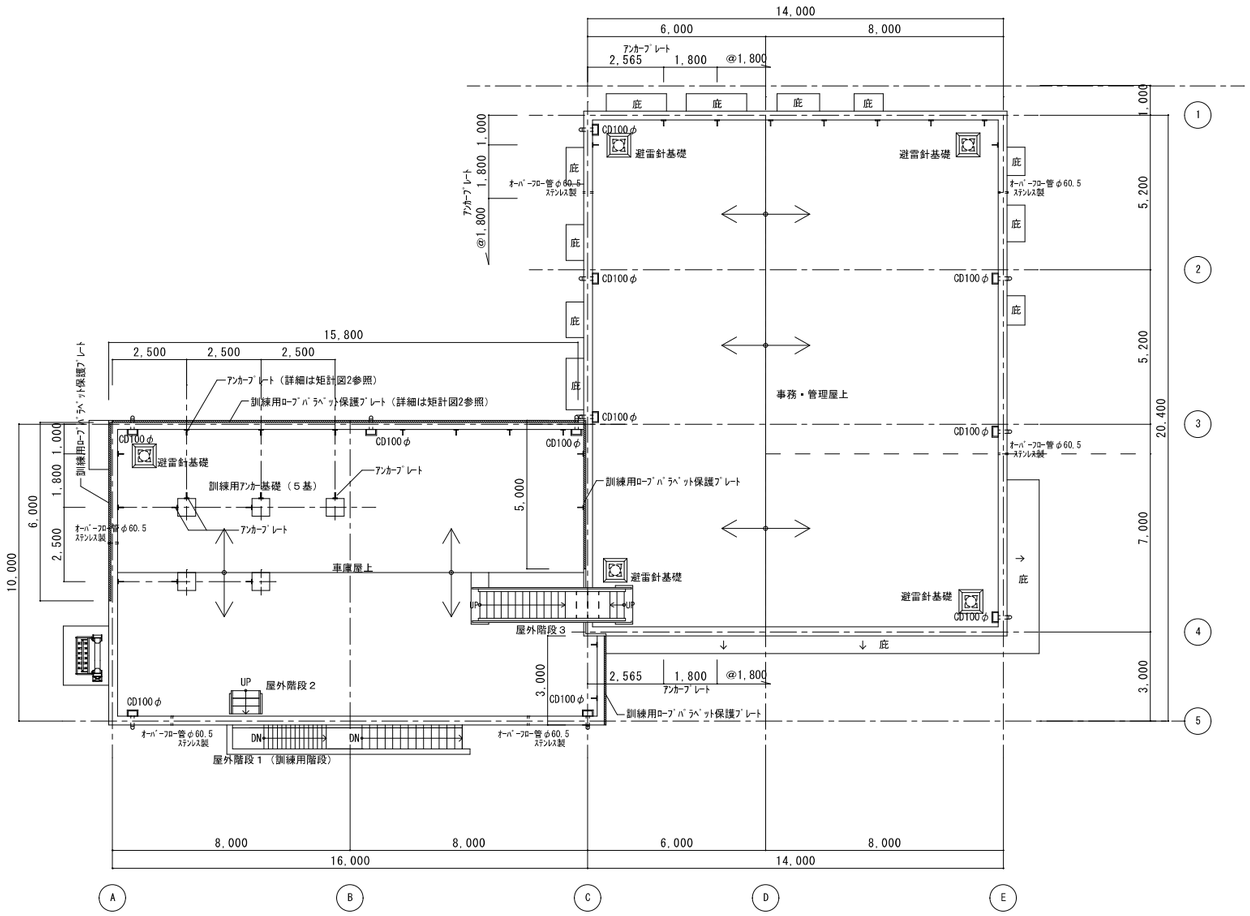


1階平面図　S=1/100（A3:1/200）



2階平面図　S=1/100（A3:1/200）

特記事項 23.01.10　竪樋追記	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 1階・2階　平面図	三重県志摩市	
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-17

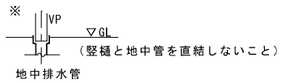


屋根伏図　S=1/100（A3:S=1/200）

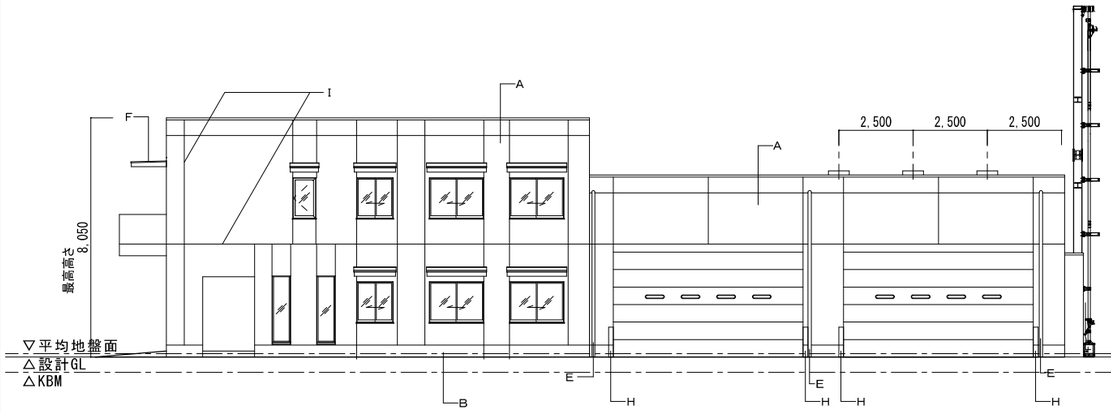
訓練施設部材　一覧表

項目	数量（概ね）	備考
単管４ｍ	30本	
単管２ｍ	30本	
直交クランプ	50個	
自在クランプ	30個	
ベース	12台	内4は勾配と相性が良いものがあれば
クランプカバー	100個	
ジョイント	30個	
キャップ	50個	

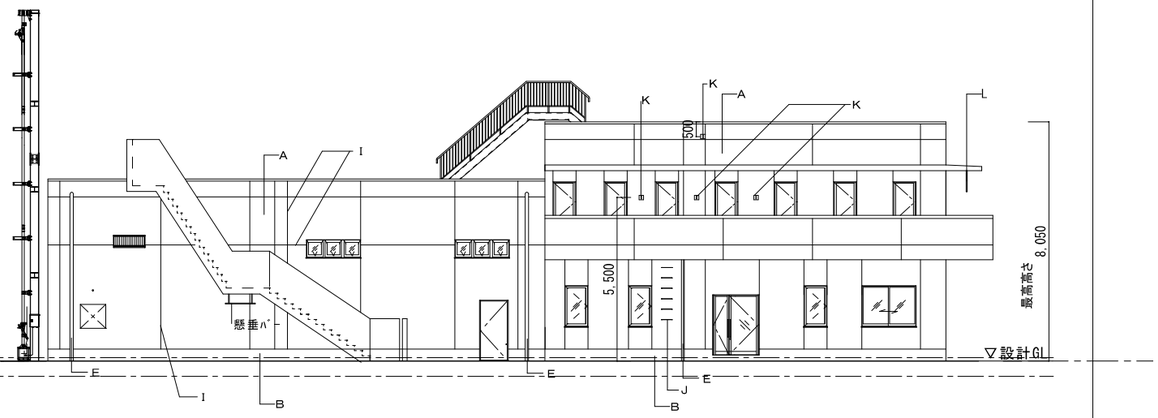
特記事項	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 屋根伏図	三重県志摩市	
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-18



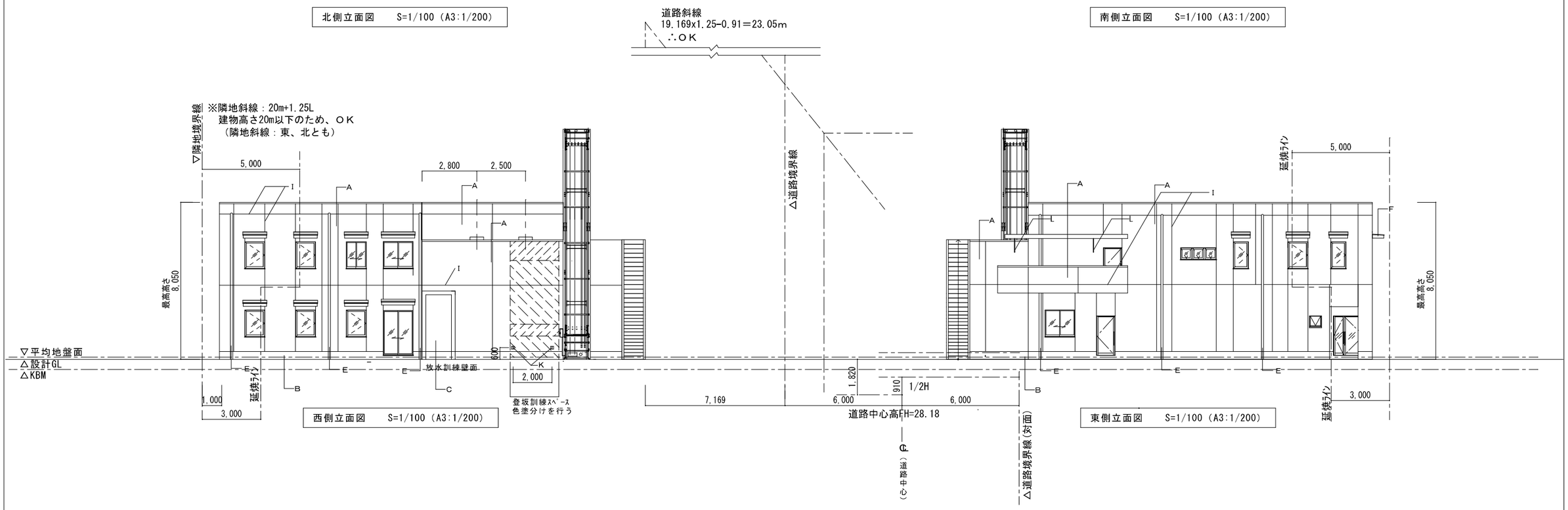
立面仕上げ凡例			
A	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ補修 弾性型外装薄塗材E	H	ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟφ162.5 t=3 SUS HL H=1,000
B	巾木：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修　弾性型外装薄塗材E	I	クラック誘発目地20x20,ｼｰﾘﾝｸﾞ
C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放ｼ補修 浸透性撥水型ｺﾝｸﾘｰﾄ保護塗料		（構造スリット優先とし、他@3m内外とする。）
D	鉄部：亜鉛ﾒｯｷ処理	J	訓練用ﾀﾗｯﾌﾟ（SUS製,打込み）
E	縦樋：ｶﾗｰVPφ100：下端は間接排水とする。※	K	訓練用ｱﾝｶｰﾌﾟﾚｰﾄ（SUS製）
F	庇：M金ｺﾃ 塗膜防水	L	物干し金物
G	手摺		



北側立面図　S=1/100（A3:1/200）



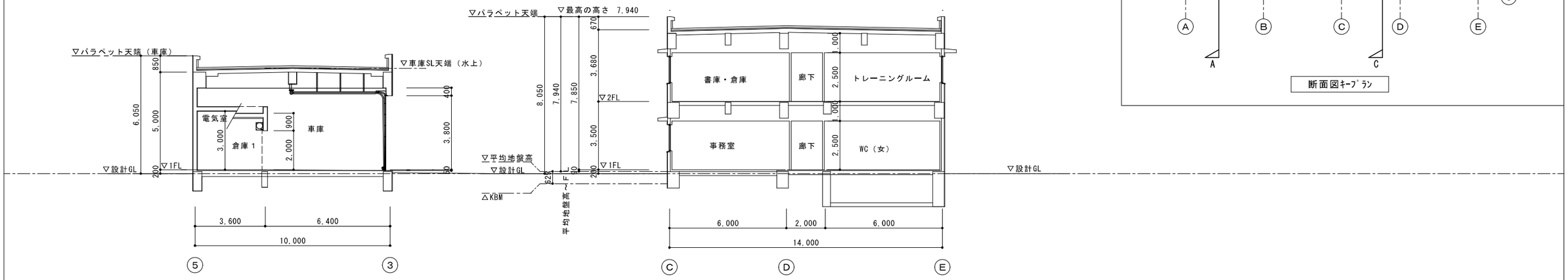
南側立面図　S=1/100（A3:1/200）



西側立面図　S=1/100（A3:1/200）

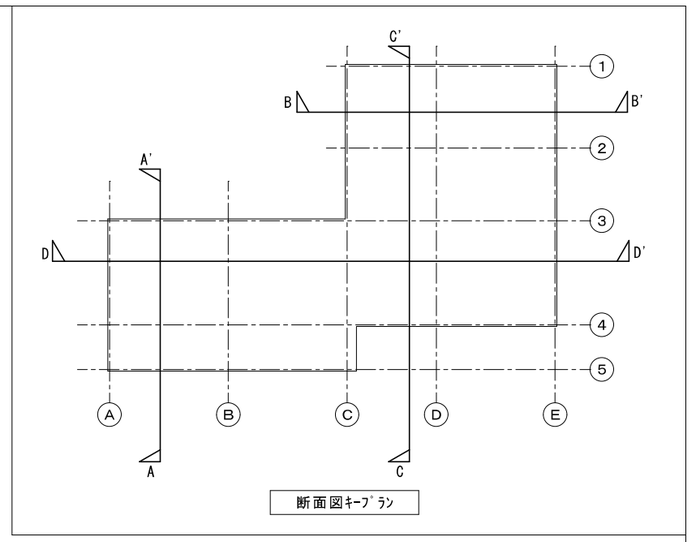
東側立面図　S=1/100（A3:1/200）

特記事項	工事名称	図面名称			
22.01.10　竪樋追記	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	立面図	三重県志摩市		
	設計者　日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺　1:100(A1) 1:200(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-19

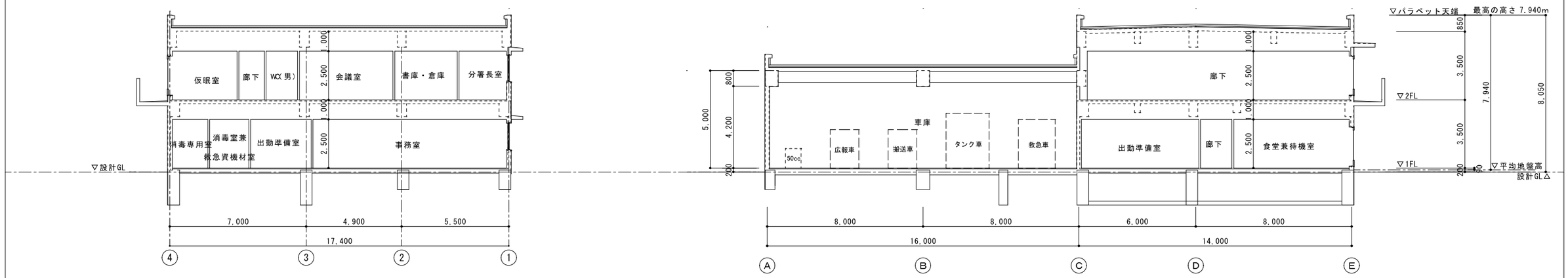


A-A' 断面図　S=1/100（A3:1/200）

B-B' 断面図　S=1/100（A3:1/200）



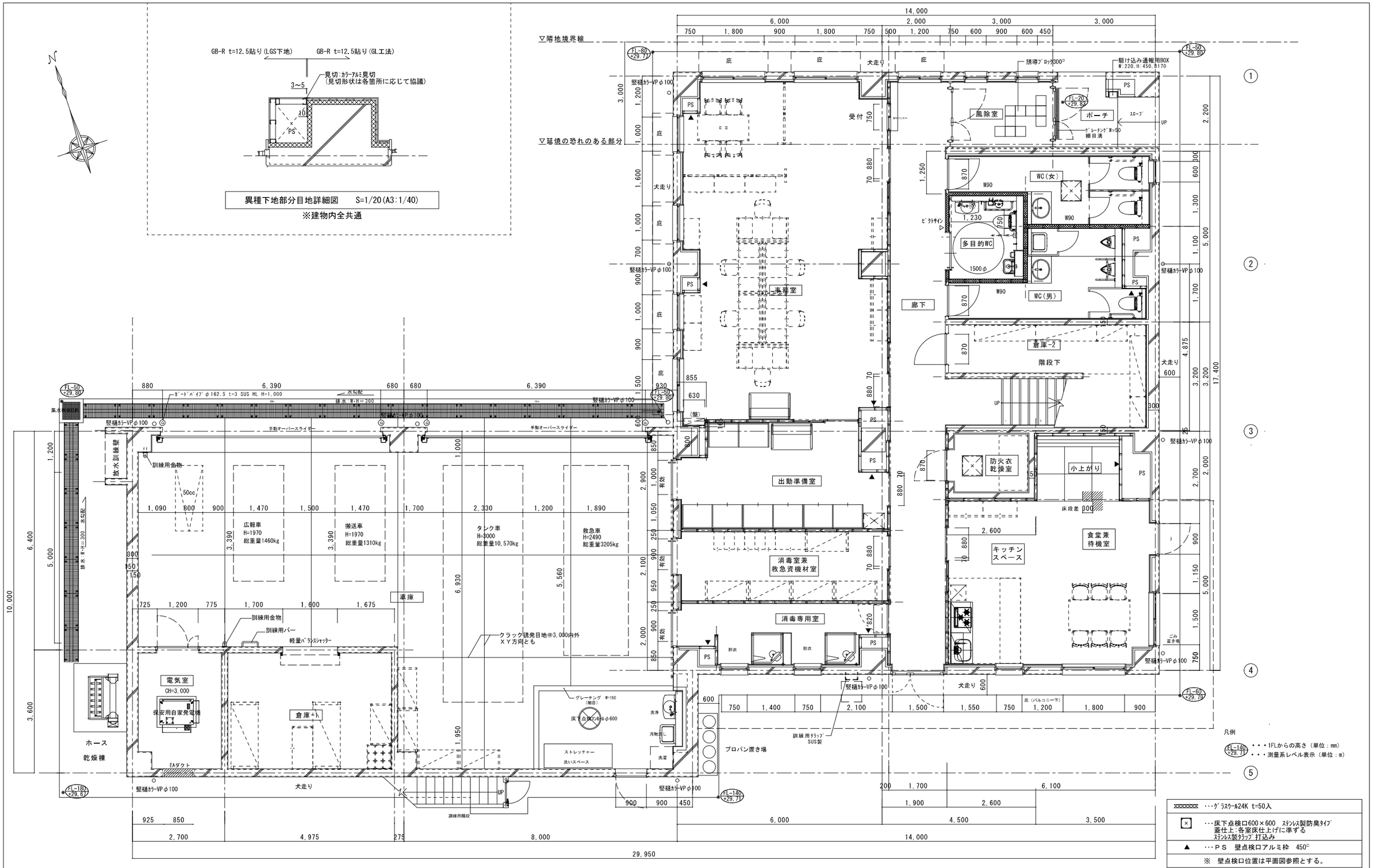
断面図ｷｰﾌﾟﾗﾝ



C-C' 断面図　S=1/100（A3:1/200）

D-D' 断面図　S=1/100（A3:1/200）

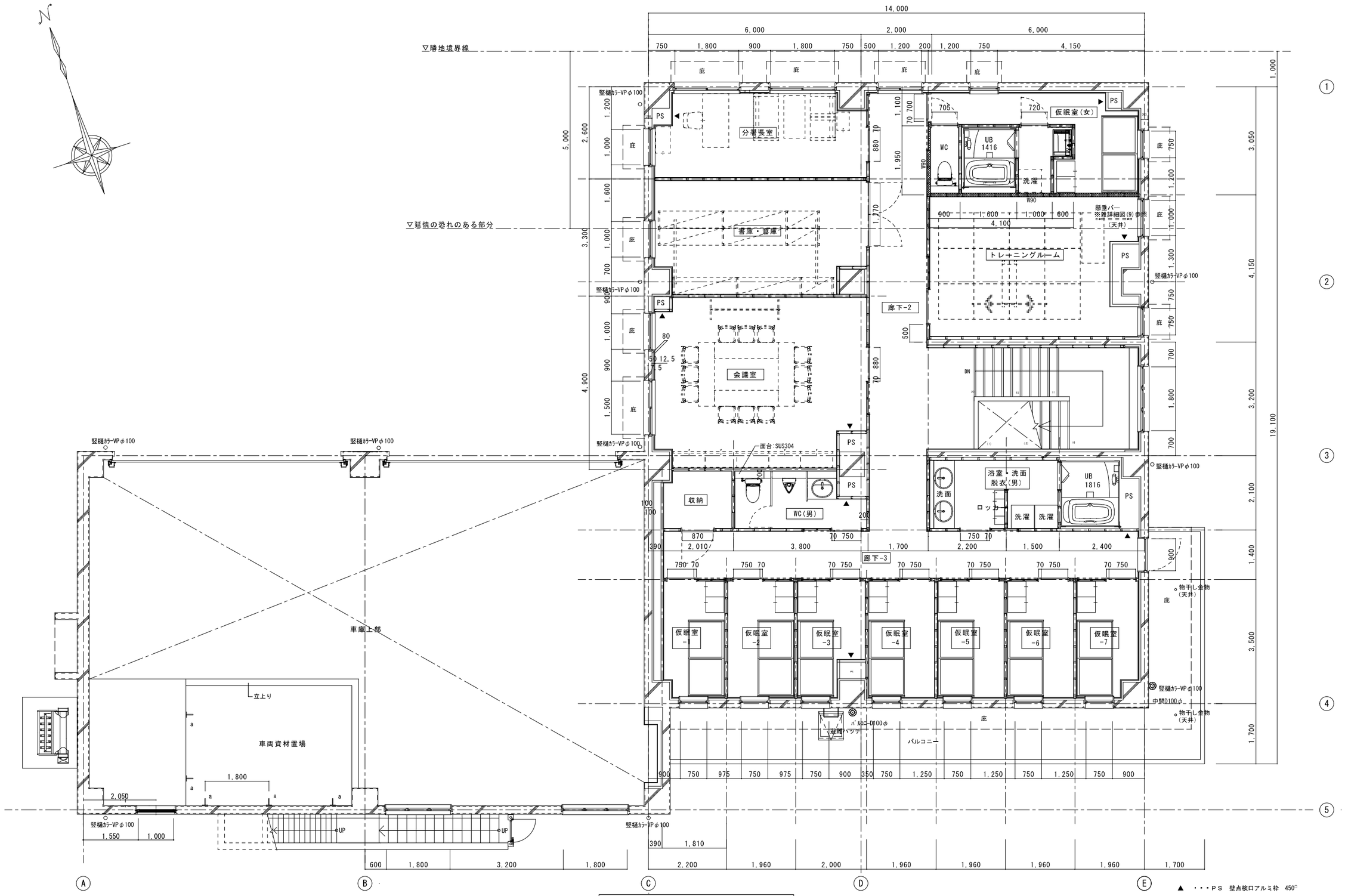
特記事項	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 断面図	三重県志摩市		
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-20



特記事項
23.01.10 竪樋追記

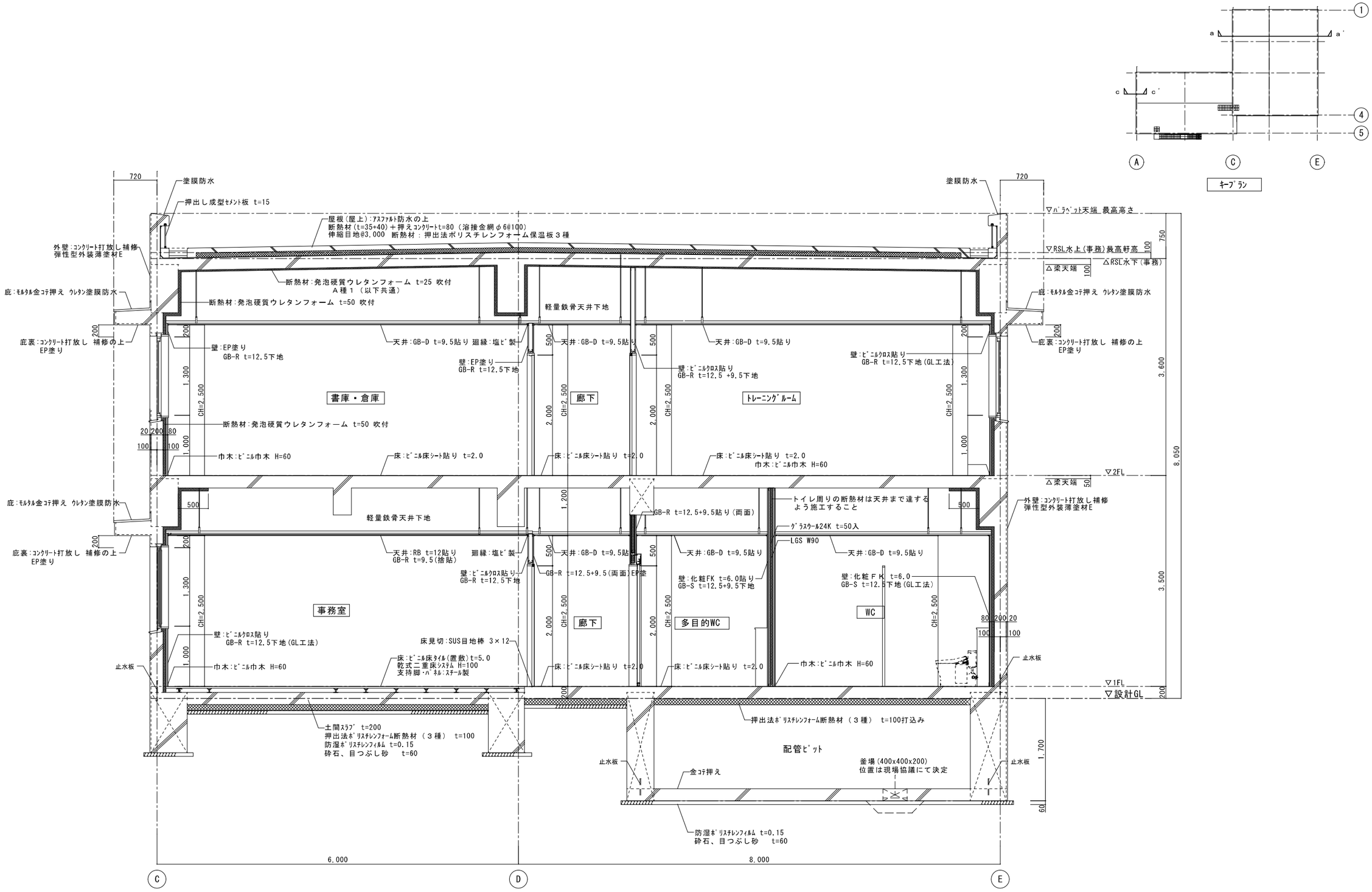
工事名称	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称	1階 平面詳細図
設計者	日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録(い一4)第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	

三重県志摩市			
縮尺	1: 50(A1) 1:100(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-21



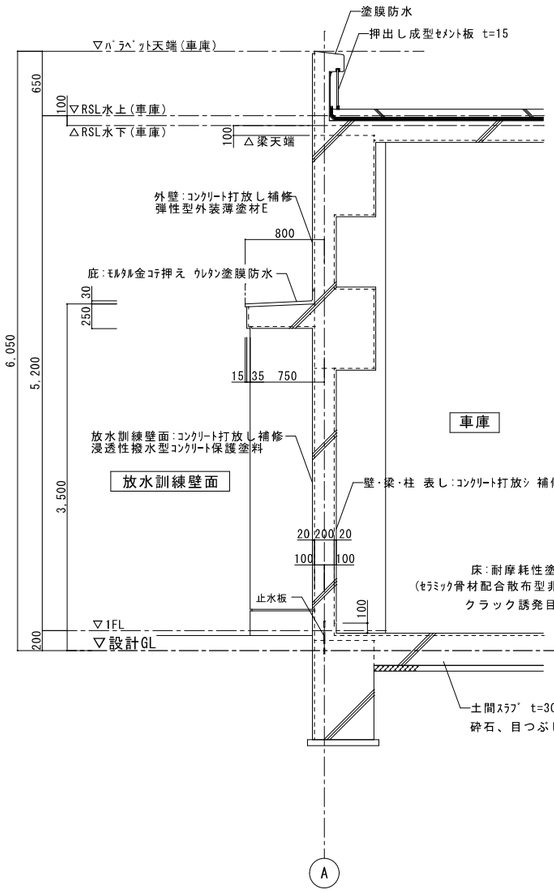
2階平面詳細図　S=1/50 (A3:1/100)

特記事項 23.01.10 竪樋追記	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 2階　平面詳細図	三重県志摩市	
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－4）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-22

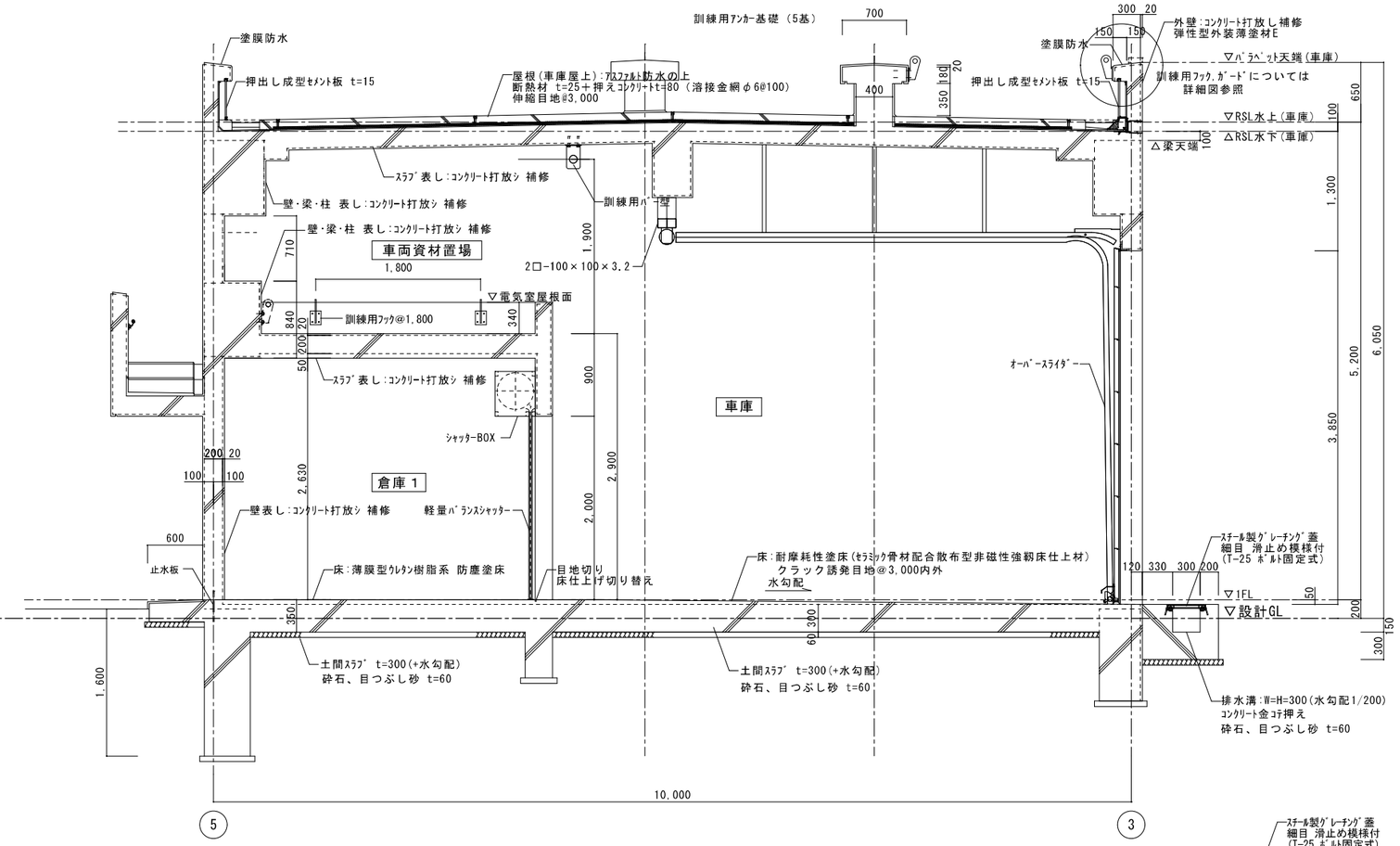


a－a'矩計図　S=1/30（A3:1/60）

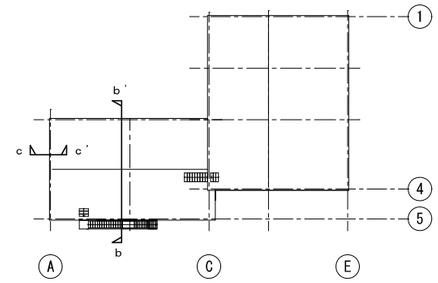
特記事項	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 矩計図１	三重県志摩市		
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 智人 一級建築士番号 第381431号	縮尺 1: 30(A1) 1: 60(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-23



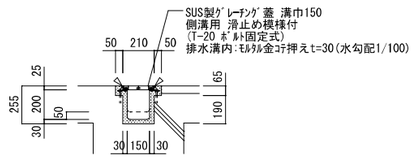
c－c'矩計図　S=1/30 (A3:1/60)



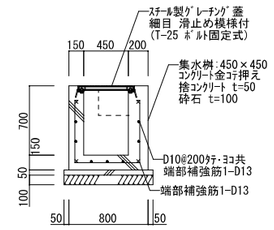
b－b'矩計図　S=1/30 (A3:1/60)



ｷｰﾌﾟﾗﾝ



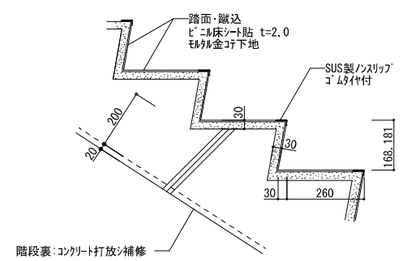
ｽﾄﾚｯﾁｬｰ洗い場排水溝詳細図　S=1/20



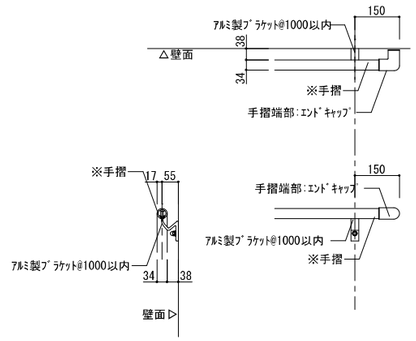
消防車庫前集水桝詳細図　S=1/30

特記事項	工事名称　令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称　矩計図２	三重県志摩市	
	設計者　日本工営都市空間株式会社　日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号		縮尺 1: 30(A1) 1: 60(A3)	令和5年 3月　図面番号 A-24

階段部分詳細図　S=1/10(A3:1/20)

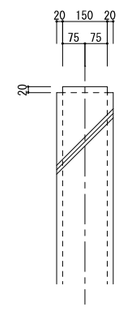


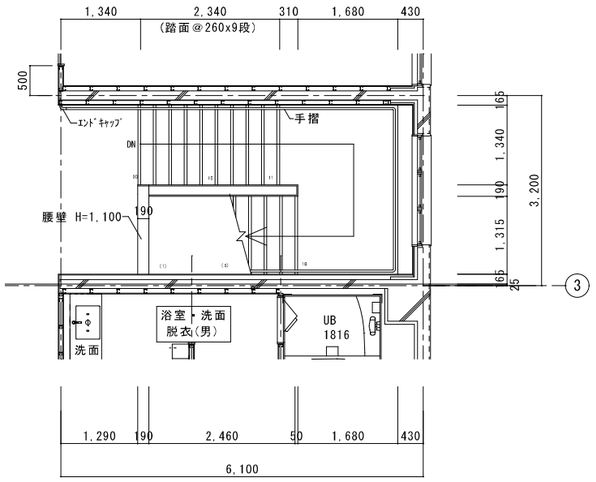
手摺部分詳細図



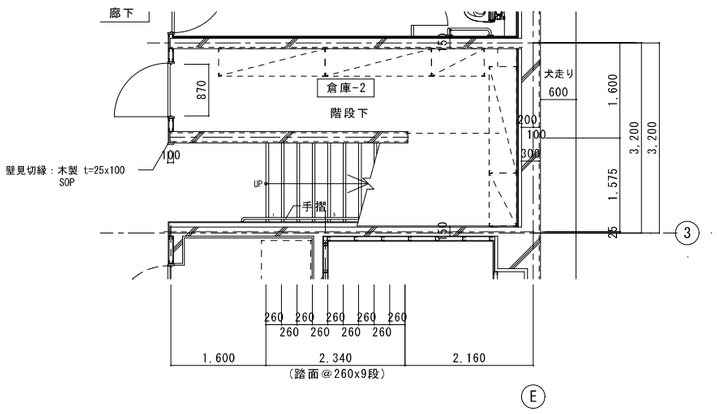
※手摺:抗菌樹脂被覆製(ｱﾙﾐ芯) φ34

腰壁部分詳細図

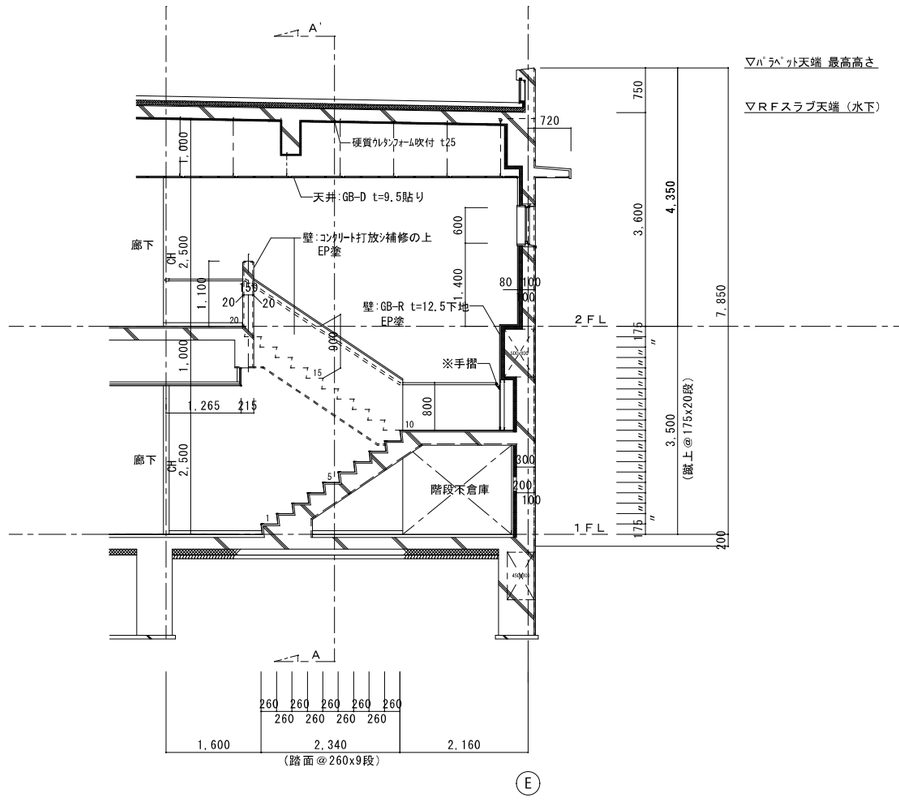




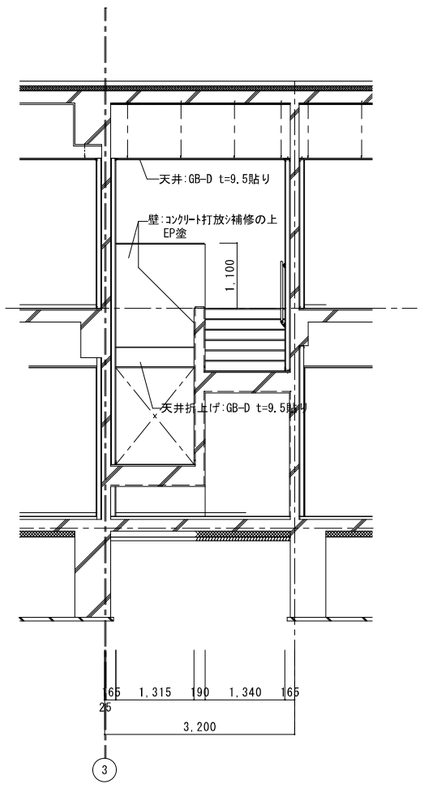
屋内階段平面詳細図（２階）　S=1/50（A3:1/100）



屋内階段平面詳細図（１階）　S=1/50（A3:1/100）



屋内階段断面詳細図　S=1/50（A3:1/100）

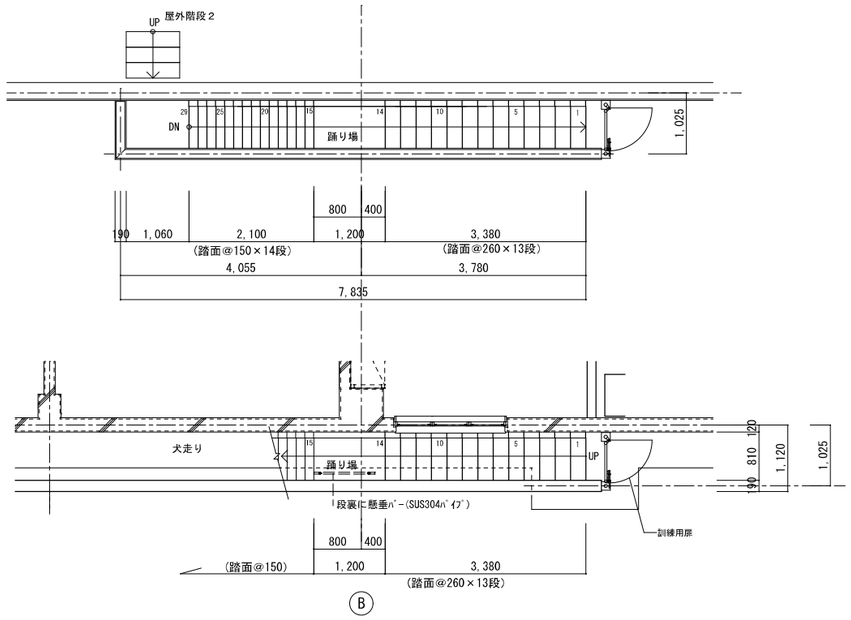


Ａ～Ａ'　断面詳細図　S=1/50（A3:1/100）

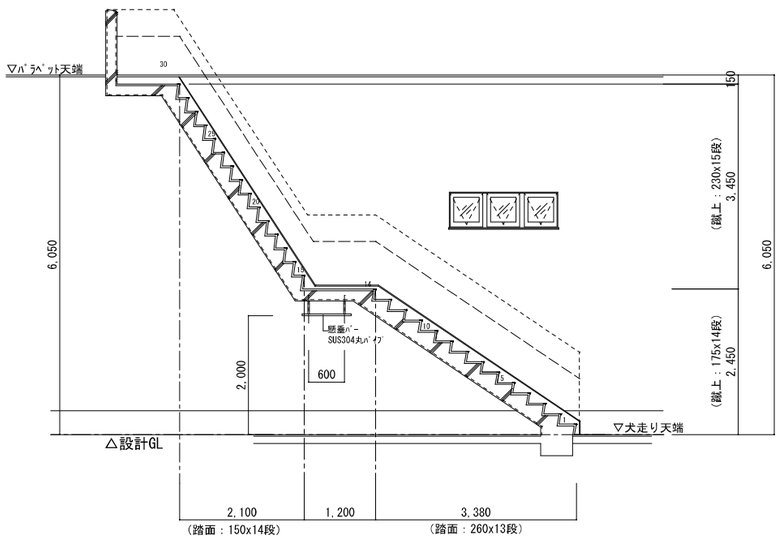
特記事項

※　特記なき限り LGS W65型とする。
※　手摺:抗菌樹脂被覆製(ｱﾙﾐ芯) φ34
ｱﾙﾐ製ﾌﾞﾗｹｯﾄ@1000以内

特記事項	工事名称　令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称　屋内階段詳細図	三重県志摩市	
	設計者　日本工営都市空間株式会社　日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号　管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号　設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号		縮尺　1:50 ,1:10(A1)　1:100,1:20(A3)	令和5年 3月　図面番号　A-25

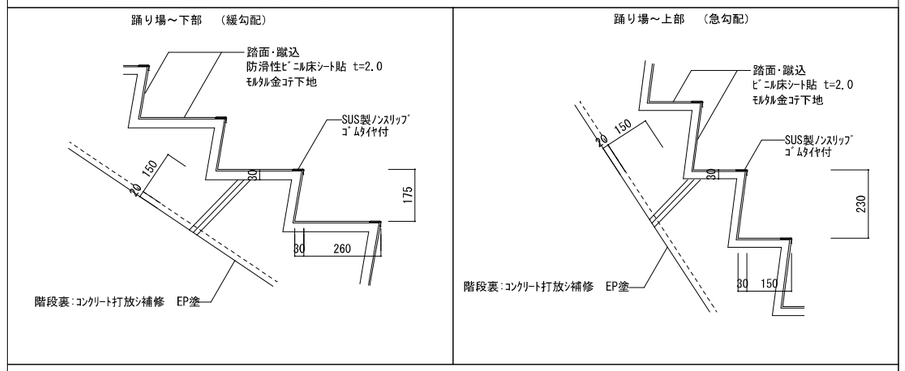


屋外階段１(RC)平面詳細図　S=1/50 (A3:1/100)

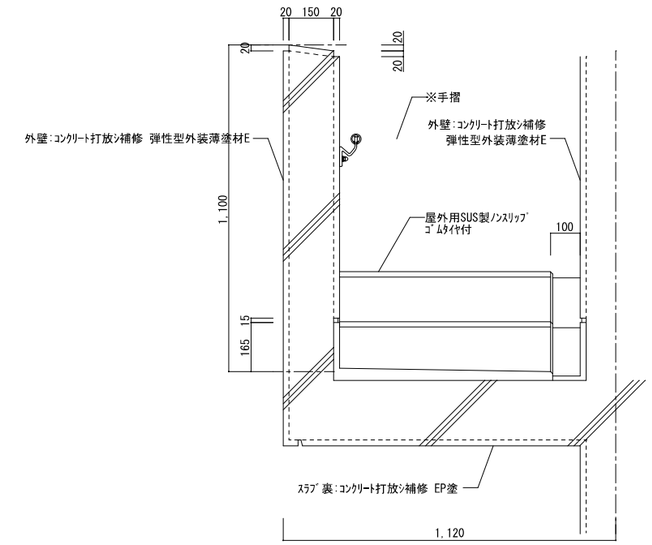


屋外階段１(RC)断面詳細図　S=1/50 (A3:1/100)

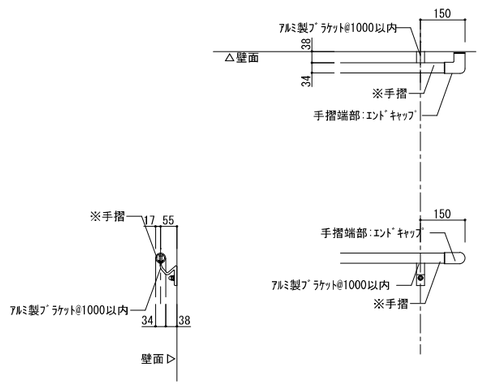
階段部分詳細図　S=1/10(A3:1/20)



階段腰壁部分詳細図　S=1/10(A3:1/20)



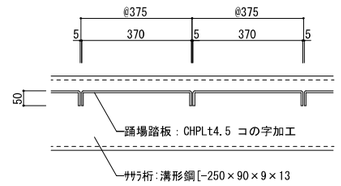
手摺部分詳細図　S=1/10(A3:1/20)



※手摺:屋外用 抗菌樹脂被覆製(ｱﾙﾐ芯) φ34

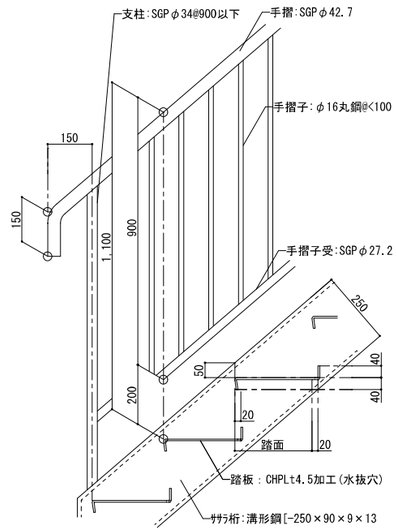
特記事項	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 屋外階段１(RC)詳細図	三重県志摩市		
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	縮尺 1: 50,1:10(A1) 1:100,1:20(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-26

踊場床板部分詳細図　S=1/10(A3:1/20)



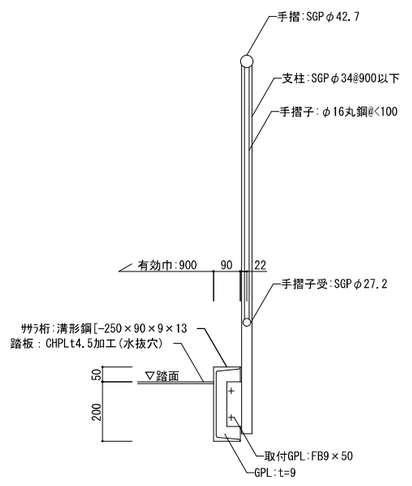
階段部分詳細図　S=1/10(A3:1/20)

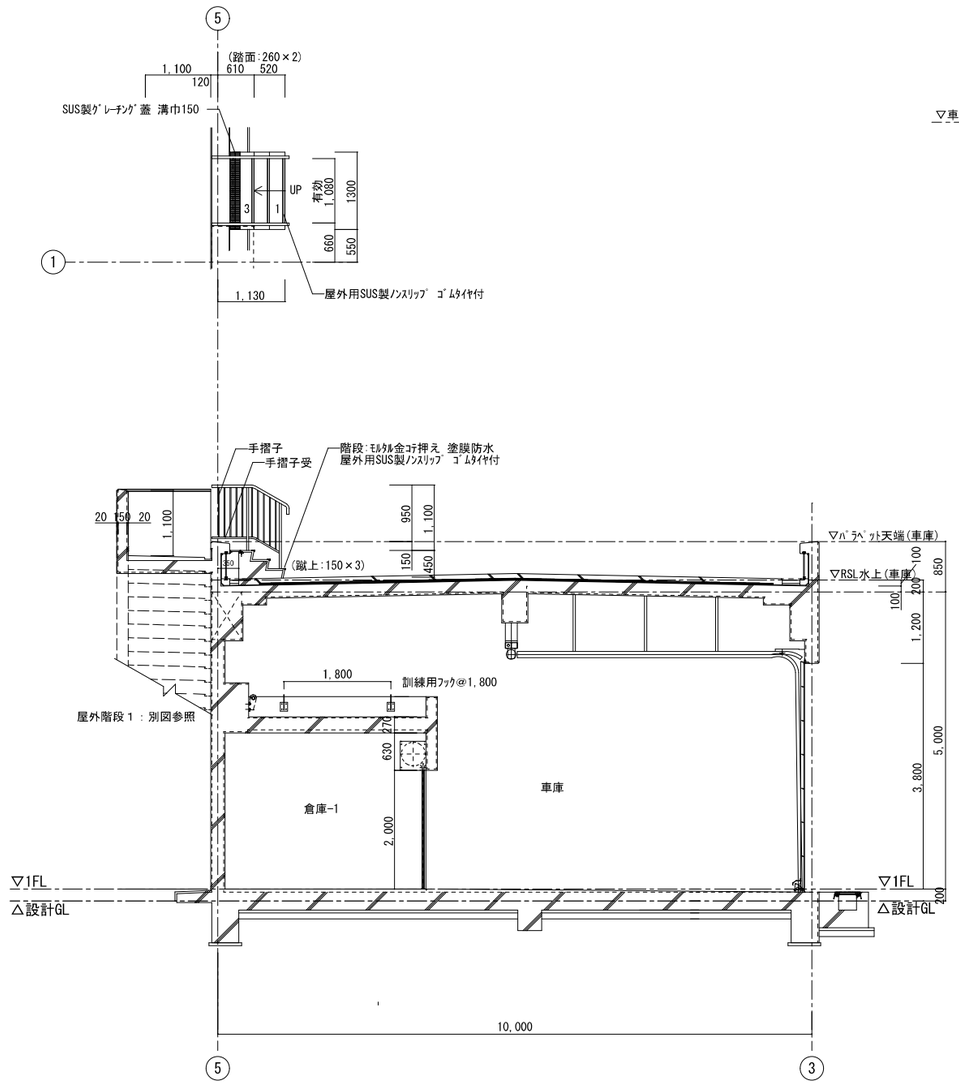
＊屋外階段鉄部：溶融亜鉛メッキ　DP

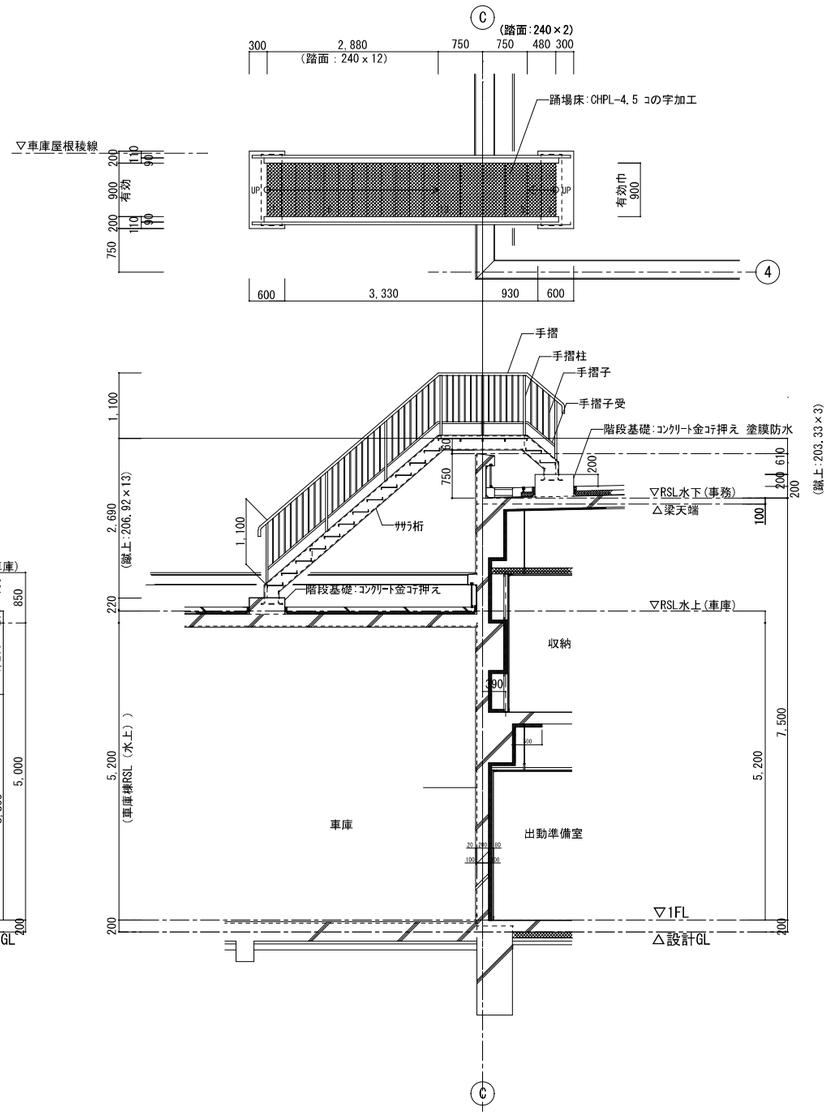


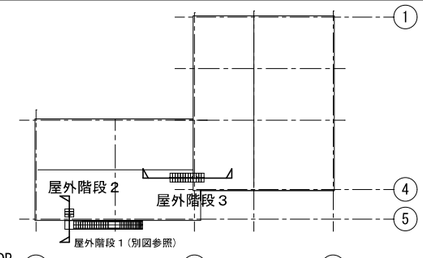
手摺部分詳細図

＊屋外階段鉄部：溶融亜鉛メッキ　DP







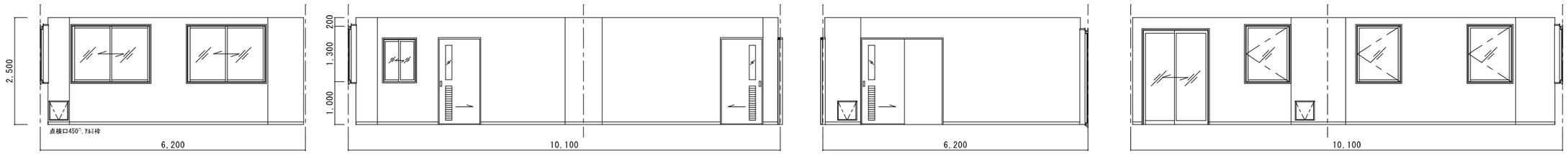


キープラン

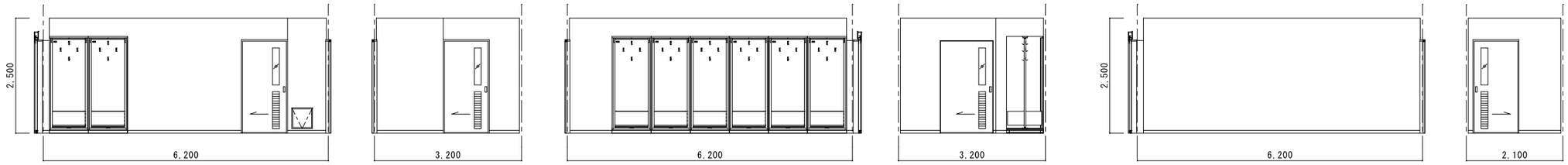
屋外階段２詳細図　S=1/50 (A3:1/100)	
＊屋外階段鉄部：溶融亜鉛メッキ　DP	

屋外階段３・４詳細図　S=1/50 (A3:1/100)	＊屋外階段鉄部：溶融亜鉛メッキ　DP
屋外階段３詳細図　S=1/50 (A3:1/100)	＊屋外階段鉄部：溶融亜鉛メッキ　DP

特記事項	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 屋外階段２・３・４(S)詳細図	三重県志摩市	
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	縮尺 1:50 ,1:10(A1) 1:100,1:20(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-27

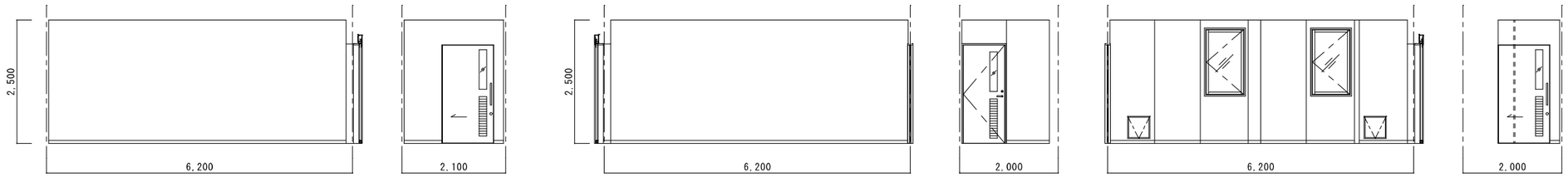


1階　事務室　北面　東面　南面　西面



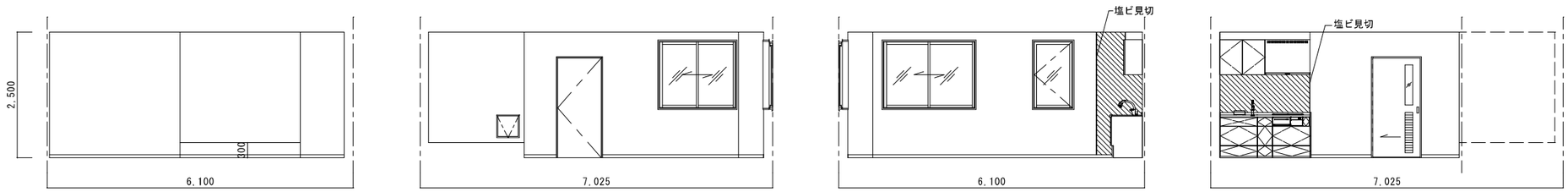
1階　出動準備室　北面　東面　南面　西面

1階　消毒室兼救急資機材室　北面　東面



南面　西面

1階　消毒専用室　北面　東面　南面　西面



1階　食堂兼待機室　北面　東面　南面　西面

内装仕上げ【１階　事務室】	
天井	GB-R t=9.5捨貼 RB t=12.0
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=5.0(置敷)
	乾式二重床ｼｽﾃﾑ

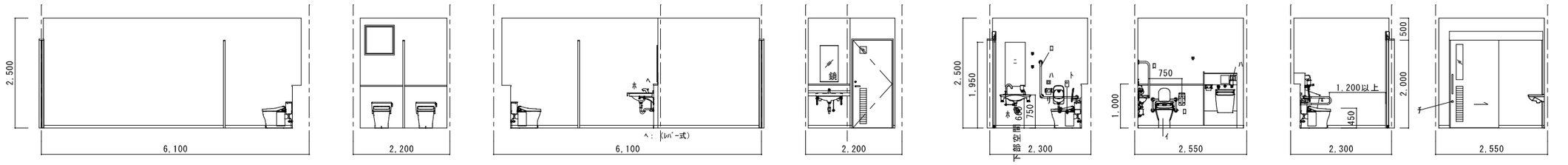
内装仕上げ【１階　出動準備室】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5+9.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼り t=2.0
	薄膜型ｳﾚﾀﾝ樹脂系 防塵塗床

内装仕上げ【１階　消毒室兼救急資機材室】	
天井	GB-S t=9.5下地 化粧FK t=6.0
壁	LGS下地面:GB-S t=12.5+9.5下地 化粧FK t=6.0
	躯体面:GB-S t=12.5下地 化粧FK t=6.0
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	薄膜型ｳﾚﾀﾝ樹脂系 防塵塗床

内装仕上げ【１階　消毒専用室】	
天井	GB-S t=9.5下地 化粧FK t=6.0
壁	LGS下地面:GB-S t=12.5+9.5下地 化粧FK t=6.0
	躯体面:GB-S t=12.5下地 化粧FK t=6.0
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	薄膜型ｳﾚﾀﾝ樹脂系 防塵塗床

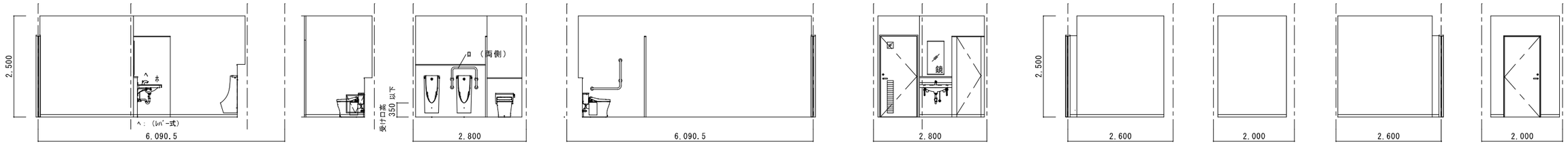
内装仕上げ【１階　食堂兼待機室】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	ｷｯﾁﾝ前:GB-S t=12.5下地 ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ貼
	(ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙ:ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 t=3.0)
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0

特記事項	工事名称 令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称 展開図（１）	三重県志摩市	
	設計者 日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 1：50(A1) 1:100(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-28

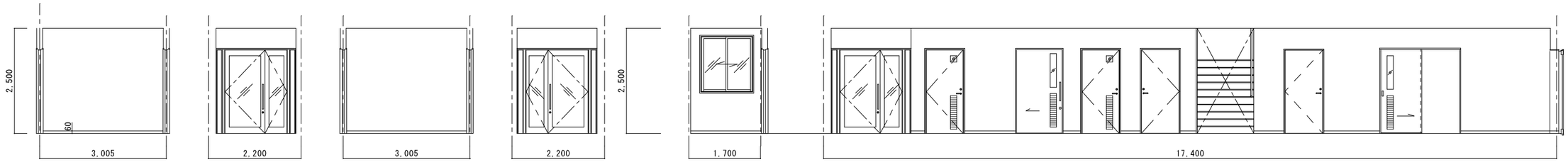


イ：腰掛け便器
ロ：手すり
ハ：洗浄装置
ニ：鏡
ホ：洗面器
ヘ：水栓器具（ﾚﾊﾞｰ式）
ト：非常通報装置
チ：施錠装置
リ：ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾙﾀﾞｰ

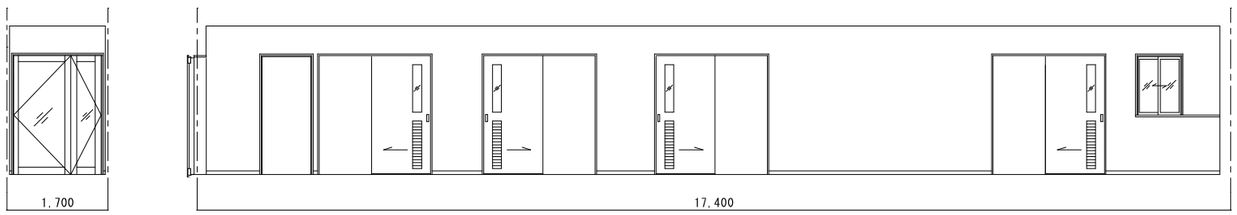
1階　WC(女)　北面　東面　南面　西面　多目的WC　北面　東面　南面　西面



WC(男)　北面　東面　南面　西面　防火衣乾燥室　北面　東面　南面　西面



風除室　北面　東面　南面　西面　廊下　北面　東面



南面　西面

内装仕上げ【１階　WC(男)(女)】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-S t=12.5+9.5下地 化粧FK t=6.0
	躯体面(GL工法):GB-S t=12.5下地 化粧FK t=6.0
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼り t=2.0

内装仕上げ【１階　多目的WC】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-S t=12.5+9.5下地 化粧FK t=6.0
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼り t=2.0

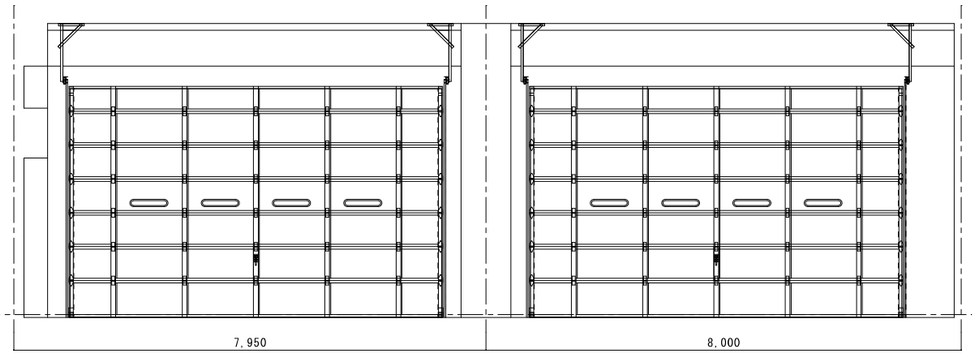
内装仕上げ【１階　防火衣乾燥室】	
天井	GB-S t=9.5下地 化粧FK t=6.0
壁	LGS下地面:GB-S t=12.5下地 化粧FK t=6.0
	躯体面(GL工法):GB-S t=12.5下地 化粧FK t=6.0
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	薄膜型ｳﾚﾀﾝ樹脂系 防塵塗床

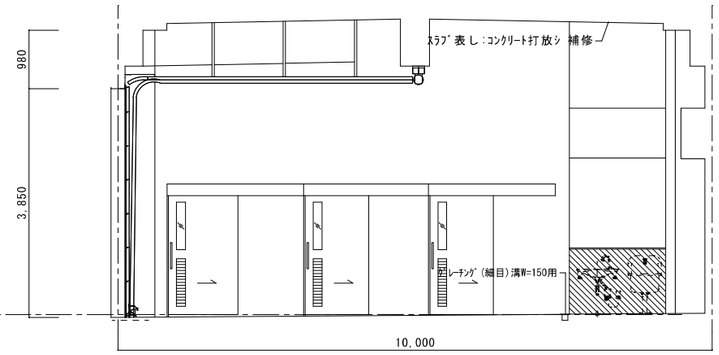
内装仕上げ【１階　廊下】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5+9.5 EP塗
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5 EP塗
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0

特記事項

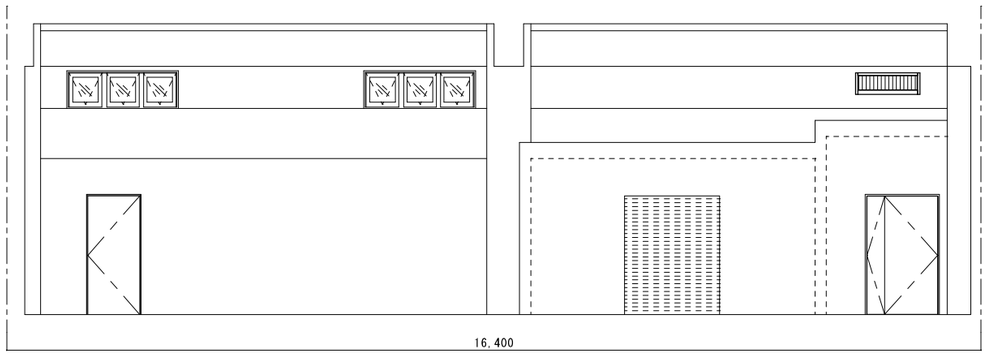
工事名称	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称	展開図（２）
設計者	日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　富田　哲人　一級建築士番号　第381431号	

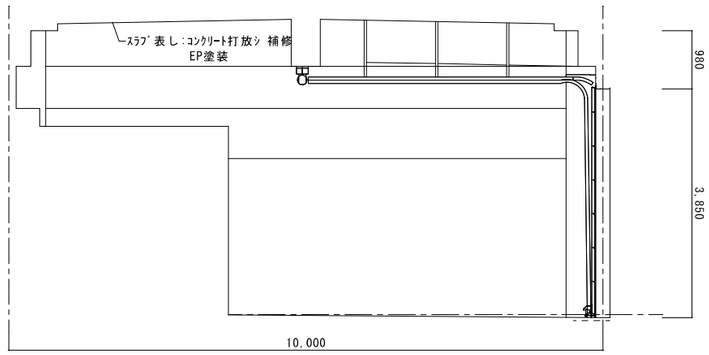
三重県志摩市			
縮尺 1：50(A1) 1:100(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-29	



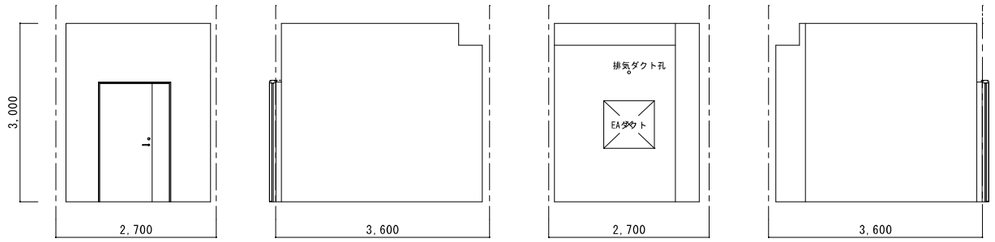


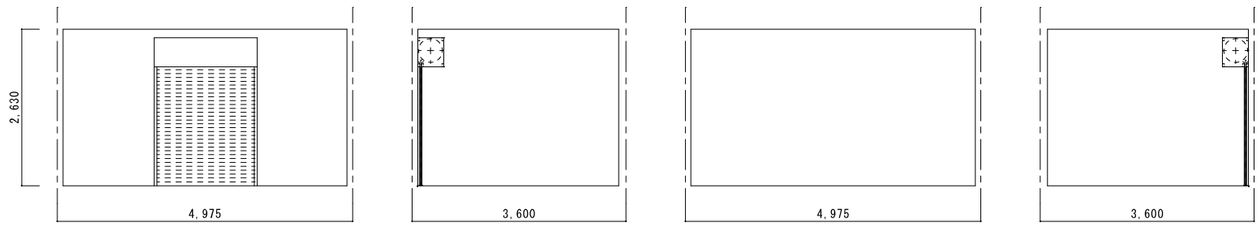
1階　車庫　　北面　　東面





南面　　西面





1階　電気室（車庫内）　北面　東面　南面　西面

1階　倉庫-1（車庫内）　北面　東面　南面　西面

内装仕上げ【１階　車庫】	
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放シ 補修 + EP
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放シ 補修 + EP
巾木	塗床仕上げ材立ち上げ H=100
床	塗床
	(浸透型表面強化材)
面台腰壁	LGS下地:GB-S t=12.5下地 化粧FK t=6.0
	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100

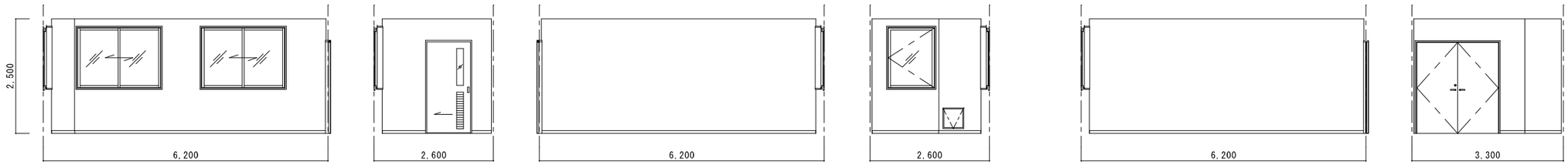
内装仕上げ【１階　電気室(車庫内)】	
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放シ 補修
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放シ 補修
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放シ 補修 H=100
床	薄膜型ｳﾚﾀﾝ樹脂系 防塵塗床

内装仕上げ【１階　倉庫-1(車庫内)】	
天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放シ 補修
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放シ 補修
巾木	塗床仕上げ材立ち上げ H=100
床	薄膜型ｳﾚﾀﾝ樹脂系 防塵塗床

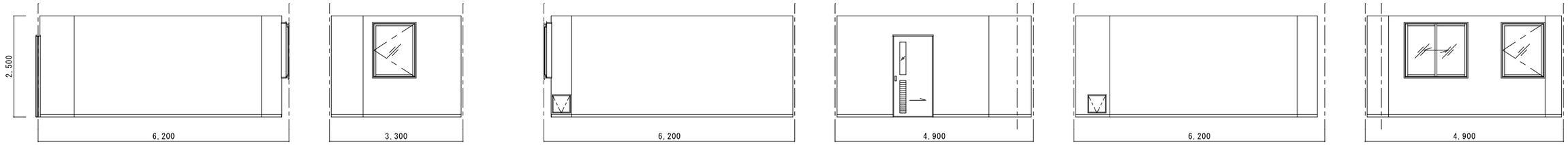
特記事項

工事名称	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称	展開図（３）
設計者	日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	

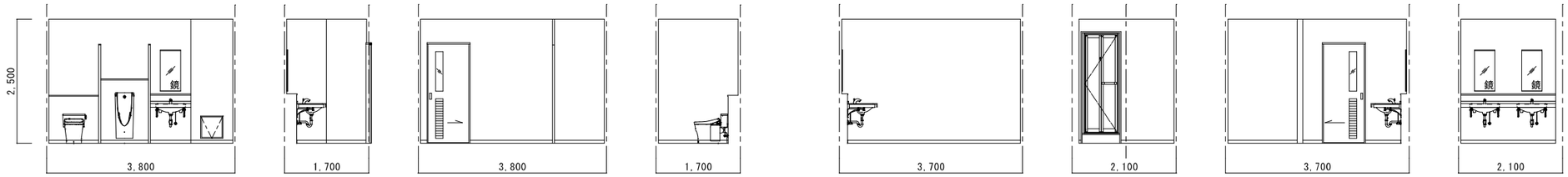
三重県志摩市			
縮尺 1: 50(A1) 1:100(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-30	



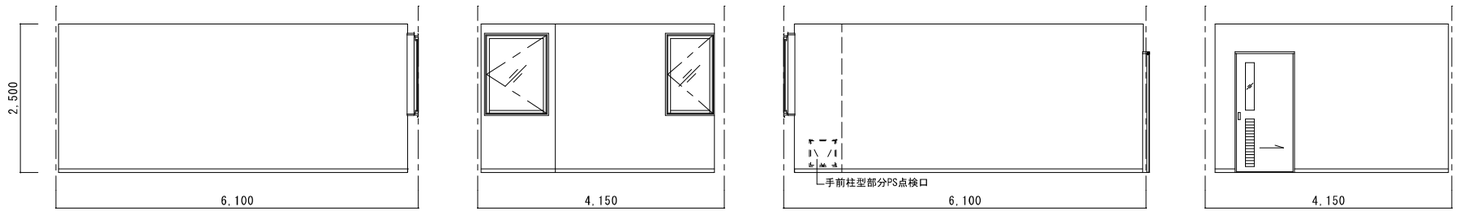
2階　分署長室　北面　東面　南面　西面　書庫・倉庫　北面　東面



南面　西面　会議室　北面　東面　南面　西面



WC(男)　北面　東面　南面　西面　浴室・洗面脱衣(男)　北面　東面　南面　西面



トレーニングルーム　北面　東面　南面　西面

内装仕上げ【2階　分署長室】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0

内装仕上げ【2階　書庫･倉庫】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼り t=2.0

内装仕上げ【2階　会議室】	
天井	GB-R t=9.5捨貼 RB t=12.0
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼り t=2.0

内装仕上げ【2階　WC(男)】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-S t=12.5+9.5下地 化粧FK t=6.0
	躯体面(GL工法):GB-S t=12.5下地 化粧FK t=6.0
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0

内装仕上げ【2階 浴室･洗面･脱衣(男)】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-S t=12.5下地 化粧FK t=6.0
	躯体面(GL工法):GB-S t=12.5下地 化粧FK t=6.0
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0

内装仕上げ【2階　ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5+9.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼り t=2.0

特記事項

工事名称　令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)

図面名称　展開図（4）

三重県志摩市

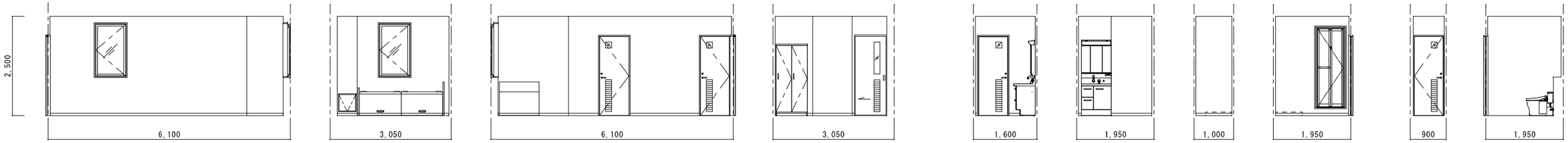
設計者　日本工営都市空間株式会社

日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－4）第3767号
管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号
設計者　富田　哲人　一級建築士番号　第381431号

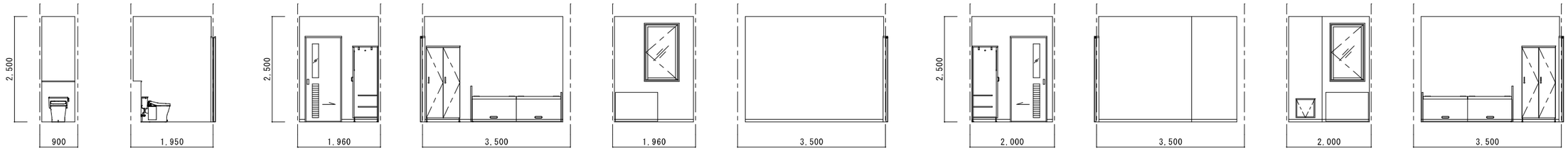
縮尺　1:100(A1)　1:200(A3)

令和5年 3月

図面番号　A-31

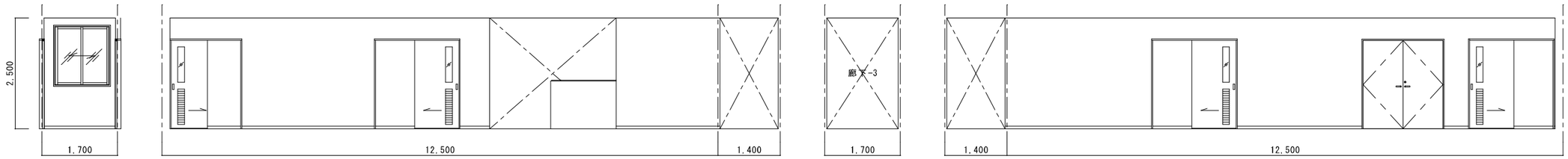


2階　仮眠室(女)	北面	東面	南面	西面	2階　仮眠室(女)(洗濯・脱衣) 北面	東面	南面	西面	2階　仮眠室(女)(WC) 北面	東面

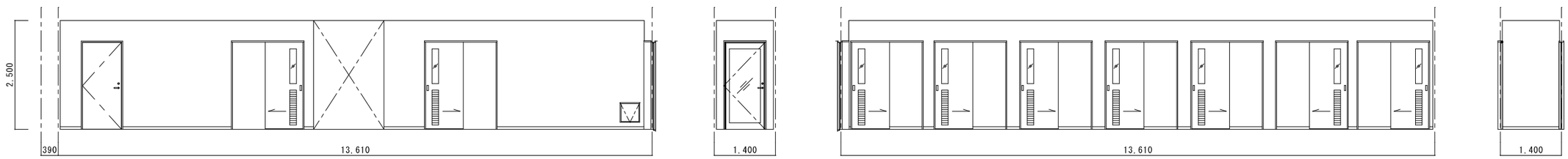


（※仮眠室は代表して２，３を作図しています。）

南面	西面	仮眠室-2 北面	東面	南面	西面	仮眠室-3 北面	東面	南面	西面



2階　廊下-2	北面	東面	南面	西面



2階　廊下-3	北面	東面	南面	西面

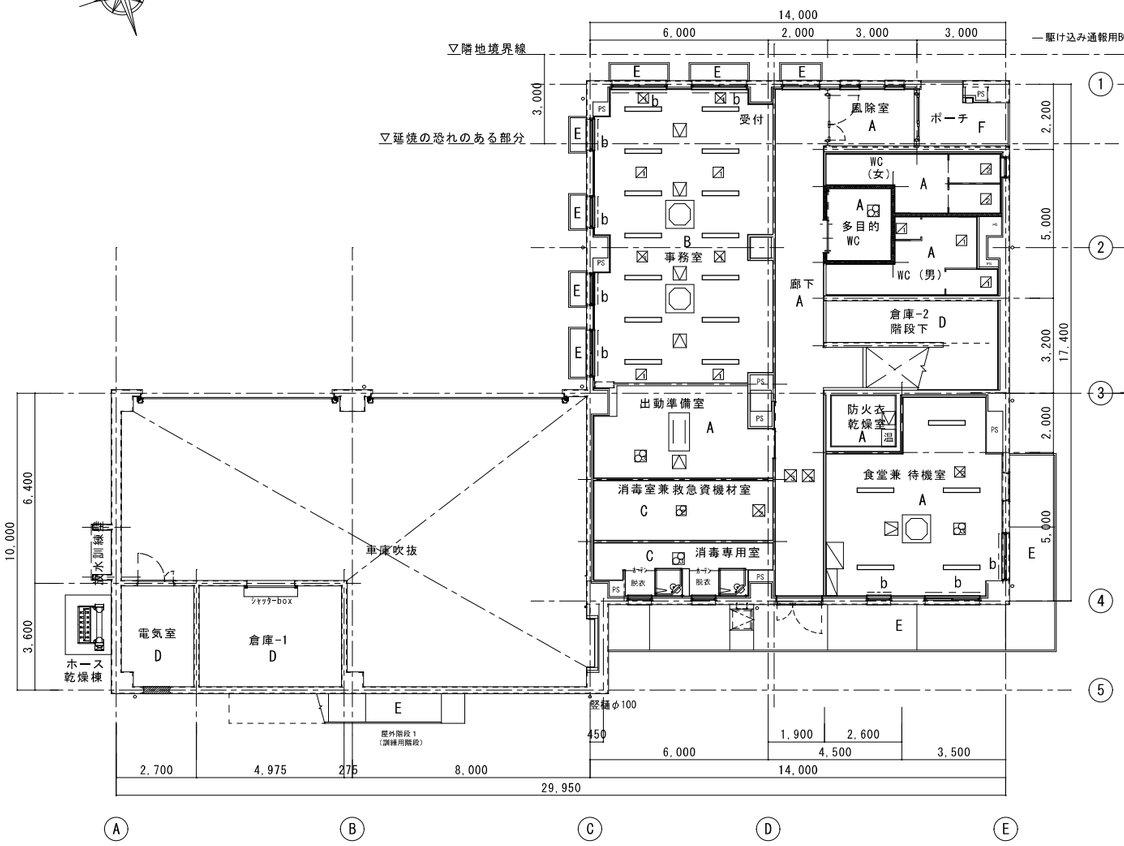
内装仕上げ【２階 仮眠室(女)】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5+9.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0

内装仕上げ【２階 女子仮眠室内[WC]・[洗面]】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-S t=12.5+9.5下地 化粧FK t=6.0
	躯体面(GL工法):GB-S t=12.5下地 化粧FK t=6.0
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌仕様) t=2.0

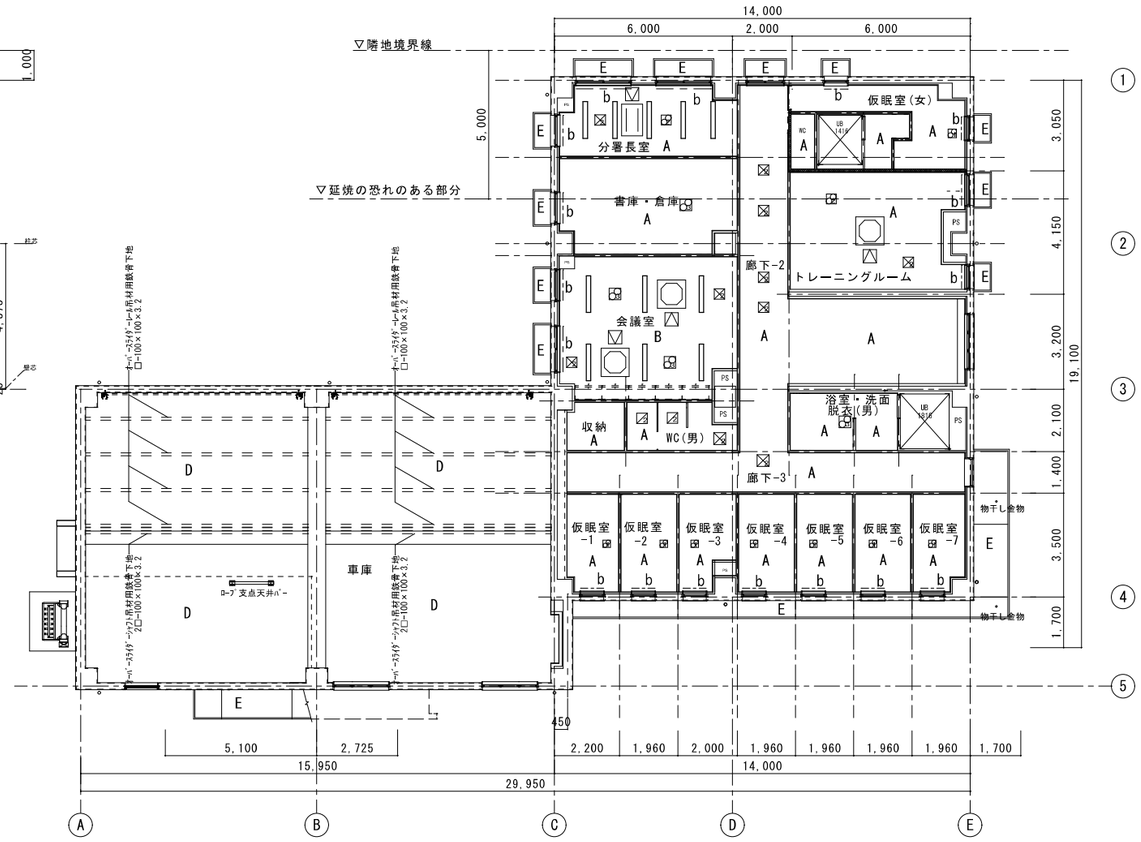
内装仕上げ【２階 仮眠室１～７】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5下地 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0

内装仕上げ【２階　廊下】	
天井	GB-D t=9.5
壁	LGS下地面:GB-R t=12.5+9.5 EP塗
	躯体面(GL工法):GB-R t=12.5 EP塗
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0

特記事項	工事名称	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称	展開図（５）	三重県志摩市		
	設計者	日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　　富田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-32	



1階天井伏図　S=1/100（A3:1/200）



2階天井伏図　S=1/100（A3:1/200）

開口補強リスト（機械設備）

記号	名称	W	L	1階	2階	合計
○	空調室内機	900	900	3	3	6
▭	空調室内機	640	1245	1	1	2
⊞1	天井換気扇	200	200	—	9	9
⊞2	天井換気扇	300	300	1	2	3
⊞3	天井換気扇	350	350	4	4	8
⊠ ◪1	制気口	150	150	11	—	11
⊠ ◪2	制気口	200	200	4	13	17
⊠ ◪3	制気口	250	250	6	—	6
温	温水式乾燥機	560	430	1	—	1
◇	点検口	450	450	4	7	11

開口補強リスト（電気設備）

記号	名称	W	L	1階	2階	合計
▭	照明器具	150	1235	19	11	30

■ 天井仕上げ

A	GB-D t=9.5	b	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ
B	GB-R t=9.5捨貼の上 RB＝12.0		
C	GB-S t=9.5捨貼の上 化粧FK t=6.0	▭	照明器具用開口・補強
D	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修、EP塗装	◪ ⊠	制気口用開口・補強（数字はサイズ別、左表参照）
E	庇裏ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の上 EP 目地切@2,000以内	⊞	換気扇用開口・補強（数字はサイズの別、左表参照）
F	FK t=6.0 + EP	○ ▭	天井空調機用開口・補強
		- ◇ -	天井点検口用開口・補強
- - - -	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ:ｽﾃﾝﾚｽ製H型ﾘﾌﾞﾚｰﾙ(ｽﾄﾚｰﾄ吊)	温	温水式乾燥機用開口・補強

特記事項
23.01.10　竪樋追記

工事名称	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称	1階・2階　天井伏図
設計者	日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－4）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	
三重県志摩市	縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-33

この表の表現方法は次の記号による。　●印を適用し、○印は適用しない。

一般事項

1．扉の開き勝手は平面図による。
2．本表は設計図書に示す建具及び特記事項、標準詳細表を一括して表す。。
　家具及びカウンター、その他これらに類する建具は別図により本表にはふくまない。
3．設計図及び本表に示すすは概略を示すものであり、施工にあたっては現場寸法の検寸を行うこと。
4．施工図をサッシュメーカー等にて作成する場合は、
　現職員が各部の寸法を校寸し捺印のうえ、監督職員に提出すること。
5．見込棚は、本型建具の場合は扉見込、その他の場合は枠見込を示す。但し、スチール枠木製建具の場合は、
　備考欄にＳ枠（　）と表示。…（　）内は枠見込を示す。
6．特記なき限りＳ枠の仕上げはＳＯＰとし、厚みは1.6mm以上とする。

特記事項　　特記無き限り下記による。

① 戸当たり（床付、壁付）は現場指示による。
② 特記なきドアガラリは一型とし、材料は次による。 ● ドアと同材にて作製する。 ○ アルミ製とする。
③ シリンダ錠錠及び空錠取手は ○ 握玉 ●レバーハンドル(ステンレス製) とする。
④ マスターキーを ● 作製する（　３本） ○ 作製しない。
⑤ グランドマスターキーを ● 作製する（　１本） ○ 作製しない。
⑥ プラスチック製の錠札を ● 設ける ○ 設けない。
⑦ キーボックス（３０本用）を ● 設ける ○ 設けない。
⑧ 建具周囲のシーリングは特記仕様書による。
⑨ ガラスシーリングは特記仕様書による。
⑩ 網戸はアルミ枠 ●ステンレス網 ○合成樹脂製網 ○ガラス繊維入り合成樹脂製網 とする。
⑪ ステンレスは特記なき限りＳＵＳ３０４とし、表面仕上げはヘアーラインとする。
⑫ ＦＩＸ窓部分等は結露受け、水抜き穴等を設けるものとする。
13. オペレーター配管は埋設配管とする。
14. オペレーターはワンタッチ式、操作ボックスは埋込型とし設置高さはFL+1500以内とする。
⑮ 木製建具類の木口は木口化粧材張りとする。

性　能　　特記無き限り下記による。

● アルミニウム製建具　　（　）内は印等級を示す。　　(表16.2.1)(表14.2.1)

	耐風圧性	気密性	水密性	備　考	遮音性	表面処理
○ A　種	S-4(200)	A-3(6)	W-4(35)	断熱 H-1(4.65)	●T-1(25) ●T-2(30) ○T-3(35) ○T-4(40) ○	○ A-1　無着色陽極酸化皮膜　AA-15 ○ A-2　着色陽極酸化皮膜　AA-15 ○ B-1　無着色陽極酸化塗装複合皮膜　B ● B-2　着色陽極酸化塗装複合皮膜　B ○ C-1　無着色陽極酸化皮膜　AA-6 ○ C-2　着色陽極酸化皮膜　AA-6 ○ D種　化成皮膜の上に塗装　－ ○ 着色皮膜　－
● B　種	S-5(240)	A-3(6)	W-4(35)	断熱 H-1(4.65)		
○ C　種	S-5(280)	A-4(2)	W-5(50)			
○ その他	S-2(120)	A-4(2)	W-3(25)	木造住宅用		
○	○	○	○			

○ 鋼製建具 ● ステンレス製建具
　●簡易気密型ドアセットの性能等級　気密性 ○A-3 ●A-4　(表16.3.1)
　水密性 ○W-1 ●W-2(SSD-1) ●W-5(SSD-2)
○ 鋼製軽量建具
　○簡易気密型ドアセットの性能等級　気密性 ●A-3 ○　(表16.3.1)

● 陽極酸化皮膜の着色方法は ●二次電解着色 ○自然発色皮膜 ○　　とする。
○ 着色皮膜は ●アクリル樹脂系 ○ポリウレタン樹脂系 ○ポリエステル樹脂系 ○アクリルシリコン樹脂系 ○ふっ素樹脂系 とする。

建具の記号

ＳＳＷ	ステンレス製窓	ＷＷ	木製窓
ＳＳＤ	ステンレス製戸	ＷＤ	木製戸
ＳＳＧ	ステンレス製ガラリ	ＷＧ	木製ガラリ
ＳＳＳ	ステンレス製シャッター	ＳＨＤ	スチールタイプ　オーバーヘッドドア
ＳＷ	鋼製窓	ＡＨＤ	アルミニウムタイプ　オーバーヘッドドア
ＳＤ	鋼製戸	ＦＨＤ	ﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ ｽﾗﾄﾗﾀﾞ　オーバーヘッドドア
ＳＧ	鋼製ガラリ	Ｐ	紙障子
ＬＤ	鋼製軽量戸	Ｈ	ふすま
ＳＳ	鋼製重量シャッター	ＳＭＰ	鋼製可動間仕切
ＬＳ	軽量シャッター	ＡＭＰ	アルミニウム製可動間仕切
ＡＷ	アルミニウム製窓	Ｂ	トイレ(シャワー)ブース
ＡＤ	アルミニウム製戸	ＳＬＷ	移動間仕切(スライディングウォール)
ＡＧ	アルミニウム製ガラリ	ＡＣＤ	アコーディオンドア
ＡＦ	アルミニウム製換気扇枠	ＳＦ	防煙垂れ壁
ＡＣＷ	アルミニウム製カーテンウォール	ＴＬ	トップライト

ガラスの記号

Ｐ	フロート板ガラス	数字は厚を表す。
	摺りガラス、面取りガラスは特記による。	
Ｆ	型板ガラス	数字は厚を表す。
ＮＰ(ＷＰ)	網(線)入り磨き板ガラス	〃
ＮＦ(ＷＦ)	網(線)入り型板ガラス	〃
Ｔ	強化ガラス	〃
ＨＲ	熱線反射ガラス	〃
ＨＨＲ	高性能熱線反射ガラス	〃
ＳＴ	強化ガラス(学校用)	〃
ＦＴ	強化型板ガラス	〃
ＳＬ	複層ガラス(Ａ:中空層を示す)	〃
Ｌ	合わせガラス	〃
ＨＰ	熱線吸収フロート板ガラス	〃
HNP(HWP)	熱線吸収網(線)入り磨き板ガラス	〃
LOW-E	LOW-Eガラス (日射遮蔽型)	〃

錠の記号

ＣＣ	シリンダ箱錠
Ｃ	シリンダ本締り錠
Ｉ	本締まり付モノロック(インテグラル錠)
Ｍ	モノロック(円筒錠)
Ｏ	空錠
ＰＰ	プッシュプル錠
Ｅ	電気錠
Ｄ	レバーハンドル

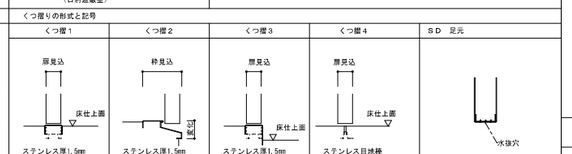
金物・付属品の記号

ＢＨ	丁番
ＰＨ	ピボットヒンジ
ＦＨ	フロアヒンジ
ＤＣ	ストップ付きドアクローザ
ＤＣＮ	ストップなしドアクローザ
ＨＣ	ヒンジクローザ
ＡＴ	アルミニウム製錠締
ＡＤ	アルミニウム製水切り
Ｓ	網戸
ＬＨ	ラバトリーヒンジ
ＡＨ	オートヒンジ

建具の程度の記号

特	特定防火設備(旧甲防)
防	防火設備(旧乙防)
煙	遮煙性能を有する戸
ＡＴ	エアータイト型 (気密性 ●A-4、遮音性 ●T-2 ○　)
ＳＡＴ	セミエアータイト型 (気密性 ●A-3、遮音性 ●T-1 ○　) 但し、鋼製・ステンレス製等高気密型ドアセットの場合の数値は上記性能欄参照
ＡＳ	アームストッパー

くつ擦りの形式と記号



建具共通仕様

標準仕様　　特記なき限り下記による

建具の記号	仕　様
ＳＳＷ	枠　t=1.5mm以上　枠見込　100mm
ＳＳＤ	扉　t=1.5mmフラッシュ
ＳＳＧ	ガラリの羽根　t=1.5mm以上 ヘアーライン仕上げ
ＳＷ	枠　t=1.6mm以上　枠見込　100mm
ＳＤ	扉　t=1.6mmフラッシュ
ＳＧ	ガラリの羽根　t=1.6mm以上 表面塗装はＳＯＰ（合成樹脂調合ペイント塗り）とする。
ＡＷ	枠見込　70mm
ＡＤ	表面処理は上記性能欄参照
ＡＧ	

建具の記号	仕　様
ＬＤ	枠　t=1.6mm以上　枠見込　100mm 扉　t=0.8mm ○t=0.6mm フラッシュ ガラリの羽根　t=1.2mm 扉表面材　●表面処理亜鉛メッキ鋼板 ○ビニル被覆鋼板 表面塗装　●枠、扉共　○枠のみ ＳＯＰ
ＷＤ	扉見込　36mmとする。 扉表面材　●才合板ﾌﾗｯｼｭ OSCL ○ポリ合板ﾌﾗｯｼｭ VLーallはﾌﾛｰﾘﾝｸﾞの仕上材になじむように堅木か真ちゅう製とすること

建具の記号	仕　様
ＬＳ	ﾚｰﾙ、まぐさ、座板はSUS304HL
ＳＳ	ｽﾗｯﾄ　床付塗装 ｼｬｯﾀｰ関係における配管および電源は電気工事 シャッター工事とする。 上記以外の制御用リレーおよび配線は障害物感知装置付 ○ビニル被覆鋼板
Ｈ	扉見込　21mmとする。
Ｓ	扉見込　33mmとする。

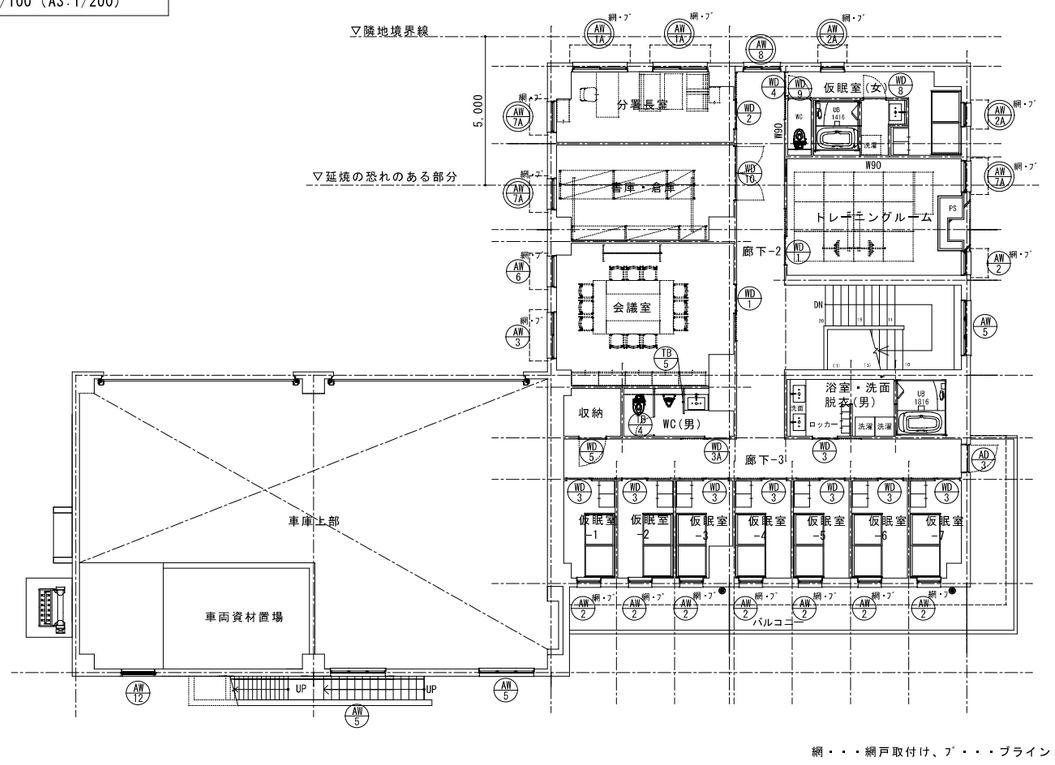
標準金物　特記がなくとも書え付ける	
引違い窓-片引き窓：クレセント、戸車、引手	すべり出し-突出し-内倒し-外倒し窓：付属金物一式
回転窓：付属金物一式	両開き戸：フランス落し

その他	仕　様
Ｅ(電気錠)	カード式とする。

備　考

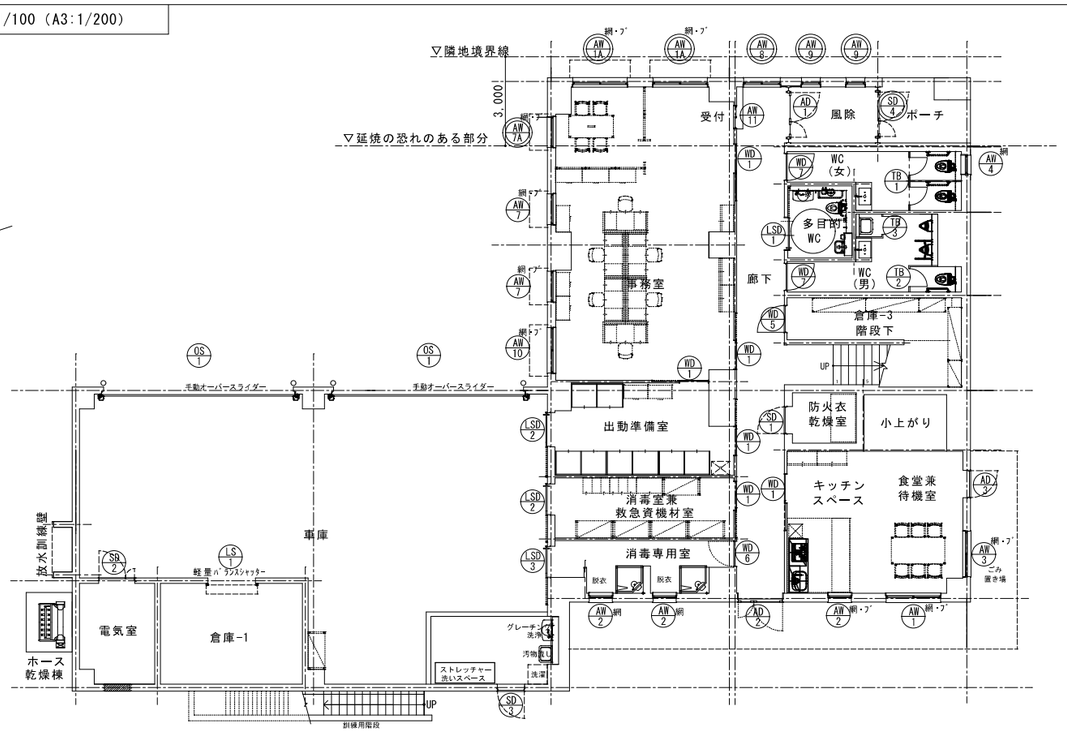
⊙ 延焼の恐れのある部分の建具は全て防火設備とする。
⊙ 居室のAWのクレセント取付位置はH800～H1500以内とする。
⊙ クレセントはサブロック機能付きとする。
・ 網戸はスチール製又はアルミ製とする。
⊙ AD・AHは特記なき限り枠付とする。
・ TBの出隅はコーナー(アルミ製)とする。
・ TBの扉は特記なき限り折り戸とする。
・ TBのパネルの扉部はSUS製中木とする。
⊙ 水切りの両サイドは両垂防止付とする
⊙ 玄関ドアは YKK AP(株) 同等品とする。

２階建具配置図　S=1/100（A3:1/200）



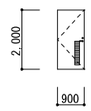
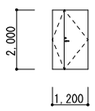
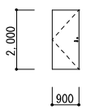
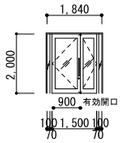
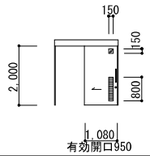
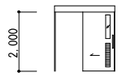
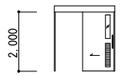
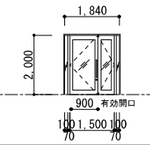
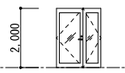
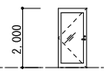
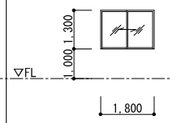
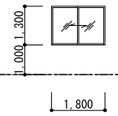
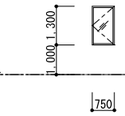
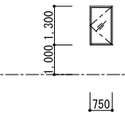
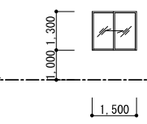
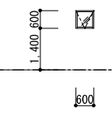
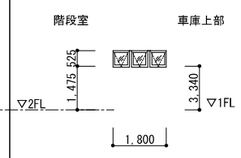
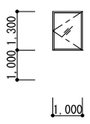
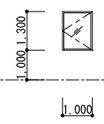
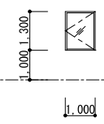
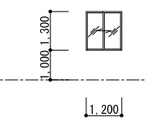
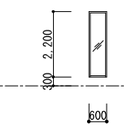
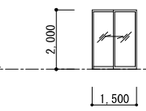
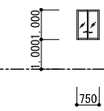
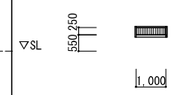
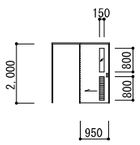
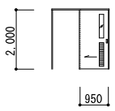
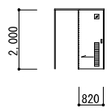
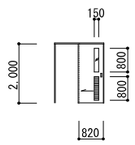
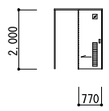
網・・・網戸取付け、ブ・・・ブラインド取付けを示す。

１階建具配置図　S=1/100（A3:1/200）



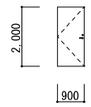
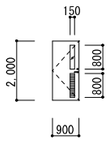
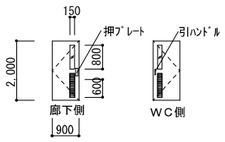
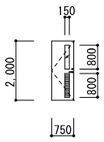
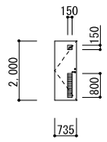
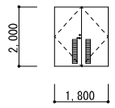
網・・・網戸取付け、ブ・・・ブラインド取付けを示す。

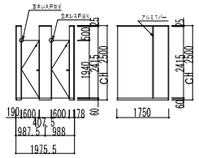
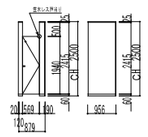
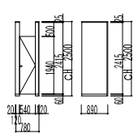
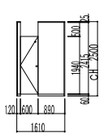
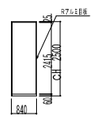
特記事項	工事名称	図面名称		
	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	建具表ー１（仕様書・建具配置図）	三重県志摩市	
	設計者　日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（いー４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号	縮尺　1:100(A1) 1:200(A3)	令和5年 3月　図面番号 A-34

記号・数量	SD 1 × 1	SD 2 × 1	SD 3 × 1	SD 4 × 1		LSD 1 × 1	LSD 2 × 2	LSD 3 × 1
形状								
室名	1F 防火衣乾燥室	1F 電気室	1F 車庫(洗浄ｿｰﾝ出入口)	1F 風除室		1F 多目的WC	1F 消毒室兼救急資機材室, 出動準備室	1F 消毒専用室
形式 見込	ｽﾁｰﾙ製片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 80	ｽﾁｰﾙ製親子開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 80	ｽﾁｰﾙ製片開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ 80	ｽﾁｰﾙ製親子開き框ﾄﾞｱ/袖FIX	70	鋼製軽量片引戸(自閉式)外付 扉40	鋼製軽量片引戸(自閉式)外付 扉40	鋼製軽量片引戸(自閉式)外付 扉40
材質・仕上	SOP	SOP	SOP	SOP		化粧鋼板焼付塗装	化粧鋼板焼付塗装	化粧鋼板焼付塗装
硝子				NP6.8 (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)		F4	F4	F4
金物	BH(SUS製), DC, C, O, ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ, ｽﾁｰﾙｶﾞﾗﾘ くつ摺1	BH(SUS製), DC, C, O, ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ ﾌﾗﾝｽ落し, くつ摺1	BH(SUS製), DC, C, O, ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ くつ摺2	BH(SUS製), DC, C, ｻﾑﾀｰﾝ, AT, ﾌﾗﾝｽ落し, 戸当り 握り棒(SUS製HL φ25 H=600), くつ摺1 防火設備 建設省告示第1360号を準用する		SUS引棒(L=600), 戸当り, ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ, 指挟み防止付 自閉式ﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ金物一式, くつ摺り1 引戸用非常解付表示錠(内:大型ｻﾑﾀｰﾝ, 外:ｼﾘﾝﾀﾞｰ)	SUS引棒(L=600), 戸当り, ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ, 指挟み防止付 自閉式ﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ金物一式, くつ摺り1	SUS引棒(L=600), 戸当り, ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ, 指挟み防止付 自閉式ﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ金物一式, くつ摺り1
備考								
記号・数量	AD 1 × 1	AD 2 × 1	AD 3 × 2		AW 1 × 1 網戸・ブラインド	AW 1A × 4 網戸・ブラインド	AW 2 × 11 網戸・ブラインド・・・9ヶ所 網戸・・・2ヶ所	AW 2A × 2 網戸・ブラインド
形状								
室名	1F 風除室	1F 廊下	1F 食堂兼待機室・2F 廊下		1F:食堂兼待機室	1F:事務室、2F:分署長室	1F:ｷｯﾁﾝｽﾍﾟｰｽ, 消毒専用室 2F:仮眠室(男子) ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ	2F:仮眠室(女子)
形式 見込	ｱﾙﾐ製親子開き框ﾄﾞｱ/袖FIX 70	ｱﾙﾐ製親子開き框ﾄﾞｱ 70	ｱﾙﾐ製片開き框ﾄﾞｱ 70		ｱﾙﾐ製引違いｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製引違いｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製片開きｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製縦辷り出しｻｯｼ 70
材質・仕上	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色		ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色
硝子	P5(飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	NF6.8 (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(Low-E6+A6+P6) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)		SL(Low-E6+A6+P6) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(Low-E6+A6+NP6.8) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(Low-e6+A6+P6) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(Low-E6+A6+NP6.8) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)
金物	BH(SUS製), DC, AT, ﾌﾗﾝｽ落し, 戸当り	BH(SUS製), DC, C, ｻﾑﾀｰﾝ, ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ, ﾌﾗﾝｽ落し 握り棒(SUS製HL φ25 H=600), くつ摺1	BH(SUS製), DC, C, ｻﾑﾀｰﾝ, ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ くつ摺2	くつ摺2	AD, S	AD, S	AD, S ﾊﾝﾄﾞﾙ、煽り止め	AD, S ﾊﾝﾄﾞﾙ、煽り止め
備考						防火設備 (EB-3279-1) YKK同等品		防火設備 (EB-3330-1) YKK同等品
記号・数量	AW 3 × 2 網戸・ブラインド	AW 4 × 1 網戸	AW 5 × 3	AW 6 × 1 網戸・ブラインド	AW 7 × 2 網戸・ブラインド	AW 7A × 4 網戸・ブラインド	AW 8 × 2	AW 9 × 2
形状								
室名	1F:食堂兼待機室 2F:会議室	1F:女子WC	階段室・車庫上部	2F:会議室	1F:事務室	1F:事務室 2F:分署長室/書庫・倉庫/ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾙｰﾑ	1F:廊下, 2F:廊下	1F:風除室
形式 見込	ｱﾙﾐ製引違いｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製外倒しｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製三連外倒しｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製縦辷り出しｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製縦辷り出しｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製縦辷り出しｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製引違いｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製嵌め殺しｻｯｼ 70
材質・仕上	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色
硝子	SL(Low-E6+A6+P6) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(NF6.8+A6+P5) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(Low-E6+A6+P6) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(Low-E6+A6+P6) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(Low-E6+A6+P6) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(Low-e6+A6+NP6.8) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(Low-e6+A6+NP6.8) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	SL(Low-E6+A6+NP6.8) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)
金物	AD, S	AD, S ｱﾙﾐ面格子(縦格子)	AD, S 車庫上部のみｵﾍﾞﾚｰﾀｰ	AD, S ﾊﾝﾄﾞﾙ, 煽り止めｱｰﾑ	AD, S ﾊﾝﾄﾞﾙ, 煽り止めｱｰﾑ	AD, S ﾊﾝﾄﾞﾙ, 煽り止めｱｰﾑ	AD, S	AD, S
備考						防火設備 (EB-3330-1) YKK同等品	防火設備 (EB-3279-1) YKK同等品	防火設備 (EB-3220) YKK同等品
	AW 10 × 1 網戸・ブラインド	AW 11 × 1	AW 12 × 1	WD 1 × 8	WD 2 × 1	WD 3 × 8	WD 3A × 1	WD 4 × 1
形状								
室名	1F:事務室	1F:事務室受付	電気室(スラブ上)	各室	分署長室	2F 仮眠室, 浴室・脱衣洗面所	2F WC(男)	2F 仮眠室(女)
形式 見込	ｱﾙﾐ製引違いｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製引違いｻｯｼ 70	ｱﾙﾐ製ガラリ窓 70	木製上吊式片引き戸 36	木製上吊式片引き戸 36	木製上吊式片引き戸 36	木製上吊式片引き戸 36	木製上吊式片引き戸 36
材質・仕上	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ｱﾙﾐ電解着色	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼
硝子	SL(Low-E6+A6+P6) (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	P6 (飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼)	—	F4	F4	F4	F4	F4
金物	AD, S	AD, S	付属金物	引手, ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ, 吊戸ﾚｰﾙ(掘込) 上ﾛｰﾗｰ(ｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ仕様), 下ｶﾞｲﾄﾞ, 戸当(ﾊﾞﾝﾊﾟｰ)	引手, ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ, 吊戸ﾚｰﾙ(掘込) 上ﾛｰﾗｰ(ｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ仕様), 下ｶﾞｲﾄﾞ, 戸当(ﾊﾞﾝﾊﾟｰ)	引手, ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ, 吊戸ﾚｰﾙ(掘込) 上ﾛｰﾗｰ(ｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ仕様), 下ｶﾞｲﾄﾞ, 戸当(ﾊﾞﾝﾊﾟｰ)	引手, ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ, 吊戸ﾚｰﾙ(掘込) 上ﾛｰﾗｰ(ｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ仕様), 下ｶﾞｲﾄﾞ, 戸当(ﾊﾞﾝﾊﾟｰ)	引手, ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ, 吊戸ﾚｰﾙ(掘込) 上ﾛｰﾗｰ(ｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞｰ仕様), 下ｶﾞｲﾄﾞ, 戸当(ﾊﾞﾝﾊﾟｰ)
備考				付属金物一式	付属金物一式, ｱｳﾄｾｯﾄ用ｼﾘﾝﾀﾞｰｻﾑﾀｰﾝ錠	付属金物一式, ｼﾘﾝﾀﾞｰｻﾑﾀｰﾝ表示錠(仮眠室のみ)	付属金物一式	付属金物一式, ｱｳﾄｾｯﾄ用ｼﾘﾝﾀﾞｰｻﾑﾀｰﾝ錠

特記事項
飛散防止フィルムは露とし、透過度については発注者に確認の上、決定とする。
飛散防止フィルムは窓ガラス用フィルムA (JIS A 5759 GI-1) とする。

工事名称	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称	建具表－２ (SD･LSD･AD･AW･WD(1～5))
設計者	日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録 (い－４) 第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	
三重県志摩市	縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-35

記号・数量	WD 5 × 2	WD 6 × 1	WD 7 × 2	WD 8 × 1	WD 9 × 1	WD 10 × 1		
形状								
室名	1F階段下倉庫,2F 収納	1F 消毒専用室	1F WC	2F 洗濯室(女子仮眠室内)	2F WC(女子仮眠室内)	2F 書庫・倉庫		
形式 見込	木製片開き戸 36	木製片開き戸 36	木製片開き戸 36	木製片開き戸 36	木製片開き戸 36	木製両開き戸 36		
材質・仕上	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼	ﾒﾗﾐﾝ化粧板貼		
硝子		F4	F4	F4	F4			
金物	BH(SUS製),DC,ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,戸当り,ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ ｼﾘﾝﾀﾞｰｻﾑﾀｰﾝ錠	BH(SUS製),DC,ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,戸当り,ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ	AH(SUS製),押板(SUS製),戸当り,ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ ﾄﾞｱﾊﾝﾄﾞﾙ(ABS樹脂製)	BH(SUS製),DC,ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,戸当り,ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ	BH(SUS製),DC,ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,戸当り,ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ 表示錠	BH(SUS製),DC,C,ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,ﾌﾗﾝｽ落し,戸当り,ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ		
備考			廊下側:押ﾌﾟﾚｰﾄ・WC側:引ﾊﾝﾄﾞﾙ					

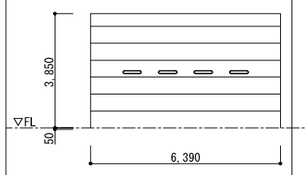
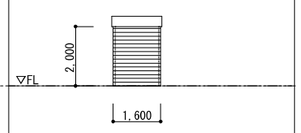
記号・数量	TB 1 × 1	TB 2 × 1	TB 3 × 1	TB 4 × 1	TB 5 × 1
形状					
室名	1F WC(女子)	1F WC(男子)	1F WC(男子)	2F WC(男子)	2F WC(男子)
形式 見込	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 40	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 40	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 40	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 40	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 40
材質・仕上	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板貼(柄物),ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ芯、SUSｴｯｼﾞ	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板貼(柄物),ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ芯、SUSｴｯｼﾞ	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板貼(柄物),ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ芯、SUSｴｯｼﾞ	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板貼(柄物),ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ芯、SUSｴｯｼﾞ	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板貼(柄物),ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ芯、SUSｴｯｼﾞ
硝子					
金物	ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ,表示ﾗｯﾁ,帽子掛戸当り 頭つなぎ・巾木・他金物全てSUS製	ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ,表示ﾗｯﾁ,帽子掛戸当り 頭つなぎ・巾木・他金物全てSUS製	ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ,ﾗｯﾁ,戸当り 頭つなぎ・巾木・他金物全てSUS製	ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ,表示ﾗｯﾁ,帽子掛戸当り 頭つなぎ・巾木・他金物全てSUS製	頭つなぎ・巾木・他金物全てSUS製
備考	非常解錠機能付	非常解錠機能付	非常解錠機能付	非常解錠機能付	

TB-1～-5

◇仕様表

(小松ウオール サニティＴＢ－ＧＰＲタイプ)

項目	部材	材料 (板厚mm)
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地:パーティクルボードJIS7)：柄物
	芯材	ペーパーコア
	目板／戸当り	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
付属品	巾木／床レール	ステンレス 0.8mm 〈ヘアライン仕上〉
	天井レール	ステンレス 1.2mm 〈ヘアライン仕上〉
	壁面レール ／コーナーカバー	アルミ押出形材 〈アルマイトクリア処理仕上〉
	ヒンジ ／SXヒンジ	中心吊グレビティヒンジ ／中心吊ヒンジ
	ロック	非常時用表示付スライドロックHK
	その他金物	戸当り帽子掛けSX ／引手HK

記号・数量	OS 1 × 2		LS 1 × 1
形状			
室名	1F 車庫		1F 車庫内倉庫１
形式 見込	重量ｱﾙﾐ ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ(手動)ﾊﾞﾗﾝｽ式)ﾛｰﾍｯﾄﾞ		軽量ﾊﾞﾗﾝｽｼｬｯﾀｰ (手動)
材質・仕上	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金塗装板 t=0.6		ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金押出形材 t=1.2
硝子	明り窓 ｱｸﾘﾙ t=3.0		
金物	付属金物一式,ﾛｯｸ装置付きﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ		ｼｬｯﾀｰｹｰｽ(露出角型ﾎﾞｯｸｽ)
			附属金物一式
備考	耐風圧性能750Pa 枠：塩害対策を施す事。		文化ｼｬｯﾀｰ ﾘｶﾞｰﾄﾞ同等

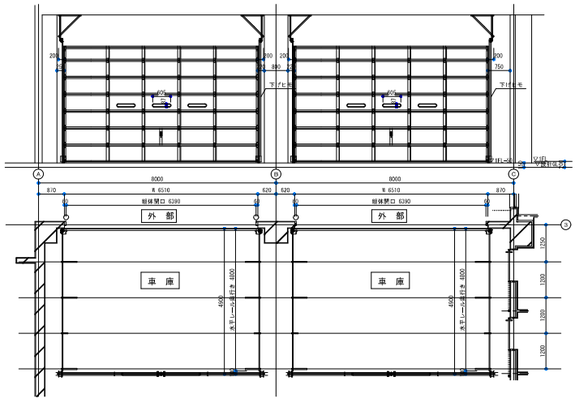
形状	
室名	
形式 見込	
材質・仕上	
硝子	
金物	
備考	

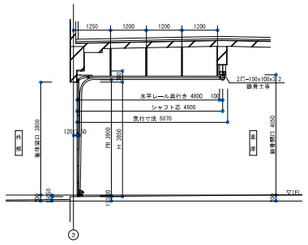
特記事項

工事名称	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称	建具表－３ (WD(6～)・TB・OS・LS)
設計者	日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社 一級建築士事務所 愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士 岸見 淳平 一級建築士番号 第306011号 設計者 冨田 哲人 一級建築士番号 第381431号	

三重県志摩市			
縮尺 1:100(A1) 1:200(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-36	

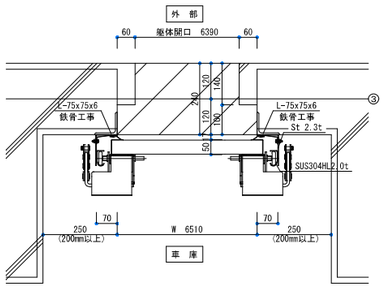
OS-1 詳細図　平面・断面・立面図　S=1/100

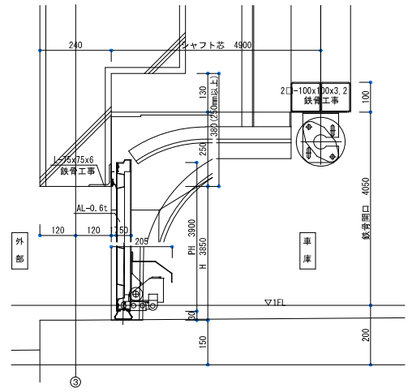




符号	OS-1　同型２台
オーバースライディングドア仕様	
機種	重量
納まり	ﾛｰﾍｯﾄﾞ L
操作方法	手動ﾊﾞﾗﾝｽ
耐風圧強度	75ｼﾘｰｽﾞ
パネル仕様	ｱﾙﾐ 0.6mm(重量)
明窓	有
嵌込材	アクリル　3.0mm
鍵	有
押釦	
パネル色	色未定
急降下防止装置	有
障害物感知装置	
備考	パネル総重量：167.8kg

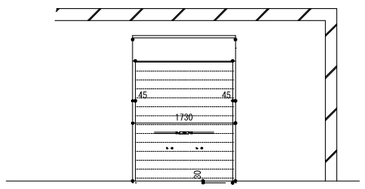
詳細図　S=1/10

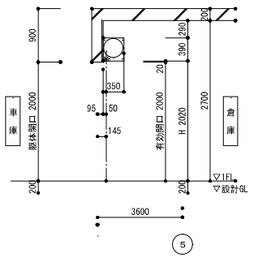


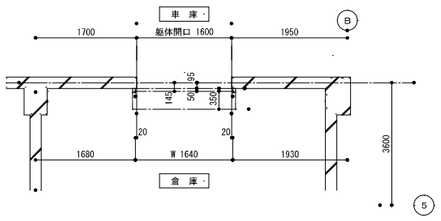


メーカー参考図

LS-1 詳細図　平面・断面・立面図　S=1/50

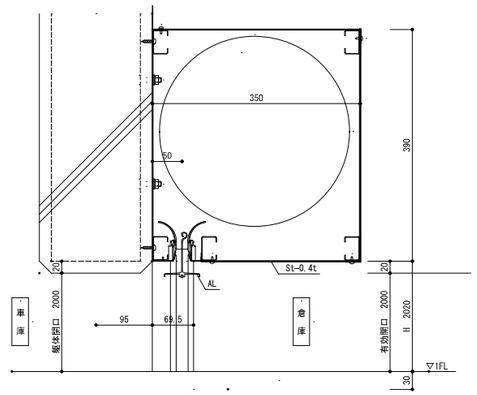


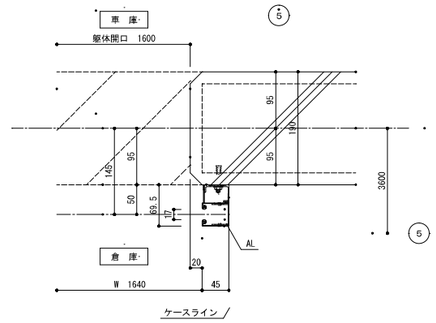




軽量手動シャッター　リガード							備　考
スラット	AC-6	AL	―	開閉機	型式	―	
					手動操作	―	
座板		AL	―	障害物感知装置		―	
レール		AL	―				
マグサ		―	―	押釦		―	
ケース		St	0.4mm				
ブラケット		L2N		シャフト	―		

詳細図　S=1/5





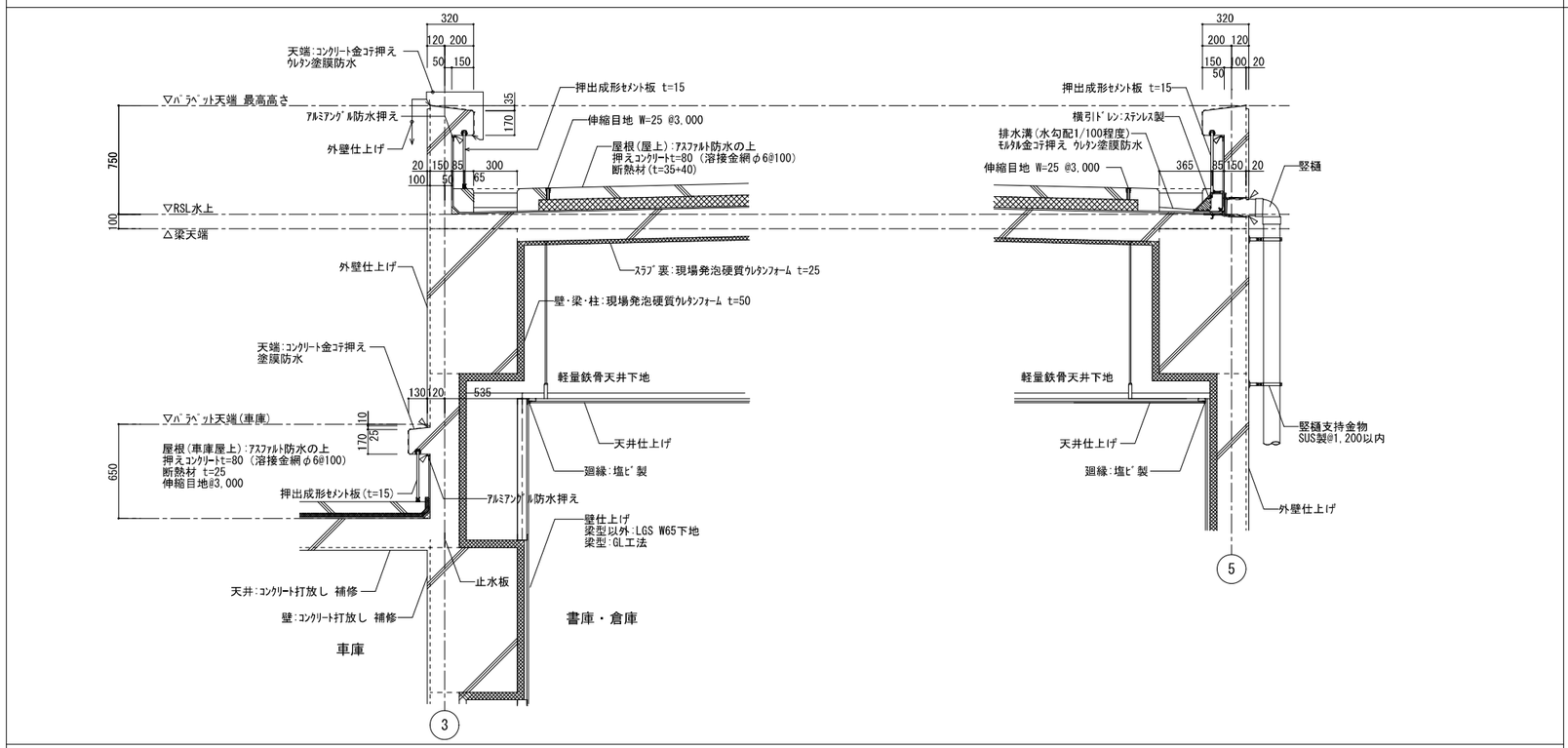
メーカー参考図

特記事項

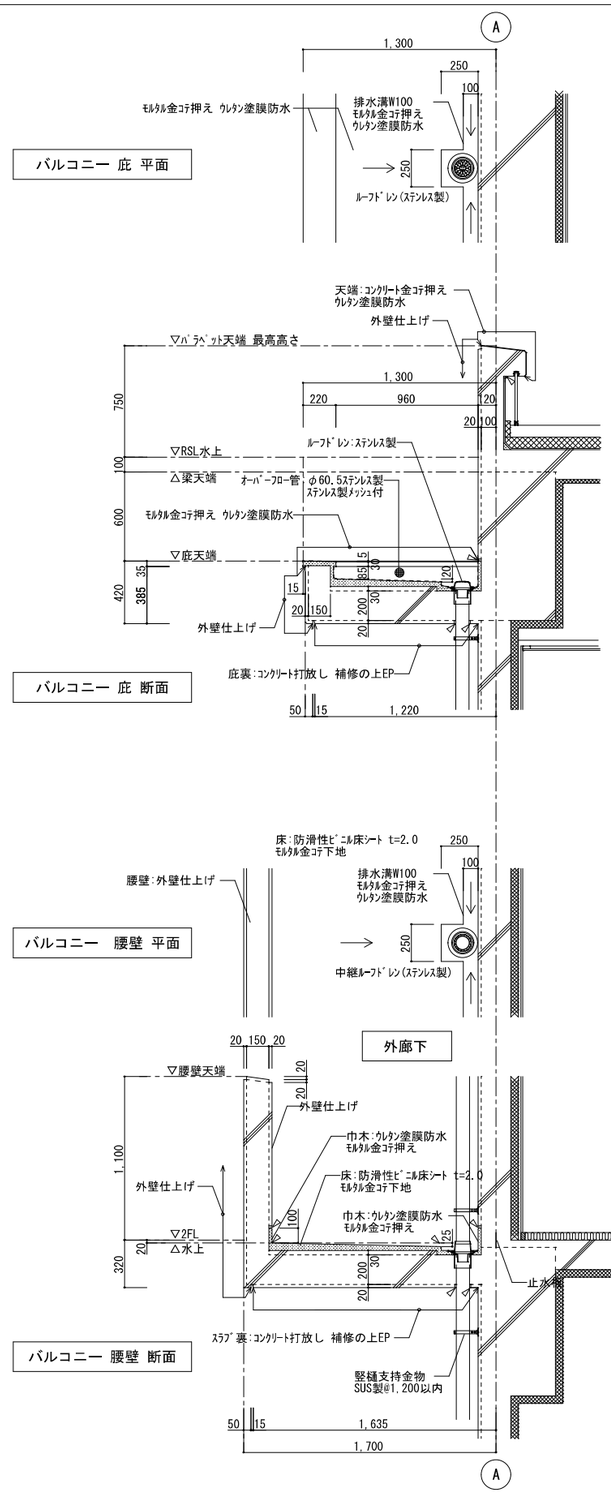
工事名称	令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称	建具詳細図 (OS-1,LS-1)	三重県志摩市			
設計者	日本工営都市空間株式会社	日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－４）第3767号 管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号 設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号		縮尺 1:100,50,10,5(A1) 1:200,100,20,10(A3)	令和5年 3月	図面番号 A-37	

詳細は施工図にて再確認する事

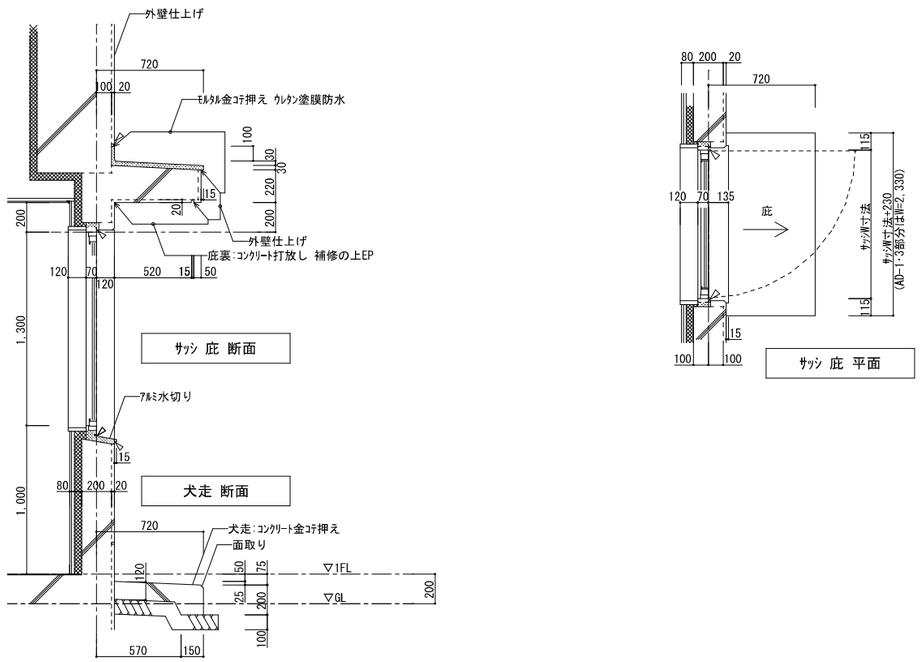
パラペット　詳細図　　S=1/20(A3:1/40)



庇・腰壁　詳細図　　S=1/20(A3:1/40)



庇・ｻｯｼ廻り・犬走　詳細図　　S=1/20(A3:1/40)



◁・・・ｼｰﾘﾝｸﾞ位置を示す

特記事項	工事名称　令和5・6年度 志摩消防署磯部分署等高台移転工事(建築工事)	図面名称　雑詳細図 1	三重県志摩市	
	設計者　日本工営都市空間株式会社　日本工営都市空間株式会社　一級建築士事務所　愛知県知事登録（い－4）第3767号　管理建築士　岸見　淳平　一級建築士番号　第306011号　設計者　冨田　哲人　一級建築士番号　第381431号		縮尺　1: 20(A1)　1: 40(A3)	令和5年 3月　図面番号 A-38